

2021年度



帝京学園短期大学

はじめに

本学が授業の内容や方法の改善を目指す自己点検・自己評価の一環として、シラバスの作成を始めたのは、平成5年度のことである。

教職員には、授業に関する学生の評価や意見を取り入れるための資料とし、学生には、講義 内容の理解を深められるよう配布している。さらに他大学をはじめ、学外の関係諸機関にも 広く配布し、その批正を仰いでいる。

また、現代の保育に必要な内容が講義の中に反映させられるよう、学生の教育・保育実習終 了後にアンケートを実施している。それとともに授業についてのアンケートも半期毎実施し、 それらの集計結果をもとに、年2回シラバス検討委員会を開催している。

さらに平成22年度より、各教科についての学習成果をシラバスに記載し、学生一人ひとり に履修カルテを作成して、各実習の事前事後指導で活用している。

平成26年度は、本学全体の学習の成果と各教科におけるシラバスとの関連性を図るとともに、 さらに卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)との関連性や授業前後の学生の学 修向上を図る課題も盛り込みながら、よりよい保育者の育成に努めていくこととする。

今後多くの意見を取り入れ、一層わかりやすく、利用しやすいシラバスを作成し、教育の充 実に努めたいと考えている。

大方のご叱正を賜りたい。

2021年4月1日

帝京学園短期大学 学 長 冲 永 莊 八

目 次

		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		
目				
Ι				
		の区分・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
	2. 単位制・・・		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	5
		华·····		
		バリング(授業科目番号)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
	5. 実務経験の	のある教員等による授業科目及び単位数一覧・・・・・・	•••••	6
П	履修科目一覧			7
		諭2種免許・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
	3. 保育士資格	各••••	•••••	10
Ш	各ポリシーとの	の関連性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		12
IV	シラバス・・・・・			13
	教養科目			10
	LA101B1	英会話	マフリー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 15
	LA102A1	体育理論	井上	
	LA103C1	体育実技(ニュースポーツ)	井上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 19
	LA103C1	体育実技(ストリートダンス)	松野・・・・・・・・・・・	_
	LA103C1	体育実技(ヨガ)	上矢・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	LA104A1	日本国憲法	福田・・・・・・・	25
	LA105A2	自然観察	五味・・・・・・	• 27
	LA106B1	情報機器演習(情報リテラシー含む)	義見	. 29
	LA107A2	児童館・放課後児童クラブの機能と運営	福田・・・・・・	• 31
	LA108A2	児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法I	河西·····	• 33
	LA109A2	キャリア教育	井上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 35
	LA110A2	アカデミックスキルズ	川村・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	37
	LA111A2	山梨学	清水健・・・・・・・・・	39
	LA112A2	日本語表現	小林·····	41
	LA113A2	基礎音楽	田川	43
	専門科目(基	基礎)		
	BO201A2	保育原理 I	清水健・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	BO202A1	教育学概論	福田・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	NT203A2	子ども家庭福祉	福田・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	BO204A2	社会福祉	福田・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	NT205A2	子ども家庭支援論	吉田・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	NT206A2	社会的養護I	福田・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	BO207A1	保育者論	川村・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	BO208A1	発達心理学 I	清水一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 59
	NT209A2	子ども家庭支援の心理学	清水一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	BO210B1	子どもの理解と援助	清水一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	NT211A2	子どもの保健	出口·····	
	NT212B2	子どもの食と栄養	川村・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	BO213A2	保育原理Ⅱ	清水健・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 69
	NT214A2	発達心理学Ⅱ	清水一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 71

KT215A2	教育の方法と技術	川村・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 78
KT216A2	教育相談	清水一・・・・・・・・・・・ 75
専門科目(内	容・方法)	
BO301A1	教育課程・保育の計画と評価	清水健・・・・・・・・ 77
BO302B1	保育内容総論	三井・・・・・・・・ 75
BO303B1	保育内容演習(環境)	吉田・・・・・・・・ 81
BO304B1	保育内容演習(健康)	井上 85
BO305B1	保育内容演習(言葉)	三石・・・・・・・・・・・・・・・・ 85
BO306B1	保育内容演習(人間関係)	清水一 87
BO307B2	保育内容演習(表現I)	田川
BO308B2	保育内容演習(表現Ⅱ)	三井・・・・・・・・・・・ 91
BO309B1	子どもと環境	吉田・・・・・・・・・・・・ 95
BO310B1	子どもと健康	井上95
BO311B1	子どもと言葉	三石・・・・・・・・・・ 97
BO312B1	子どもと人間関係	清水一99
BO313B1	子どもと表現	三井・田川・・・・・・・105
NT314A2	乳児保育 I	井上105
NT315B2	乳児保育Ⅱ	川村・・・・・・・108
NT316B2	子どもの健康と安全	出口・・・・・・・・・・・・・・・・107
BO317B1	特別支援教育論	清水健・・・・・・109
NT318B2	社会的養護Ⅱ	清水健・・・・・・・・・・・111
NT319B2	子育て支援	吉田・・・・・・・・・・・・・・・115
NT320B2	美術表現	三井・・・・・・・115
BO321B1	保育技術研究 I	三井・・・・・・・117
BO321B1	保育技術研究 I	吉田・・・・・・119
BO321B1	保育技術研究 I	清水健・・・・・・12
BO321B1	保育技術研究 I	田川・・・・・・・123
BO321B1	保育技術研究 I	津野・・・・・・128
NT322B2	保育技術研究Ⅱ	三井・・・・・・127
NT322B2	保育技術研究Ⅱ	吉田・・・・・・129
NT322B2	保育技術研究Ⅱ	清水健・・・・・・13
NT322B2	保育技術研究Ⅱ	田川・・・・・・133
NT322B2	保育技術研究Ⅱ	津野・・・・・・135
NT323B2	基礎技能(器楽) I ~IV	田川・関口・青木・・・・・・13
OT327B2	子育て支援実践演習	里見·福田······139
専門科目(実	習・他)	
NT401D2	保育実習 I (保育所)	井上・福田他・・・・・・14:
NT403B2	保育実習指導 I (保育所)	井上・福田······144
NT402D2	保育実習I(施設)	三井・清水健他・・・・・・144
NT404B2	保育実習指導 I (施設)	三井・清水健・・・・・147
NT405D2	保育実習 II (保育所)	井上・吉田他・・・・・149
NT406B2	保育実習指導 II (保育所)	井上·吉田······15
NT407D2	保育実習Ⅲ(児童館)	福田他・・・・・・15
NT408B2	保育実習指導Ⅲ(児童館)	福田・・・・・・156
KT409D2	教育実習(幼稚園)	三石·川村他······15°
KT410B2	教育実習指導(幼稚園)	三石・川村・・・・・・159
BO411B2	保育・教職実践演習(幼稚園)	三石・川村・福田・・・・・・161
-		

I 履修案内

1. 授業科目の区分

本学の授業科目は、以下のように区分される。

- (1) 教養科目、専門教育科目等
 - ① 教養科目
 - ② 保健体育科目
 - ③ 専門教育科目
- (2) 必修、選択必修、選択
 - ① 必修科目・・・・・・必ず履修しなければならない科目
 - ② 選択必修科目・・・・決められた科目の中から、何単位修得しなさい と決められた科目
 - ③ 選択科目・・・・・・自由に選択して履修できる科目

2. 単位制

授業科目には単位数が定められている。

単位とは学修に要する時間を表す基準で、1単位は、大学における15時間の講義に加えて30時間の予習・復習からなる自己学習が伴った45時間の学習を行った上で、さらに当該授業科目の行うべき授業回数の3分の2以上出席し、試験その他の方法により成績評価が合格と判定されることで得られるものである。

授業科目の単位数は、1 単位を4 5 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としているが、単位を計算する上での1 時間は4 5 分(1 単位時間)とし、時間割上の1 時限(1 コマ)は9 0 分としている。

本学の授業科目の単位数は、授業形態により、原則として次の基準による。

- ① 講義・・・・・・15時間から30時間の授業をもって1単位とする。
- ② 演習・・・・・・15時間から30時間の授業をもって1単位とする。
- ③ 実習及び実技・・・・30時間から45時間の授業をもって1単位とする。

3. 卒業の要件

本学を卒業するためには、2年以上在学し、

- ① 教養科目(必修科目)・・・・・・ 6単位
- ② 保健体育科目(必修科目)・・・・・ 2単位
- ③ 専門教育科目(必修科目)・・・・23単位
- ④ 以上の必修科目を含め62単位以上を修得しなければならない。

4. 科目ナンバリング (授業科目番号)

科目ナンバリングとは、本学で開講されているすべての授業科目に適切な番号を付し、 分類をすることで、学修の段階、順序等を表し、教育課程の体系的な編成を行う ための制度である。

本学の科目ナンバリングの内訳は、下記の例で示す。

例 日本国憲法 LA104A1

内訳 <u>LA</u> <u>104</u> <u>A</u> <u>1</u> ① ② ③ ④

①の分類		②の分類		
教養科目	LA	教養科目		100 番台
保育士養成課程科目	NT	専門科目	(基礎)	200 番台
幼稚園教諭課程科目	KT	専門科目	(内容・方法)	300 番台
両養成課程科目	ВО	専門科目	(実習・他)	400 番台
その他	OT			

③の分類 ④の分類

 講義科目
 A
 必修科目
 1

 演習科目
 B
 選択科目
 2

 実技科目
 C

5. 実務経験のある教員等による授業科目及び単位数一覧

D

実習科目

科目名	単位	教員名	実務経験
自然観察	2	五味 愛美	インタープリター(自然ガイド)
子どもの保健	2	出口 千絵	看護師
子どもの健康と安全	1		有 设则
保育実習 I (保育所)	2	保育士	各保育園の保育士
保育実習 I (施設)	2	施設職員	各施設の職員
保育実習Ⅱ (保育所)	2	保育士	各保育園の保育士
保育実習Ⅲ(児童館)	2	児童館職員	各児童館の職員
教育実習 (幼稚園)	2	幼稚園教諭	各幼稚園の幼稚園教諭
計	1 5		

Ⅱ 履修科目一覧

1. 卒業要件

利口はハ	分 教科科目		開設」	単位数	进业
科目区分	教料科目	形態	必修	選択	備考
	日本国憲法	講義	2		
	自然観察	講義実習		2	
	情報機器演習(情報リテラシー含む)	演習	2		
	英会話	演習	2		
	キャリア教育	講義		1	
教養科目	アカデミックスキルズ	講義		1	
	山梨学	講義		1	
	日本語表現	講義		2	
	基礎音楽	講義		2	
	児童館・放課後児童クラブの機能と運営	講義		2	
	児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法I	講義		2	
保健体育	体育理論	講義	1		
科目	体育実技	実技	1		
	小計		8	13	
	教育学概論	講義	2		
	保育原理 I	講義		2	
	保育原理Ⅱ	講義		2	
	社会的養護 I	講義		2	
	社会的養護Ⅱ	演習		1	
	子ども家庭福祉	講義		2	
	特別支援教育論	演習	2		
	社会福祉	講義		2	
	子ども家庭支援論	講義		2	
専門教育	保育内容総論	演習	1		
科目	保育内容演習(健康)	演習	1		
	保育内容演習(人間関係)	演習	1		
	保育内容演習(環境)	演習	1		
	保育内容演習(言葉)	演習	1		
	保育内容演習 (表現 I)	演習		1	
	保育内容演習(表現Ⅱ)	演習		1	
	子どもと健康	演習	1		
	子どもと人間関係	演習	1		
	子どもと環境	演習	1		
	子どもと言葉	演習	1		

子どもと表現	演習	1		
保育技術研究 I	演習	2		
保育技術研究 II	演習		2	
美術表現	演習		1	
乳児保育 I	講義		2	
乳児保育Ⅱ	演習		1	
子どもの理解と援助	演習	1		
発達心理学 I	講義	2		
発達心理学Ⅱ	講義		1	
子ども家庭支援の心理学	講義		2	
子どもの食と栄養	演習		2	
子どもの保健	講義		2	
子どもの健康と安全	演習		1	
教育の方法と技術	講義		2	
教育課程・保育の計画と評価	講義	2		
保育者論	講義	2		
教育相談	講義		2	
子育て支援	演習		1	
教育実習指導(幼稚園)	演習		1	
教育実習 (幼稚園)	実習		4	
保育・教職実践演習(幼稚園)	演習		2	
保育実習 I (保育所)	実習		2	
保育実習I(施設)	実習		2	
保育実習Ⅱ (保育所)	実習		2	
保育実習Ⅲ (児童館)	実習		2	
保育実習指導 I (保育所)	演習		1	
保育実習指導 I (施設)	演習		1	
保育実習指導Ⅱ (保育所)	演習		1	
保育実習指導Ⅲ(児童館)	演習		1	
子育て支援実践演習	演習		1	
基礎技能(器楽) I	演習		1	
基礎技能(器楽)Ⅱ	演習		1	
基礎技能(器楽)Ⅲ	演習		1	
基礎技能(器楽)IV	演習		1	
専門教育科目小計		23	58	
合 計		31	71	

2. 幼稚園教諭2種免許

纵行	教育職員免許法施行規則		教科科目	授業	開設	単位数	備考	卒業
教 [94晚只为6日日本70017700只	東東ノレロ TAJIET J がまり なんわれ ロ		形態	必修	選択	畑与	必修
	日本国憲法 情報機器の操作		日本国憲法	講義	2			•
第 66 条の 6 に定める			情報機器演習(情報リテラシー含む)	演習	2			•
科目	外国語コミュニケー	ション	英会話	演習	2			•
	体育		体育理論	講義	1			•
	14月		体育実技	実技	1			•
	小		計		8			
		健康	子どもと健康	演習	1			•
	領域に関する専門的	人間関係	子どもと人間関係	演習	1			•
	事項	環境	子どもと環境	演習	1			•
	3.7	言葉	子どもと言葉	演習	1			•
		表現	子どもと表現	演習	1			•
領域及び保育内容の			保育内容演習(健康)	演習	1			•
指導法に関する科目			保育内容演習(人間関係)	演習	1			•
	 保育内容の指導法(情	報機器及び教材の活用	保育内容演習(環境)	演習	1			•
	を含む。)	TRIVIALE OF THE TENT	保育内容演習(言葉)	演習	1			•
	21307		保育内容演習(表現I)	演習	1			
			保育内容演習(表現Ⅱ)	演習	1			
			保育内容総論	演習	1			•
		制度的又は経営的事項 及び学校安全への対応	教育学概論	講義	2			•
教育の基礎的理解に	教職の意義及び教員の 学校への対応を含む。)	役割、職務内容(チーム	保育者論	講義	2			•
関する科目	幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の 過程		発達心理学 I	講義	2			•
	特別の支援を必要とす に対する理解	る幼児、児童及び生徒	特別支援教育論	演習	2			•
	教育課程の意義及び編 ム・マネジメントを含	誠の方法(カリキュラ む。)	教育課程・保育の計画と評価	講義	2			•
道徳、総合的な学習の	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育の方法と技術	講義	2			
時間等の指導法及び	幼児理解の理論及び方	法	子どもの理解と援助	演習	1			•
生徒指導、教育相談等に関する科目	教育相談(カウンセリ 知識を含む。)の理論》	ングに関する基礎的な なび方法	教育相談	講義	2			
教育実践に関する科		ーンシップ (学校体験活 gことができる。) (5 単	教育実習指導(幼稚園)	演習	1			
目	位)		教育実習(幼稚園)	実習	4			
	教職実践演習(2 単位)	保育•教職実践演習(幼稚園)	演習	2			
			保育原理 I	講義		2		
大学が独自に設定す	<u>↓~~~</u> 3.8X± ← 1 →=n.← 3 - ~	A) D	保育原理Ⅱ	講義		2		
る科目	大学が独自に設定する	竹日	社会福祉	講義		2		
			保育技術研究 I	演習	2			•
	小	計			36	6		
	合	計			44	6		

3. 保育士資格

	育士養成課程に	MODE P	1-5 Microchic	Į.	開設単位数	 汝	/4th -lar	卒業
	よる系列	教科科目	授業形態	必修	選択必修	選択	備考	必修
		日本国憲法	講義		2			•
		自然観察	講義実習		2			
		情報機器演習(情報リテラシー含む)	演習		2			•
		キャリア教育	講義			1		
	外国語、体育	アカデミックスキルズ	講義			1		
数	以外の科目	山梨学	講義			1		
教養科目		児童館・放課後児童クラブの機能と運営	講義			2		
目		児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法 I	講義			2		
		日本語表現	講義			2		
		基礎音楽	講義			2		
	外国語	英会話	演習		2			•
	壮 ·本	体育理論	講義	1				•
	体育	体育実技	実技	1				•
		小計		2	8	11		
		保育原理I	講義	2				
		教育学概論	講義	2				•
		子ども家庭福祉	講義	2				
保育	育の本質・目的 関する科目	社会福祉	講義	2				
に関		子ども家庭支援論	講義	2				
		社会的養護 I	講義	2				
		保育者論	講義	2				•
		保育原理Ⅱ	講義		2		※ 1	
		発達心理学I	講義	2				•
		子ども家庭支援の心理学	講義	2				
保育	育の対象の理解	子どもの理解と援助	演習	1				•
に関	引する科目	子どもの保健	講義	2				
		子どもの食と栄養	演習	2				
		発達心理学Ⅱ	講義		1		※ 1	
		教育課程・保育の計画と評価	講義	2				•
		保育内容総論	演習	1				•
/III -	5045 4V	保育内容演習(健康)	演習	1				•
	育の内容・方法	保育内容演習(人間関係)	演習	1				•
(CB	員する科目	保育内容演習(環境)	演習	1				•
		保育内容演習(言葉)	演習	1				•
		保育内容演習(表現I)	演習		1		※ 4	

	保育内容演習(表現Ⅱ)	演習		1		※ 4	
	子どもと健康	演習	1				•
	子どもと人間関係	演習	1				•
	子どもと環境	演習	1				•
	子どもと言葉	演習	1				•
	子どもと表現	演習	1				•
	乳児保育 I	講義	2				
	乳児保育Ⅱ	演習	1				
	子どもの健康と安全	演習	1				
	特別支援教育論	演習	2				•
	社会的養護Ⅱ	演習	1				
	子育て支援	演習	1				
	美術表現	演習		1		※ 1	
	保育技術研究 I	演習		2		※ 1	•
	保育技術研究Ⅱ	演習		2		※ 1	
	基礎技能(器楽) I	演習		1		※ 1	
	基礎技能(器楽)Ⅱ	演習		1		※ 1	
	基礎技能(器楽)Ⅲ	演習		1		※ 1	
	基礎技能(器楽)IV	演習		1		※ 1	
	教育の方法と技術	講義		2		※ 1	
	教育相談	講義		2		※ 1	
	保育実習I(保育所)	実習	2				
	保育実習 I (施設)	実習	2				
	保育実習指導 I (保育所)	演習	1				
保育実習	保育実習指導 I (施設)	演習	1				
体月天日	保育実習Ⅱ(保育所)	実習		2		※ 2	
	保育実習指導 Ⅱ (保育所)	演習		1		※ 2	
	保育実習Ⅲ(児童館)	実習		2		※ 3	
	保育実習指導Ⅲ(児童館)	演習		1		※ 3	
総合演習	保育・教職実践演習(幼稚園)	演習	2				
保育士資格得科目ではないが、学校	教育実習指導(幼稚園)	演習			1		
独自の科目として開設されている教	教育実習(幼稚園)	実習			4		
科目	子育て支援実践演習	演習			1		
	専門教育科目小計		51	24	6		
	合 計		53	32	17		

- 1. 教養科目の必修科目2単位と選択必修科目から6単位以上、計8単位以上取得のこと。
- 2. ※1の選択必修科目から6単位以上取得のこと。
- 3. ※2又は※3のどちらか一方の科目を3単位取得のこと。
- 4. ※4のどちらか一方の科目を1単位取得のこと。

Ⅲ 各ポリシーとの関連性

(建学の精神と三つの教育方針、履修カルテ)

「学士課程教育の構築に向けて」 (審議のまとめ)	建学の精神 (教育目標)	学位授与の方針	教育課程編成・ 実施の方針	入学者受入方針	履修カルテ (成績評価表の観点)
1. 知識・技能・理解 専攻する特定の学問分野に おける基本的な知識を体系的 に理解するとともに、その知識 体系の意味と自己の存在を歴 史・社会・自然と関連づけて理 解する。 (1)多文化・異文化に関する知 識の理解 (2)人類の文化、社会と自然に 関する知識の理解	(2)幅広い知識を身 につけ、国際的 視野に立って判 断ができ (幼児教育に関 する専門的知 識、技能を育成 する)	(2)幼児教育に関す る専門的知識と 保育技術を身に つけていること	(2)少人数教育による専門科目の履修と個人の習熟度に応じた保育技術の向上をあること(履修カルテの活用)	(1)保育の分野に関 心のあるもの	①幼児教育・保育 について ②子どもについて の理解
2. 汎用的技能 知的活動でも職業生活や社会生活でも必要な技能 (1)コミュニケーション・スキル (2)数量的スキル (3)情報リテラシー (4)論理的思考力 (5)問題解決力	(3)実学を通して創造力および人間味豊かな専門をある人材のある人材のを目的とする(社会人としていてな教養と広い、現野を身にでは、現野を身にでは、あり、	(1)社会人として必 要な教養とマナ ーを身につけて いること	(1)豊かな自然環境 を活かし、社会人 基礎力(ジェネリ ック・スキル)を習 得できる教育課 程であること		⑤領域・教育課程 に関する基礎知 識・技能 ⑥教育実践
3. 態度・志向性 (1)自己管理力 (2)チームワーク、リーダーシップ (3)倫理性 (4)市民としての社会的責任 (5)生涯学習力	(1)努力をすべての 基とし、偏見を排 し (地域社会に貢 献できる人材を 育成する)		(3)地域の乳幼児や 保護者と交流を 深め、体験から学 べる教育課程で あること		③他者との協力 ④コミュニケーショ ン
4. 統合的な学習経験と創造的 思考力 これまでに獲得した知識・技 能・態度等を総合的に活用し、 自らが立てた新たな課題にそ れらを適用し、その課題を解決 する能力	造力および人間 味豊かな専門性 のある人材の養 成を目的とする	(3)保育の課題を積極的に探求していこうとする意欲をもっていること			⑦課題探求

Ⅳ シラバス

	科目区分	教養科目	科	目分類		教養科目		科目番	号	LA	.101B1
	授業科目			英会話	i			担当教	員	マフリー	- パトリック
Ī	履修年次	開講時期	単位数	E	時間	授業形態	쟉	三業要件		力2種免	保育士
	2年	通年	2		60	演習		必修		必修	選択必修

保育者として就労した際に想定される、園生活における日常的な英会話の習得を目指す。

(授業の概要)

生活会話の宝庫である保育園の生活、なかでも年間行事と子どもの遊びに焦点をあて、保育の現場にも確実に押し寄せてきている国際化の波を実践的に理解させる。またナーサリーライムを中心とした英語の手遊びを数多く紹介し、日本のわらべ歌との相違を比較検討する。

(授業の到達目標)

- ・保育者としてマスターしておきたい基礎的な英会話の習得
- ・異文化への理解

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	

【評価方法】

授業内課題40% 授業への取組み20% 定期試験40% 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

復習:各回毎、授業の復習を行うこと。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は、添削のうえ返却する。試験は、解答を公表する。

【使用テキスト】

「保育の英会話」 赤松直子・久富陽子著 萌文書林

【参考図書】

「マザーグースとあそぶ本」 百々祐利子 監修・訳 ラボ教育センター

【学生へのメッセージ】

授業内で、英語圏の子どもたちの手遊びやわらべ歌、行事等を紹介します。高校時代に英語が好きだった学生もそうでなかった学生も、英語にさらに興味を持ってもらえるような授業を心がけます。

回	授 業 概 要 と 準 備 学 習 (予習・復習等)
1	自己紹介とイスター
2	保育の英会話への第一歩簡単な質問と答え・保育園で働く人々
3	みなと保育園にようこそ① 外国人の子どもの入園・あいさつ
4	みなと保育園にようこそ② デイヴィーの家族紹介・保育室
5	子どもに人気な英語のうたとゲーム①
6	子どもに人気な英語のうたとゲーム②
7	子どもに人気な英語のうたとゲーム③
8	地図と道案内 道順·案内
9	クラスメイトとの出会い① 紹介・子どもの遊び
10	クラスメイトとの出会い② 園庭の遊具
11	子どもと文化
12	形容詞と気分
13	英語の表現のポスター①
14	英語の表現のポスター②
15	英語の表現のポスター③
16	ハロウィン
17	排泄に関する会話① 排泄
18	排泄に関する会話② 連絡帳・英文でのコミュニケーション
19	英語を学びながら調理(実習)
20	けんか けんか・文房具・体の部位・命令文
21	けがと病気 けがと病気・症状・医療機関・応急処置
22	クリスマス
23	電話での対応① 電話での応対・園行事への招待
24	電話での対応② メッセージを書く・リスニング
25	遠足① 遠足・交通機関
26	遠足② IF構文・園からのお知らせ
27	赤ちゃんのケア① 赤ちゃんへの言葉かけ・育児用品
28	赤ちゃんのケア② 赤ちゃんの成長・発達
29	卒園① 卒園・祝福
30	卒園② 感謝・記念日まとめ

科目区分	教養科目	教養科目 科目分類 教養科目		科目番号		LA102A1						
授業科目		体育理論						担当教員	Ä	井上 聖子		
履修年次	開講時期	単位	位数	田	計間	授業形態	態	卒	業要件		力2種免	保育士
2年	前期		1		15	講義		必修		必修	必修	

運動発現にかかわる生理学的な知識を把握してもらうことを目的とする。またそのことにより、自己の健康・体力に関心を持ち、日頃から身体活動量を増やす心がけや運動に親しむ姿勢、能力を育てることも目的とする。

(授業の概要)

運動不足が心身の健康に弊害をもたらし、生活習慣病の一つの要因になっていることは、周知の通りである。そのため人々は、運動への関心を高めており、教育現場でも生涯体育が重要視されている。本講義では、生体が運動によって受ける機能的、形態的な影響、トレーニング効果、身体活動について、生理学的な観点から学び、自己の健康・体力に対する認識を深めてもらうよう講義を進めていく。

(授業の到達目標)

- ・身体機能の素晴らしさを認識する。
- ・自己の健康に関心を持つ。
- ・日頃から身体活動を行おうという意識を持つ。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	

【評価方法】

課題レポート20% 定期試験80% 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

予習:事前に資料を配布するので、その単元について調べてくること。(30分)

復習:授業内容をまとめ、理解した点、理解できなかった点を明らかにし、学びを深めること。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は、添削のうえ返却する。試験は、解答を公表する。

【使用テキスト】

配布資料をもとに授業を進めていく。

【参考図書】

「健康・体力のための運動生理学」 石川利寛著 杏林書院

【学生へのメッセージ】

生理学的なことを学びますが、難しい内容ではありませんので、自己の健康・体力についての認識を深めて下さい。 授業で配布するプリントを中心に講義を進めていきます。

回	授 業 概 要
1	からだの構造とはたらき (1)からだの構成 (2)からだの構造とはたらき
2	運動と筋の生理① (1)筋の種類と構造 (2)骨格筋の分類と構造
3	運動と筋の生理② (3)筋収縮の機構とエネルギー
4	運動と筋の生理③ (4)骨格筋の損傷と適応 (5)ウォーミングアップとクールダウン
5	運動と神経 (1)神経とは (2)運動と中枢神経 (3)運動と末梢神経
6	運動と循環の生理① (1)運動と心拍数 (2)運動と心拍出量
7	運動と循環の生理② (3)トレーニングと呼吸循環機能 (4)運動と血圧
8	運動と健康

科目	区分	教養科目		斗目分類		教養科目		科目番	号	LA	.103C1
授業	科目	体育実技(ニュースポーツ)						担当教	川	井上 聖子	
履修:	年次	開講時期	単位数	文 E	時間	授業形態	쟉	業要件		加2種免	保育士
2年	Ę.	後期	1		30	実技		必修		必修	必修

ニュースポーツのルールを理解し、ゲームが実施できるようにする。 また、生活の中に規則的に運動を取り入れることにより、体力の向上を図ることを目的とする。

(授業の概要)

ニュースポーツであるフリーテニスの特性を知り、技術力の向上を図る。またさまざまな運動をすることにより、身体を動かすことの楽しさを体感し、生涯にわたり計画的に運動に親しむ姿勢や態度を育てる。それらとともに健康の保持増進と体力の向上を図り、豊かな生活を営める態度をも育てる。

(授業の到達目標)

- ・運動することの楽しさを知り、生涯体育につなげていく。
- ・運動することを通じて、活動への意欲を高める。
- ・運動することを通して、他者と協力することの大切さを学ぶ。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	

【評価方法】

実技点30% 学習意欲 70% 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

予習:ルールの理解とそれぞれの技術について事前に調べてくること。(30分)

復習:授業内での反省をもとに、次の課題を決めてくること。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

毎回の授業内で、課題解決のための指導を行う。

【使用テキスト】

特になし

【参考図書】

特になし

【学生へのメッセージ】

ニュースポーツの楽しさを体感します。 運動のできる服装を用意して下さい。

回	授 業 概 要
1	フリーテニス(1)
2	フリーテニス(2)
3	フリーテニス(3)
4	フリーテニス(4)
5	フリーテニス(5)
6	幼児用体操(1)
7	幼児用体操(2)
8	幼児用体操(3)
9	幼児用体操(4)
10	ドッジボール(1)
11	ドジボール(2)
12	ソフトバレーボール(1)
13	ソフトバレーボール(2)
14	ソフトバレーボール(3)
15	ソフトバレーボール(4)

科目区分	教養科目	科目名	分類	教養科目		科目番	号	LA	.103C1
授業科目		体育実技(ス	ストリートタ	(ンス)		担当教	員	松野 直也	
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	격	产業要件	幺	加2種免	保育士
2年	後期	1	30	実技	実技			必修	必修

生活の中に規則的に運動を取り入れることにより、健康の維持並びに体力の向上を図ることを目的とする。また、身体を動かすことの楽しさを体感し、生涯にわたり運動に親しむ姿勢や態度を育てる。

(授業の概要)

- ・リズムトレーニングを通して、音楽のリズムに乗り、身体を動かしてみましょう。
- ・ストレッチ・アイソレーションを通して、ケガの予防、ダンスでの身体の使い方を身に付けましょう。
- ・ルーティン(振付)を踊る事で、達成感を味わう事を知りましょう。

(授業の到達目標)

- ・運動することの楽しさを知り、生涯体育につなげていく。
- ・運動することを通じて、活動への意欲を高める。
- ・運動することを通して、他者と協力することの大切さを学ぶ。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身に着けていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身に着けていること。	
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	

【評価方法】

実技 30% 学習意欲 70% 計 100%

【準備学習(予習・復習等)】

準備:授業の前にリズムトレーニングやアイソレーションを思い出して実践しましょう。(30分)

復習:授業で行ったルーティンを仲間と一緒に。自宅で1人で踊りましょう。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

特になし

【使用テキスト/参考図書】

特になし

【持ち物や服装】

飲み物(お茶か水など)、フェイスタオルか手ぬぐい、動きやすく裸足になれる服装

【学生へのメッセージ】

人には個々の能力がそれぞれ異なります。ダンスが踊れても踊れなくてもどちらでも構いません。一生懸命取り組み、楽しく踊る事が出来れば良いじゃないですか。楽しい時間にしていきましょう。

	授 業 概 要
1	オリエンテーション(自己紹介・授業内容の進め方について)
2	ダンス実技(リズムトレーニング・アイソレーション・ストレッチ・ルーティン)①
3	ダンス実技(リズムトレーニング・アイソレーション・ストレッチ・ルーティン)②
4	ダンス実技(リズムトレーニング・アイソレーション・ストレッチ・ルーティン)③
5	ダンス実技(リズムトレーニング・アイソレーション・ストレッチ・ルーティン)④
6	ダンス実技(リズムトレーニング・アイソレーション・ストレッチ・ルーティン)⑤
7	ダンス実技(リズムトレーニング・アイソレーション・ストレッチ・ルーティン)⑥
8	ダンス実技(リズムトレーニング・アイソレーション・ストレッチ・ルーティン)⑦
9	ダンス実技(リズムトレーニング・アイソレーション・ストレッチ・ルーティン)⑧
10	ダンス実技(リズムトレーニング・アイソレーション・ストレッチ・ルーティン)⑨
11	ダンス実技(リズムトレーニング・アイソレーション・ストレッチ・ルーティン)⑩
12	ダンス実技(リズムトレーニング・アイソレーション・ストレッチ・ルーティン)⑪
13	ダンス実技(リズムトレーニング・アイソレーション・ストレッチ・ルーティン)①
14	ダンス実技(リズムトレーニング・アイソレーション・ストレッチ・ルーティン)③
15	ダンス実技(リズムトレーニング・アイソレーション・ストレッチ・ルーティン)④

科目区分	教養科目	科目:	分類	教養科目		科目番	号	LA	.103C1
授業科目		体育実技(ヨガ)					員	上矢	き なぎさ
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	격	产業要件	幺	加2種免	保育士
2年	後期	1	30	実技		必修		必修	必修

生活の中に規則的に運動を取り入れることにより、健康の維持並びに体力の向上を図ることを目的とする。また、身体を動かすことの楽しさを体感し、生涯にわたり運動に親しむ姿勢や態度を育てる。

(授業の概要)

- ・アーサナ(ヨガポーズ)の実技を通して、体の使い方、緊張弛緩のバランス、ケガの予防法を学習する。
- ・プラーナヤーマ(呼吸法)の実践によって、感情のコントロール法、ストレスケア法を身につける。
- ・プラティヤハーラ(意識化)を取り入れることで、勉学や日常生活での平常心や集中力、持続力を図る。

(授業の到達目標)

- ・運動することの楽しさを知り、生涯体育につなげていく。
- ・運動することを通じて、活動への意欲を高める。
- ・運動することを通して、他者と協力することの大切さを学ぶ。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定·学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身に着けていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身に着けていること。	
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	

【評価方法】

実技 30% 学習意欲 70% 計 100%

【準備学習(予習・復習等)】

準備:授業の前にその日の体調や心の様子を観察しておく。

復習:授業で行ったポーズや呼吸法など気に入ったものを自宅で実践してみる。どんな変化があったのが記録する。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

特になし

【使用テキスト/参考図書】

特になし

【持ち物や服装】

飲み物(お茶か水など)、フェイスタオルか手ぬぐい、ヨガマット、ブランケット(必要な人)、動きやすく裸足になれる服装

【学生へのメッセージ】

ヨガは、ストレス過多な現代を生きる人にとって必須ともいえる健康的なリラグゼーション法です。体が硬い人も安心して楽しめる授業内容です。社会人になってからも自宅で続けられる様に身につけてみましょう。伝統的なヨガとともに、予防医学の目線からのヨガのお話もしていきます。

	授 業 概 要
1	オリエンテーション(授業内容の進め方について、ヨガの概要説明) 時間があったら簡単なヨガをしてみましょう
2	ヨガ実技 (アーサナ、プラーナーヤーマ、プラティヤハーラ) テーマ:土台の力を身につける
3	ヨガ実技 (アーサナ、プラーナーヤーマ、プラティヤハーラ) テーマ:軸の感覚を養う
4	ヨガ実技 (アーサナ、プラーナーヤーマ、プラティヤハーラ) テーマ:体の中に空間を作る
5	ヨガ実技 (アーサナ、プラーナーヤーマ、プラティヤハーラ) テーマ:自律神経を整える
6	ヨガ実技(アーサナ、プラーナーヤーマ、プラティヤハーラ) テーマ:体と心のつながり
7	ヨガ実技(アーサナ、プラーナーヤーマ、プラティヤハーラ) テーマ:痛みをケアする
8	ヨガ実技(アーサナ、プラーナーヤーマ、プラティヤハーラ) テーマ∶感情をコントロールする
9	∃ガ実技(アーサナ、プラーナーヤーマ、プラティヤハーラ) テーマ:自信がないときは
10	ヨガ実技 (アーサナ、プラーナーヤーマ、プラティヤハーラ) テーマ:自分や相手に寄り添う
11	ヨガ実技 (アーサナ、プラーナーヤーマ、プラティヤハーラ) テーマ:ヨガで有名な「太陽礼拝」をしてみよう
12	ヨガ実技 (アーサナ、プラーナーヤーマ、プラティヤハーラ) テーマ:人生の目標を感じる
13	ヨガ実技 (アーサナ、プラーナーヤーマ、プラティヤハーラ) テーマ:体を温める方法
14	ヨガ実技(アーサナ、プラーナーヤーマ、プラティヤハーラ) テーマ:心を穏やかに保つ
15	ヨガ実技 (アーサナ、プラーナーヤーマ、プラティヤハーラ) テーマ:ヨガの瞑想をしてみましょう

科目区分	教養科目	教養科目 科目分類 教養科目		科目番号		LA	.104A1		
授業科目		日本	国憲法			担当教	Ä	福日	田 光弘
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	즉	产業要件	幺	加2種免	保育士
2年	前期	2	30	講義		必修		必修	選択必修

日本という国の基本である憲法を学びながら、国の仕組みを理解する。国の文化・伝統についての理解を深め、国を愛するこころを育てる。現代社会の諸問題を個人的立場を離れ、社会という大きな枠組みの中で理解する力を育てる。

(授業の概要)

日本の国のあり方を定めた「日本国憲法」について、その基本的考え方を学びながら、日本の社会と文化について理解を深める。

(授業の到達目標)

・身のまわりの出来事を、個人の主観的立場を離れて社会的・公共的視点(社会科学的視点)から理解する。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	

【評価方法】

定期試験80% 学習マナー20% 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

予習:授業で扱う憲法の条文を熟読し、内容を把握しておく。わからない単語は調べておく。ニュースや新聞に目を通し、社会的時事について関心を持つ。(各回45分程度)

復習: 資料やテキストを参考に、授業内容の要点を復習する。現在の社会問題、国際問題と憲法の関係を把握しておく。(各回45分程度)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

定期試験について、試験後解説を行う。

【使用テキスト】

なし。授業前に配布する「日本国憲法」全文をテキストとして使用する。プリントされた条文が必要な者は、『日本国憲法 新装版』 (講談社学術文庫)などを参考にするとよい。

【参考図書】

池上 彰『超訳 日本国憲法』(新潮新書) 八木秀次『日本国憲法とは何か』(PHP新書)

【学生へのメッセージ】

憲法を学んで、日本国民としての常識を身に付けよう。社会の仕組みがよくわかるようになります。

回	授 業 概 要
1	ガイダンス 憲法とは何か 大日本帝国憲法と日本国憲法 日本国憲法の成立過程
2	前文を読み、憲法の概略を理解する
3	天皇 その1 象徴天皇
4	天皇 その2 天皇否定論を理解する
5	天皇 その3 天皇と日本文化
6	戦争の放棄 自衛隊の存在理由 国際情勢の変化と自衛隊
7	「第2次世界大戦」とは何だったのか 日本国憲法の基本にあるもの
8	国民の権利および義務
9	国会のしくみ
10	内閣のしくみ
11	司法のしくみ
12	財政のしくみ
13	地方自治
14	最高法規としての憲法と憲法改正の論点
15	まとめ

科目区分	教養科目	科目:	科目分類 教養科目			科目番号		LA105A2		
授業科目		自	然観察				担当教	THE STATE OF THE S	五四	未 愛美
履修年次	開講時期	単位数	時間	i	授業形態	즉	产業要件	幺	加2種免	保育士
1年	前期	2	30		講義·実習		選択		_	選択必修

子どもと接する一人の保育者として、自然環境を知り、自然物に関心を持ち、その伝え方の手法について理解を深めます。

(授業の概要)

保育士、幼稚園教諭の基本的な技術としての、自然の中での子どもを遊ばせる手法を学びます。子どもが自然の中に身を置く事は情緒の発達、コミュニケーション能力、五感の刺激、命の巧みの認知を促す事ができます。そのために保育者自身が自然生態系を知っておく事が必須です。園庭にある自然物、園外の公園や森で子どもが五感を使って自然を感じるための手法を学びます。(本講義は、インタープリター(自然ガイド)の実務家活動を基に行われる。)

(授業の到達目標)

- ・基本的な自然物の生態系を知る。
- 野外での五感を使いながらの野外遊びが出来るようになる。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身に着けていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身に着けていること。	
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	

【評価方法】

授業への取り組み40% 課題レポート20% 試験40% 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

事前:予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする。(30分)

事後:ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は、添削のうえ返却する。試験は、解答を公表する。

【使用テキスト】

特になし

【参考図書】

「自然観察ハンドブック」 平凡社出版/(財)日本自然保護協会

「自然植物あそび一年中」学研/出原大著

【学生へのメッセージ】

「自然体験プログラム」は実習、「自然の理解」は講義となります。

野外実習がありますので、動きやすい服装でのぞんで下さい。毎回、身の回りの自然を観察しながらの授業になりますので、自然を活かした遊びを考えておいて下さい。

回	授 業 概 要
1	オリエンテーション 自然への関わり方に関する理解(昔遊びを思い出してみる)
2	自然体験プログラム① 保育者がまずは自然に触れてみる
3	自然の理解① 基本的な自然の構成物及び自然体験プログラムの組み立て方を知る
4	自然体験プログラム② 植物に焦点を置いたプログラム体験
5	自然の理解② 基本的な植物の生態を知る
6	自然体験プログラム③ 動物に焦点を置いたプログラム体験
7	自然の理解③ 基本的な動物の生態を知る
8	自然体験プログラム④ 昆虫に焦点を置いたプログラム体験
9	自然の理解④ 基本的な昆虫の生態を知る
10	自然体験プログラム⑤ 自然物を使ったクラフト体験。草花遊び。
11	自然の理解⑤ 危険な動植物、悪天候の場合の注意点、アクティビティ実施実習のための準備
12	自然体験プログラム⑥ アクティビティの実施実習
13	自然の理解⑥ NEAL自然体験指導者とは
14	自然体験プログラム⑦ アクティビティの実施実習
15	まとめ

科目区分	教養科目		目分類		教養科目		科目番	号	LA	.106B1
授業科目	情報	没機器演	図(情報!	ノテラシー	一含む)		担当教	E C	義見	見 善知
履修年次	開講時期	単位数	E	時間	授業形態	쭈	产業要件	幺	力2種免	保育士
1年	通年	2		60	演習		必修		必修	選択必修

情報社会において、インターネット利用に関しての正しい知識及びマナーの理解、表現メディアの編集と表現に関する知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てると同時にディプロマポリシーに対応する演習をめざす。

(授業の概要)

情報社会において必要とされているコンピュータ利用スキル並びに情報倫理に関する講義を行う。 そして、大学内外で必須となる情報処理に関する実践的能力を習得するために,具体的な課題を解決する演習を行う。 う。

(授業の到達目標)

- ・インターネットの正しい利用を理解させる(法規・セキュリティ)
- ・園だより・園案内・児童台帳・ホームページの作成
- PCの基礎知識・幼児教育現場での活用例の習得

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定·学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

定期試験10% 各検定10% 授業態度10% 課題レポート70% 計100%

【準備学習(予習・復習)】

予習:毎回の授業前に前回作業した演習内容を再度理解しておくこと。(30分)

復習:授業で学習したテーマを復習して、技術や技能を確実に習得すること。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は、添削のうえ返却する。試験は、解答を公表する。

【使用テキスト】

「保育者のためのパソコン講座」 阿部正平・阿部和子・二宮祐子 編著(萌明書林) 日本情報処理検定協会問題集 ※毎授業ごとテキストプリントを配布します。

【参考図書】

Adobe Photoshop 基礎テキスト ACA PhotoshopCS6 広田正康 著(ソーテック社) Illustratorトレーニングブック 広田正康 著(ソーテック社) IllustratorCS6の本 佐々木京子 著(技術評論社)

【学生へのメッセージ】

課題制作に対する取り組み、および授業への積極的参加度等をふまえて総合的に判断し評価する。

回	授 業 概 要
1	受講の説明、PCの基本操作、注意説明
2	通信文 I 通信文の書式を学ぶ。 文章の位置関係
3	通信文 I 通信文の作成 表の挿入、受信者と発信者
4	通信文皿 通信文の作成 図形挿入による地図の作成方法
5	通信文IV 通信文の応用 線による地図の作成方法、方位記号の作成方法
6	課題演習 通信文検定 保育園・幼稚園の事例を挙げ時間内に作成
7	文章デザイン I 文章デザインの基礎を学ぶ フォント、サイズ、フォントデザイン、表の挿入
8	文章デザイン II 文章デザインの作成 文字の加工、図形の加工、表の加工、画像の挿入
9	文章デザイン皿 文章デザインの応用 レイアウトの加工、特殊文字、ドロップキャップ
10	課題演習 文書デザイン検定 レイアウト課題を与え時間内に作成
11	文章デザイン課題制作 「画家ポール・セザンヌについての考察」
12	画像処理 I 画像処理の基礎を学ぶ。(Photoshop) ペイント系ブラシによる修復方法
13	画像処理 II 画像処理の基礎を学ぶ。(Photoshop) ピクセル(画素)単位の修復方法
14	画像処理皿 レイヤーの操作方法(Photoshop) レイヤースタイルの適用、画像の合成
15	画像処理IV フィルターの操作方法(Photoshop) Creative Cloudの進化の軌跡と、トップクリエイターのCreative Cloud活用法
16	画像処理IV アンディウォーホルの世界 課題制作 シルクスクリーン技法での作品を制作(Photoshop)
17	図形描写 I 図形処理の基礎を学ぶ。 ベクター形式の図形操作(Illustratorオペレーション基礎)
18	図形描写 II 図形のハンドリング ベジェ曲線の特性(Illustrator)
19	図形描写Ⅲ 文字・図形・画像の統合処理(アプリケーションの連携)
20	課題制作 園だよりの作成 I マイホルダー画像の編集
21	課題制作 園だよりの作成Ⅱ 文字・イラスト・地図の編集
22	課題制作 園だよりの作成 I 最終仕上げ、校正、印刷
23	プレゼンテーション I 園案内の作成 発表内容の設計と制作
24	プレゼンテーションⅡ 園案内の作成 資料の制作
25	表計算ソフト I 児童台帳の作成 セルの設定 入力規制
26	表計算ソフト II 児童台帳の作成 並び替え カウント系関数の利用
27	ホームページ作成 I CSSを利用した編集
28	ホームページ作成Ⅱ CSSの設定と編集作成
29	法規とセキュリティ 情報の管理・保護に関する法律
30	まとめ 幼児教育におけるPCの運用 その他 年間既習事項の復習と確認

科目区分	教養科目	教養科目 科目分類 教養科目			科目番号		LA	107A2	
授業科目	児童館	児童館・放課後児童クラブの機能と運営 担当教員					福日	田 光弘	
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	즉	产業要件	幺	力2種免	保育士
2年	前期	2	30	講義		選択		_	選択

児童福祉の基本理念である「健全育成」の考え方を理解するとともに、現代の子どもの健全育成の課題について学ぶ。また、その理念を地域で具現する児童館・放課後児童クラブの機能を理解する。

(授業の概要)

児童館・放課後児童クラブとはどのような施設であり、どのような理念に基づいて運営されているかを学ぶ。その中で、 現状における両施設の動向について概観する。

(授業の到達目標)

- ・児童館について理解する。
- ・放課後児童クラブについて理解する。
- ・児童の健全育成について理解する。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

授業内提出物など50% 定期試験50% 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

事前:テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う。(30分) 事後:配布プリントなどにより、授業内容について確認する。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は、添削のうえ返却する。定期試験について、試験後解説を行う。

【使用テキスト】

授業内で指定する。

【参考図書】

『児童館・放課後児童クラブテキストシリーズ② 児童館論』一般財団法人 児童健全育成推進財団

【学生へのメッセージ】

授業内配布物を参考に、分からない箇所は教科書の該当部分を熟読することや、授業担当者に質問することで復習 し、学期末に備えてください。

回	授 業 概 要					
1	オリエンテーション(講義内容、評価方法の説明)					
2	児童福祉法の理念と健全育成					
3	健全育成の具体的内容と遊びの健全育成上の意味					
4	児童館・放課後児童クラブの変遷					
5	児童館・放課後児童クラブの概要と特性					
6	児童館ガイドラインの内容と児童館に求められる機能①					
7	児童館ガイドラインの内容と児童館に求められる機能②					
8	放課後児童クラブの「基準」「運営指針」「認定資格研修」					
9	運営管理(法令遵守、子どもの権利擁護、要望苦情への対応)					
10	安全対策(安全管理・危機管理、防災・防犯、事故防止活動)					
11	児童館・放課後児童クラブの環境構成					
12	児童館・放課後児童クラブにおける障害児支援					
13	児童厚生員・放課後児童指導員の職場倫理					
14	児童館・放課後児童クラブの課題と展望					
15	まとめ					

科目区分	教養科目	科目:	科目分類		教養科目		科目番号		LA108A2	
授業科目	児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法 I 担当教員							河西 美代子		
履修年次	開講時期	単位数	時	間	授業形態	쟉	業要件		加2種免	保育士
2年	集中	2	3	30 講義 :		選択	_		選択	

「あそび」を通じて少子化対策の推進、いじめ、児童虐待、不登校、青少年犯罪など、多様化し複雑化する児童問題 へ対応する児童館の役割について理解を深める。

(授業の概要)

児童館の機能と役割を学習し、児童館における児童健全育成活動の手法を学ぶなかで、児童館における児童健全育成活動の初歩的な手法と運営について包括的に学んでいく。(本講義は、児童厚生員の実務家活動を基に行われる。)

(授業の到達目標)

- ・児童館の持つ機能と役割の基本を理解する。
- ・健全育成の手段としてのあそびを理解する。
- あそびを実践し、その効果を分析する。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身に着けていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身に着けていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

授業内課題50% 学習マナー20% 試験30% 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

予習:授業に臨む前に下調べをし、児童館について把握しておく。(30分) 復習:学習した内容をノート等にて整理し直し、理解を深める。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は、添削のうえ返却する。試験は、解答を公表する。

【使用テキスト】

毎回、授業時にプリントを配布する予定。

【参考図書】

児童館 理論と実践/発達障害のある子どもたちの受け入れのために/児童館・放課後児童クラブのための安全対策ハンドブック すべて著&出版:(財)児童健全育成推進財団 発行:全国児童館連合会

【学生へのメッセージ】

児童館についてを知識として知るとともに、「健全育成としてのあそび」は、実際に体験する中で実感・理解することが大切です。そのため、授業中に紹介する「あそび」について積極的に参加する姿勢を求めます。野外も想定した「活動しやすい服装・靴」で受講してください。

回	授 業 概 要
1	児童福祉法に定められた児童福祉施設としての児童館の役割 課題:「児童館」のイメージを考える
2	「放課後子どもプラン」と児童館・児童クラブ
3	児童館の個別援助活動について
4	個別援助活動と集団援助活動について
5	児童館の集団援助活動について
6	グループ遊びについて
7	児童館における安全管理
8	児童館における要保護児童の対応について
9	児童館における地域組織活動について
10	児童館における工作遊びについて
11	児童館における自然遊びについて
12	児童館における表現遊びについて
13	児童館における体力増進活動について
14	児童館におけるゲーム運動遊びについて
15	まとめ

科目区分	教養科目	科目	科目分類 教養				科目番号		LA109A2	
授業科目	キャリア教育						担当教員		井上 聖子	
履修年次	開講時期	単位数	B	寺間	授業形態	즉	卒業要件		动2種免	保育士
1・2年	通年	1		15	講義		選択		_	選択

近年の社会情勢や労働市場の動向について理解を深め、自分らしい生き方・働き方を考える。それらを基に職業観を形成し、自らの力で生き方を選択できるようキャリア形成を行う。また社会人として必要な基礎能力や態度を身に付けることも目的とする。

(授業の概要)

ワークシートを作成したり、グループワークを通して、自己や他者の理解を深め、対人関係のスキルも向上させる。園長 先生や卒業生等社会に出て働いている方の講演を聞くことにより、働くことの意義や職業観を形成していく。また社会人と してのマナーも身に付けていく。

(授業の到達目標)

- ・自己や他者の理解を深めることができる。
- 社会人として課題解決するカやコミュニケーション能力を身に付けることができる。
- 自分が自分として生きるためのキャリア形成ができる。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

発表(50%) レポート(50%) 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

予習:事前に配布した資料をもとに、その内容について調べてくること。(30分)

復習:授業内容をまとめ、自分自身のキャリア形成に役立てること。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は、添削のうえ返却する。

【使用テキスト】

配布資料をもとに授業を進めていきます。

【参考図書】

特になし

【学生へのメッセージ】

自己理解を深め、社会に出る前の知識や技能について学びます。

Image: Control of the	授 業 概 要
1	オリエンテーション キャリア教育とは何か
2	ワークシート作成 自己理解を深める
3	社会や保育で求められる資質とは(園長先生による講演)
4	社会や保育で求められる資質とは(卒業生にによる講演)
5	社会や保育で求められる資質とは(園長先生による講演)
6	社会人として求められるマナーとは(マナー講師による講演)
7	社会人として求められる資質(園長先生による講演)
8	自分らしく生きるためのキャリア形成

科目区分	教養科目	科目	科目分類 教養科目		教養科目		科目番号		LA	.110A2
授業科目	アカデミックスキルズ					担当教員 川		寸めぐみ		
履修年次	開講時期	単位数	В	寺間	授業形態	夺	△業要件	幺	加2種免	保育士
1年	通年	1		15	講義		選択		-	選択

・高等教育機関で学ぶための技法について、高校と大学の学び方の違いにつて理解し、主体的な学習者となるための基礎を習得する。

(授業の概要)

・高校と大学の違い/大学での学び方/短期大学卒業者に期待される資質・能力/保育者として身に付けて欲しい資質・能力について学び、2年間の学びの見通し、基本的な学び方を習得する。

(授業の到達目標)

- ・短期大学での学び方を理解し、主体的に学ぶ姿勢を理解した。
- ・短期大学卒業者に期待される資質・能力及び保育者として身に付けて欲しい資質・能力について理解出来た。
- 情報検索の方法や文献の要約について理解し、レポートの記述についての基本的スキルが身についた。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身に着けていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身に着けていること。	
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

- ・グループワークへの参加の評価
- ・プレゼンテーションの評価
- •提出物

【準備学習(予習・復習等)】

毎回の授業内容から提示する。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

・各時間の授業内で提示された課題シートは、確認後返却する。

【使用テキスト】

なし

【参考図書】

毎回資料を配布します。

【学生へのメッセージ】

回	授 業 概 要
1	アイスブレイク(自己紹介) 自分が通う大学について知る(建学の精神・教育目標~3つのポリシー等、本学について理解を深めます。)
2	自分の将来について考える(自己達目標・2年間の学びの計画を立てる。学修ポートフォリオについて)
3	大学生のスタディ・スキルズ(学びのデザイン)
4	情報収集・整理法
5	文章での表現法(要約する力)
6	大学図書館・学びの空間を活用する
7	レポートの書き方・資料の探し方
8	初年次の振り返り

科目区分	教養科目	科目:	科目分類 教養科目			科目番号		LA	.111A2
授業科目		Ц	山梨学			担当教員		清水健	
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	격	产業要件	幺	切2種免	保育士
2年	集中	1	15	講義	講義			_	選択

本学が所在する「山梨県」の保育に関する現代的な課題について分析、検討、考察を行うことを通して、問題の解決について学びを深め、今後の自身の保育スタイルを確立していく。

(授業の概要)

「山梨県の保育」をテーマに現代的な課題を考察する機会として、保育現場の施設長や保育者を招いて講演会を開催する。講演会を通して、実際の保育現場の姿や保育現場に求められる保育者像について学びを深める。また、卒業後に保育者としてより広い視野を持って保育現場に従事することができるよう、山梨県の様々な自然や文化、社会資源等、教育資源となりうる環境について幅広く学び、理解を深める。

(授業の到達目標)

- ・実際の保育現場の姿や保育現場に求められる保育者像について学びを深める。
- ・山梨県の様々な自然や文化、社会資源等、教育資源となりうる環境について理解を深める。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身に着けていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身に着けていること。	
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	

【評価方法】

- ・レポート課題等提出物 50%
- ・プレゼンテーションの評価 50%

【準備学習(予習・復習等)】

毎回の授業内容から提示する。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

・各時間の授業内で提出された課題を確認後、返却する。

【使用テキスト】

なし

【参考図書】

毎回資料を配布します。

【学生へのメッセージ】

回	授 業 概 要
1	山梨県の自然、文化、社会資源等、教育資源となりうる環境①
2	山梨県の自然、文化、社会資源等、教育資源となりうる環境②
3	山梨県の自然、文化、社会資源等、教育資源となりうる環境③
4	山梨県の自然、文化、社会資源等、教育資源となりうる環境④
5	山梨県の自然、文化、社会資源等、教育資源となりうる環境⑤
6	山梨県の自然、文化、社会資源等、教育資源となりうる環境⑥
7	山梨県の自然、文化、社会資源等、教育資源となりうる環境⑦
8	山梨県の自然、文化、社会資源等、教育資源となりうる環境®

	科目区分	教養科目	科	科目分類 教養科目		科目番号		LA112A2			
	授業科目		日本語表現				担当教員		小林 柚実子		
	履修年次	開講時期	単位数	E	時間	授業形態	주	業要件		加2種免	保育士
ĺ	1年	前期	2		30	講義		選択		_	選択

日本語の特性、美しさについて知り、その表現方法について正しい知識、技術を習得する。また、日本語を通じたコミュニケーションを円滑にすすめるためのマナーや配慮について学ぶと同時に、必要な情報を探し、それをもとに考え、自分の力で表現する力を養う。

(授業の概要)

さまざまな文学、また各種メディアが発信する文字情報等を教材とし、それらを通じて日本語の特性について学び、ともに考える授業を行う。それとともに、言葉によるコミュニケーションを通じて培われる人間関係を、より円滑にしていけるよう言語的スキルやマナーを向上させるべく練習する。

(授業の到達目標)

日本語のもつ美しさ、表現の豊かさ、複雑な表現技巧といった特性に気づき、理解する。その上で、さまざまなメディアを駆使して主体的に学ぶ姿勢、および日本語の技術(敬語・文章の書き方等)を磨き、情報を多角的かつ正確にとらえ、考え、自ら発信できることをめざす。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身に着けていること。	
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	

【評価方法】

筆記試験80% 提出物等20% 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

シラバスに沿いながら、次週行う授業内容を提示し、課題を示す。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は可能な限り添削等を行い、返却する。筆記試験については模範解答を明示する。

【使用テキスト】

毎回資料、課題等を配布する。

【参考図書】

「保育学生のための基礎学力演習」 馬見塚昭久・大浦賢治 編著 中央法規

【学生へのメッセージ】

国際学力調査等の結果から、日本の中高生の読解力が低下してきていることが指摘されています。それと反比例するかたちで、国語嫌いの生徒の数は年々増加してきています。しかし、私たちは言葉で考え、主に言葉を通じたコミュニケーションを通じて、アイデンティティを確立し、また人間関係を築いています。したがって、その言葉を使う力、理解する力は生きていく上でとても大切な力の一つです。この授業では、皆さんに言葉で紡がれた文学の世界、言葉で発信される現代メディアの世界等、さまざまな言葉の世界について"楽しみながら"気づき、"感動しながら"主体的に学んでいけるようなゴールを目指したいと思います。

回	授 業 概 要
1	日本語、日本語表現の特性について考える ※簡単なグループワークを行う。
2	日本文学にみられる「美しい日本語表現」 ※名作に綴られた文章の中から優れた表現として評価されているものを提示する。
3	各自が見つけた「美しい日本語表現」発表会 ※左記テーマを課題とし、発表する。
4	「手紙」にみる日本語表現の文化 ※縦書き文化について学び、日本独特の手紙のマナーを確認し、練習する。
5	歌詞にみられる「感動する日本語表現」 ※古来より和歌を通じて心の内を表現してきた日本人の、現代的表現世界を共有し、話し合う。
6	各自が見つけた「感動する日本語表現」発表会 ※左記テーマを課題とし、皆で共有して話し合う。
7	巷でみられる「面白い日本語」と、日本語の伝統的な「言葉遊び」
8	「敬語」で築く人間関係 I ※ワークシートにて練習、確認する。
9	「敬語」で築く人間関係 II ※実際に会話することを通じて敬語を確認する。
10	「メディアの言葉」「メディアが発信する日本語の特性」
11	時事問題をテーマとした討論会 I ※グループワークにより、各種メディアを駆使した調べ学習の成果をもとにした討論会
12	時事問題をテーマとした討論会 Ⅱ ※グループワークにより、各種メディアを駆使した調べ学習の成果をもとにした討論会
13	文章の書き方 I ※ワークシートにて練習、確認する。
14	文章の書き方Ⅱ ※ワークシートにて練習、確認する。
15	まとめ

科目区分	教養科目		教養科目		科目分類 教養科目		科目番号		LA113A2	
授業科目		基礎音楽					担当教員		田川智美	
履修年次	開講時期	単位	数	時間	授業形態	주	業要件		加2種免	保育士
1年	前期	2		30	講義		選択		-	選択

保育における表現活動をするために、音楽の基礎知識を習得すると共に、歌う、聴く、動く、演奏する活動を通して学生自らが音楽の楽しさを感じ、指導するための技能を身に付ける。

(授業の概要)

保育内容を理解し展開するために、音楽に関する基本的な知識を習得し技能を身に付け、保育の中で取り扱う教材やそれらを展開するために必要な知識や技能を身に付ける。

(授業の到達目標)

・幼児曲をたくさん知る。 ・基礎知識をもとに、幼児曲の伴奏付けなどが出来るようになる。 ・音楽表現活動を通して音楽の楽しさや喜びを知る。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

授業への取り組み 40% 定期試験 60% 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

予習:予めテキストを読んでおく。(30分)

復習:復習によってしっかりと知識を定着させる。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は、添削のうえ返却する。

【使用テキスト】

「楽譜の読み方」 小林一夫 著 日東書院 「こどものうたベストテン」ドレミ楽譜

【参考図書】

「リトミックで遊ぼう」全音楽譜 「子どものリトミック」 アドグリーン 保育実技選書

【学生へのメッセージ】

音楽の基礎から学習します。基礎力をつけて音楽の楽しさを学び保育に役立つ実践力を身に付けましょう。

回	授 業 概 要
1	オリエンテーション
2	保育者として必要な音楽知識・・・① 音の高さを表す・発声法と歌唱法 子どもの歌
3	保育者として必要な音楽知識・・・② 音の長さをあらわす・発声法と歌唱法 子どもの歌
4	保育者として必要な音楽知識・・・③ リズムを表す・発声法と歌唱法 子どもの歌
5	保育者として必要な音楽知識・・・④ 演奏の順序を表す・発声法と歌唱法 子どもの歌
6	保育者として必要な音楽知識・・・⑤ 音のつながりを表す・発声法と歌唱法 子どもの歌
7	保育者として必要な音楽知識・・・⑥ 音のつながりを表す・発声法と歌唱法 子どもの歌
8	保育者として必要な音楽知識・・・⑦ 音の幅を表す・発声法と歌唱法 子どもの歌
9	保育者として必要な音楽知識・・・⑧ 音の調和を表す・発声法と歌唱法 子どもの歌
10	保育者として必要な音楽知識・・・⑨ コードネームについて・発声法と歌唱法 子どもの歌
11	保育者として必要な音楽知識・・・⑩ 幼児曲の伴奏部分のアナリーゼ・発声法と歌唱法 子どもの歌
12	保育者として必要な音楽知識・・・⑪ 幼児曲の伴奏部分の編曲・発声法と歌唱法 子どもの歌
13	保育者として必要な音楽知識・・・⑪ 幼児曲を用いての実践演習
14	保育者として必要な音楽知識・・・③ 幼児曲を用いての実践演習
15	まとめ

科目区分	専門教育科	4目 科目	科目分類 専門科目(基礎		門科目(基礎)		科目番号		ВС)201A2
授業科目		保育	保育原理 I				担当教員		清水 健	
履修年次	開講時期	単位数	時	間	授業形態	즉	卒業要件		力2種免	保育士
1年	前期	2	(30	講義		選択		星択必修	必修

幼児の保育・教育の本質について理解し、幼児の保育・教育の場に関する歴史と類型について学ぶことを通して、保育所・幼稚園における保育・教育の原理と内容について理解する。さらに、発達過程区分における幼児の保育・教育内容の理解を通じて、幼児の保育・教育計画作成上の基本的視点や留意点について学ぶ。また、幼稚園・保育所での健康・安全上の留意事項及び多様な幼児の保育・教育ニーズへの対応について理解する。

(授業の概要)

幼児の保育・教育に関する基礎的事項についての理解を深め、幼児の保育・教育の意義について明確な認識を持つ中で幼児に対する保育・教育に関する総論を学ぶ。

(授業の到達目標)

- ・幼児の保育・教育の本質について、理解する。
- ・幼稚園、保育所での幼児の保育教育的ニーズを理解する。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定·学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

授業レポート30% 定期試験60% 討論・プレゼンテーション10% 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

事前:予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする。(30分)

事後:ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は、添削のうえ返却しフィードバックを行う。試験は、解答を公表する。

【使用テキスト】

「保育原理」小田豊他編著 光生館

【参考図書】

「PriPriブックス 新保育所保育指針サポートブック ~保育家庭から指導計画作成まで~」 保育総合研究会監修 世界文化社

【学生へのメッセージ】

幼稚園や保育所・施設それぞれの幼児の保育・教育の基礎、原理について学ぶため、毎回の授業終了後、学び得たことをまとめたレポートを提出してもらう予定である。

回	授 業 概 要
1	オリエンテーション
2	幼児の保育・教育とは何か(本質と原理)
3	幼児の保育・教育制度の歴史と世界の動向
4	幼児の保育・教育の場とその役割ー幼稚園の実際ー
5	幼児の保育・教育の場とその役割ー保育所の実際ー
6	幼児の保育・教育の場とその役割ー保育所以外の児童福祉施設の実際ー
7	乳幼児の発達特性の理解(1)乳児期
8	乳幼児の発達特性の理解(2)幼児期
9	発達段階と発達課題(1)乳児期
10	発達段階と発達課題(2)幼児期
11	幼児の保育・教育計画の立案・展開・評価の実際(1)ー計画作成上の留意点ー
12	幼児の保育・教育計画の立案・展開・評価の実際(2)ー発達過程区分ごとの内容と計画(1)ー乳児期
13	幼児の保育・教育計画の立案・展開・評価の実際(3) - 発達過程区分ごとの内容と計画(2) - 幼児期
14	幼児の保育・教育計画の立案・展開・評価の実際(4) - 発達過程区分ごとの内容と計画(3) - 幼児期
15	まとめ

科目区分	専門教育科	科目	科目分類 専門科目(基礎)			科目番	号	BO202A1		
授業科目		教育学概論				担当教員		福田 光弘		
履修年次	開講時期	単位数	時	計間	授業形態	즉	卒業要件		加2種免	保育士
1年	後期	2	;	30	講義		必修		必修	必修

現代の学校教育に関する社会的な状況を考察し、今後の教育政策の動向について理解する。特に、地域における学校のあり方を重視し、学校と地域の連携や協働の仕方について、取り組み事例を踏まえて理解する。また、学校における危機管理について、現代の社会状況の中で何が求められているのかを考察する。

(授業の概要)

教育、特に幼児教育分野についての変遷や、それを下支えした思想上の変遷を概観し、現代における子ども観がどのように成立したかを理解する。現状における教育観・子ども観においてどのような地域を含む学校外の人々との関係が可能であるのかを、事例を通して考察する。また、事件・事故・災害・感染症など、様々な学校をめぐるリスクについて理解する。

(授業の到達目標)

- ・教育の基本的概念・理念について、教育の歴史や思想を通して学び、教育及び学校の捉え方の変遷について理解 する。
- ・現代の学校教育に関する社会的な状況を考察し、今後の教育政策の動向などについて理解する。
- ・地域における学校のあり方を重視し、学校と地域の連携や協働の仕方について理解する。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定·学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	

【評価方法】

定期試験(80%)、学習マナー(20%) 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

事前:テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う。(30分) 事後:配布プリントなどにより、授業内容について確認する。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

定期試験について、試験後解説を行う。

【使用テキスト】

福元真由美編『はじめての子ども教育原理』(有斐閣)

【参考図書】

授業内で適宜示す。

【学生へのメッセージ】

授業時には必ず、教科書と既に配布したプリントを持参すること。

	授 業 概 要
1	「教育」の意味について
2	子ども教育の系譜
3	子ども教育の制度とその改革 I (公教育ならびに幼児教育の成立)
4	子ども教育の制度とその改革 Ⅱ (教育方法の成立と改革)
5	子どもという存在 I (子ども観の変遷)
6	子どもという存在 Ⅱ (子どもの権利)
7	子ども教育をめぐる思想 I (教育思想の変遷)
8	子ども教育をめぐる思想Ⅱ(教育思想の変遷)
9	子ども教育をめぐる思想Ⅲ(教育と社会)
10	子ども教育をめぐる思想IV(教育と社会)
11	経済格差と教育Ⅰ
12	経済格差と教育 Ⅱ
13	教育活動を支える組織と運営 Ⅱ (学校と地域との連携・学校安全への対応)
14	気になる子の理解と対応
15	諸外国における子ども観と教育

科目区分	専門教育科	分類	専門科目(基礎)			科目番号	크	NT203A2		
授業科目		子ども家庭福祉					担当教員		福日	田 光弘
履修年次	開講時期	単位数	時間	授	受業形態	쟉	卒業要件		力2種免	保育士
1年	前期	2	30		講義		選択		-	必修

現代の子どもが置かれている状況を理解する。子ども家庭福祉についての考え方の歴史を理解する。また、子ども家庭福祉の制度と現状について理解する。

(授業の概要)

少子化、核家族化が進行した現代社会において児童の養育はどのように行われているのか、その現状について理解を深めるとともに、社会福祉の視点からどのような支援が可能か考える。子ども家庭福祉の実施体制や法体系についても理解を深める。

(授業の到達目標)

- ①現代の子どもが置かれている状況を理解する。
- ②子ども福祉の制度と実施体制について理解する。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定·学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

定期試験80% 学習マナー20% 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

事前:テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う。(30分) 事後:配布プリントなどにより、授業内容について確認する。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

定期試験について、試験後解説を行う。

【使用テキスト】

澁谷昌史・加藤洋子編著『子ども家庭福祉』 2019 光生館

【参考図書】

授業内で紹介する。

【学生へのメッセージ】

子どもの育成に責任のある保育者として必要な考え方と、子ども福祉の制度についてよく学んでください。

回	授 業 概 要
1	ガイダンス、子ども家庭福祉とは何か
2	子ども家庭福祉の歴史的変遷と、現代社会における子ども家庭福祉
3	子ども家庭福祉と保育
4	子ども家庭福祉の法体系
5	子ども家庭福祉の実施機関
6	少子化と子育て支援サービス
7	母子保健の実施機関
8	子どもの健全育成と課題
9	多様な保育ニーズへの対応 I (保育所待機児童問題)
10	多様な保育ニーズへの対応 Ⅱ (潜在保育士問題)
11	子ども虐待の防止とDVへの対応
12	社会的養護体系
13	貧困とセーフティーネット
14	ひとり親家庭・外国籍の家庭への支援
15	まとめと展望

科目区分	専門教育科目科		分類 専門科目(基礎)			科目番号		BO204A2	
授業科目		社会福祉					THE STATE OF THE S	福日	田 光弘
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	즉	卒業要件		力2種免	保育士
1年	後期	2	30	講義		選択		星択必修	必修

社会福祉は、私たちの生活を支える私たちの権利です。この権利に基づき「人々が助け合い、連帯しながら、幸せな生活を求め維持する」ことが、社会福祉の目的です。よって、社会福祉とは「共に生きる人々と豊かに生きる」ことを理解し、そのためにどのような制度があり、社会福祉の下で、人々はどのようにしかつしているのかについて知見を深めることを求めます。

(授業の概要)

社会福祉は何のためにあるのか。その基本的な考え方を自分の生き方との関連で理解する。その上で現代社会における社会福祉の現状について考察する。社会福祉の法体系と社会福祉の仕事についても理解を深める。

(授業の到達目標)

- ・社会福祉は何のために、どのように生まれたのかを理解する。
- ・障がい者、高齢者、生活困窮者など各分野の福祉制度を大まかに理解する。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	

【評価方法】

定期試験80% 学習マナー20% 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

事前:テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う。(30分) 事後:配布プリントなどにより、授業内容について確認する。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

定期試験について、試験後解説を行う。

【使用テキスト】

『はじめて学ぶ社会福祉』 松本峰雄・小野澤昇 編著 建帛社

【参考図書】

授業内で適宜紹介する。

【学生へのメッセージ】

授業時には必ず、教科書と既に配布したプリントを持参すること。

回	授 業 概 要 と 準 備 学 習 (予習・復習等)
1	ガイダンス 講義内容、評価方法
2	生活と社会福祉
3	社会福祉の理念と歴史 I (日本)
4	社会福祉の理念と歴史 II (欧米)
5	社会保障と社会福祉制度
6	社会福祉の行財政と実施機関
7	社会福祉の施設と専門職
8	子どもと女性の福祉
9	障害者の福祉
10	高齢者の福祉
11	貧困と福祉
12	社会福祉における相談援助
13	社会福祉における利用者の保護
14	社会福祉の動向と課題
15	まとめ

科目区分	専門教育科	専門教育科目 科目分類 専門科目(基礎)		科目番号		NT	`205A2		
授業科目	子ども家庭支援論					担当教員		吉田	百加利
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	즉	業要件		加2種免	保育士
2年	前期	2	30	講義		選択		_	必修

- 1. 家庭・家族の意義やその機能、家庭・家族を取り巻く社会的状況について理解させる。
- 2. 子育て家庭への支援体制や関係機関との連携について理解させる。

(授業の概要)

家庭・家族の現代社会における意義や機能を理解し、家庭や家族も含めて現代の保育は成立しているということについて、十分な知識をつける。その中で、保育士としてどのような家庭・家族への支援が行えるかを模索していく。

(授業の到達目標)

- ・保育の対象は児童だけではなく家庭・家族も含まれることを理解する。
- ・家庭・家族が現代世界においてどのような状況に置かれているかを理解する。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定·学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

定期試験60% 学習マナー40% 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

事前:テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う。(30分) 事後:配布プリントなどにより、授業内容について確認する。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

定期試験について、試験後解説を行う。

【使用テキスト】

子ども家庭支援論 橋本祐子・西本 望 光生館

【参考図書】

授業内で適宜紹介する

【学生へのメッセージ】

意欲的な態度での受講を期待します。

回	授 業 概 要
1	オリエンテーション(講義内容、評価方法の説明)
2	家族支援の必要性
3	保育士等が行う家庭支援の原理
4	現代の家庭と地域社会における人間関係
5	男女共同参画とワーク・ライフ・バランス
6	少子化対策施策·次世代育成支援施策
7	子育て家庭の支援体制 I
8	子育て家庭の支援体制Ⅱ
9	家庭支援の展開の多様性と関係機関との連携 I
10	家庭支援の展開の多様性と関係機関との連携 Ⅱ
11	要保護児童およびその家庭に対する支援 I
12	要保護児童およびその家庭に対する支援Ⅱ
13	子ども家庭支援の課題と展望 I
14	子ども家庭支援の課題と展望 II
15	まとめ

7	科目区分	専門教育科	専門教育科目 科目分類 専門科目(基礎)		科目番号		NT206A2				
ŧ	受業科目		社会的養護Ⅰ					担当教員		福日	田 光弘
Ā	覆修年次	開講時期	単位数		時間	授業形態	쟉	产業要件	業要件		保育士
	1年	後期	2		30	講義		選択		_	必修

保育者として社会的養護に対して貢献できることは何かを理解し、子育て支援の一環としての社会的養護という視点を 涵養し、保育士としての見識を深めることを目的とする。

(授業の概要)

社会的養護が必要となる養護問題の現状を理解するとともに、社会的養護の意義と歴史的変遷、制度体系について学ぶ。また、社会的養護における児童の人権擁護や自立支援について理解すると同時に、今後の社会的養護の展開についても検討していく。

(授業の到達目標)

- ・社会的養護が必要となる養護問題の現状や背景を理解する。
- ・社会的養護の援助体制や、そこでの児童観について考察する。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

定期試験80% 学習マナー20% 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

事前:テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う。(30分) 事後:配布プリントなどにより、授業内容について確認する。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

定期試験について、試験後解説を行う。

【使用テキスト】

『社会的養護 I·Ⅱ』 谷口純世·加藤洋子·志濃原阿美 編著 光生館

【参考図書】

授業内で適宜紹介する

【学生へのメッセージ】

授業時には必ず、教科書と既に配布したプリントを持参すること。

回	授 業 概 要
1	オリエンテーション(授業体制や評価、全体的な枠組み)
2	社会的養護の理念と概念
3	社会的養護の歴史的変遷
4	子どもの権利擁護
5	社会的養護の基本的原則
6	保育士問等の倫理・責務
7	社会的養護にかかわる制度と法体系 I (子ども虐待防止・子どもの貧困対策・ひとり親への支援)
8	社会的養護にかかわる制度と法体系 II (DV対策・障害児や気になる子どもへの支援)
9	社会的養護のしくみと実施体系
10	社会的養護の対象
11	家庭養護と施設養護 I (施設養護の現状)
12	家庭養護と施設養護 II (家庭養護の課題)
13	社会的養護にかかわる専門職
14	社会的養護の現状と課題
15	まとめ

科目区分	専門教育科	専門教育科目 科目分類 専門科目(基礎)		科目番号		BO207A1			
授業科目	保育者論				担当教員		員 川村と		対めぐみ
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	즉	工業要件 幼		力2種免	保育士
1年	前期	2	30	講義	講義			必修	必修

・保育者の役割が多様化する中で、保育者を目指すために必要な基礎的知識を学び、卒業時の保育者としての姿をイメージしながら、自己課題を意識し保育者としての資質・能力を高める事を目的とする。

(授業の概要)

・保育者の役割や制度的位置づけなど、基礎的な知識を理解する。事例研究や、グループデスカッションを通して学びを深める。

各回の授業概要は()に示す。

(授業の到達目標)

- (1)保育者の役割、制度的位置づけを理解した上で、求められる資質・能力について理解する。
- (2)保育者の役割の拡大・多様化への理解と園内及び園外の専門機関との連携や協働について理解する。
- (3)保育者の職能成長とキャリア形成について理解する。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身に着けていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身に着けていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

小テスト・課題シート・(50%) 試験(50%)の総合評価

【準備学習(予習・復習等)】

毎回の授業内容から提示する。確認は小テスト等で行う。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

- ・小テストは採点し、解説を行う。
- ・各時間の授業内で提示された課題シートは、確認後返却する。

【使用テキスト】

「保育者論」 公益財団法人 児童育成会 監修 中央法規出版

【参考図書】

「保育所保育指針解説」フレーベル館、「幼稚園教育要領解説」フレーベル館、「幼保連携型認定こども園教育・保育要 領解説」フレーベル館

【学生へのメッセージ】

- ・授業では適時、小テストを行います。
- ・準備学習として提示された課題に取り組み、授業後には復習を行うこと。
- ディスカッションやグループワークなど、積極的な態度で受講してください。

	授 業 概 要
1	事前学習:シラバスを熟読し、授業の目的、到達目標について理解する。 学習内容:保育者の役割(保育士および幼稚園教諭の役割について学ぶ。) 事後学習:授業内容から提示する。(次回提出)
2	事前学習:教科書 第2講の概要整理 学習内容:保育者の倫理(保育者に必要な専門的倫理の内容を学ぶ。) 事後学習:授業内容から提示する。(次回提出)
3	事前学習:教科書 第3講の概要整理 学習内容:保育者の資格と責務(保育という仕事の法的・制度的位置づけを学ぶ。) 事後指導:授業内容から提示する。(次回提出)
4	事前学習:教科書 第4講の概要整理 学習内容:養護と教育(「養護」と「教育」の具体的な内容の理解と保育の実践事例について学ぶ。) 事後指導:授業内容から提示する。(次回提出)
5	事前学習:教科書 第5講の概要整理 学習内容:保育者の資質と能力(保育者の資質や能力とは何か、保育の対象や協働性に求められる要素について 学ぶ。) 事後指導:授業内容から提示する。(次回提出)
6	事前学習:教科書 第6講の概要整理 学習「内容:専門的な知識・技術・判断(保育者としての専門性と倫理に基づく適切な判断について学ぶ。) 事後指導:授業内容から提示する。(次回提出)
7	事前学習:教科書 第7講の概要整理 学習内容:保育の省察(「省察」の重要性を理解し、職能向上力に必要な資質にいて学び。) 事後指導:授業内容から提示する。(次回提出)
8	事前学習:教科書 第8講の概要整理 学習内容:保育の全体的な計画にかかわる保育者の専門性(保育の全体的な計画の基礎を学ぶ。) 事後指導:授業内容から提示する。(次回提出)
9	事前学習:教科書 第9講の概要整理 学習内容:保育者の専門性と自己評価(保育評価の種類や観点の基礎について学ぶ。) 事後指導:授業内容から提示する。(次回提出)
10	事前学習:教科書 第10講の概要整理 学習内容:園での恊働(職員の協働性や協力体制、職員間の連携の重要性につい理解する。) 事後指導:授業内容から提示する。(次回提出)
11	事前学習:教科書 第11講の概要整理 学習内容:専門機関との連携(保育現場における専門機関との連携や協働について学ぶ。) 事後指導:授業内容から提示する。(次回提出)
12	事前学習:教科書 第12講の概要整理 学習内容:保護者および地域との協働(地域に開かれた保育支援の具体例について学ぶ。) 事後指導:授業内容から提示する。(次回提出)
13	事前学習:教科書 第13講の概要整理 学習内容:家庭的保育者等との連携(子育て世代のニーズと保育制度について学ぶ。) 事後指導:授業内容から提示する。(次回提出)
14	事前学習:教科書 第14講の概要整理 学習内容:保育者の専門性の発達(保育者としての成長発達段階と「同僚性」の構築について学ぶ。) 事後指導:授業内容から提示する。(次回提出)
15	事前学習:教科書 第15講の概要整理 学習内容:保育者のキャリア形成 (保育士の就業状況や様々なライフコースとキャリアについて考える。 事後指導:授業内容から提示する。(指定期日までに提出)

科目区分	専門教育科目		科目分類 専門科目(基礎)		科目番号		BO208A1				
授業科目		発達心理学 I						担当教	Ę	清/	k 一毅
履修年次	開講時期	単位	.数	時間	1	授業形態	卒	業要件	美要件 约		保育士
1年	前期	2		30		講義		必修		必修	必修

生涯発達の視点から、乳幼児期を中心にして発達過程の知識を身に付け、保育園や幼稚園などの現場で使える気を知識を培う。

(授業の概要)

保育士や幼稚園教諭に関連の深い乳幼児期に焦点を当てた発達心理学のテキストを使用し、生物的存在でありかつ社会的存在である人間の発達について、生涯発達の視点から包括的に考える。特に乳幼児期の発達については身体的・心理的・社会性・言語の発達及び学習の過程について詳細に学ぶ。また、基礎的な課題として「人としての発達」「家族生活の中で育つ」「近隣社会への広がりの中で育つ」「学校生活の中での学び」「青年期を生きる」「熟年・老年期を生きる」といった心身の発達及び学習の過程についてのキーワードを学び、その支援の在り方について考える。

(授業の到達目標)

- ・発達の概念を理解し、説明できること。
- ・子どもの発達について各期の特徴を理解すること。
- ・知性、性格、感情、社会性など心の機能の発達を理解すること。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身に着けていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身に着けていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

定期試験(80%) レポート提出(20%) 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

予習:テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う。(30分) 復習:配布プリントなどにより、授業内容について確認する。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は、添削のうえ返却する。試験は、解答を公表し、解説する。

【使用テキスト】

「保育の心理学」編集:杉村伸一郎・白川佳子・清水益治 中央法規刊

【参考図書】

「よくわかる臨床発達心理学(やわらかアカデミズム・わかるシリーズ)」 麻生武・浜田寿美男(編)ミネルヴァ書房

【学生へのメッセージ】

人間の発達に関する心理学的知識は、保育士や幼稚園教諭の仕事に必要不可欠です!

回	授 業 概 要
1	子どもの発達の理解とその意義
2	保育実践の評価と心理学
3	発達観、子ども観と保育観
4	子どもの発達と環境
5	感情の発達と自我
6	身体的機能と運動機能の発達
7	知覚と認知の発達
8	基本的信頼感の獲得
9	幼児及び児童の学習の過程(特に言葉の発達と社会性)
10	他者とのかかわり(集団のつくり方 I)
11	社会的相互作用(集団のつくり方Ⅱ)
12	生涯発達と発達援助(主体的学習への動機付け、学習評価)
13	胎児期および新生児期の発達
14	乳幼児期の発達と学習の過程
15	学童期以降の学習の過程

科目区分	専門科目	科目:	分類	専門科目(基礎)		科目番-	科目番号		`209A2		
授業科目		子ども家庭	支援の心理	里学		担当教	担当教員		担当教員 清洁		水 一毅
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	격	产業要件	幺	动2種免	保育士		
2年	前期	2	30	講義		選択		-	必修		

生涯発達に関する基礎的な知識を習得することを通して、親子関係や家族関係等について発達的な観点から理解し、 子どもとその家族を包括的に捉える視点を習得する。

子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題、子どもの精神保健とその課題について理解する。

(授業の概要)

生涯発達を捉えることにより、子どもを取り巻く周囲環境との関係性を理解し、子どもとその家族を包括的に捉えていく。また、子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題、子どもの精神保健とその課題について学習していく。

(授業の到達目標)

- 生涯発達に関する基礎的な知識を習得することができる。
- ・親子関係や家族関係等について発達的な観点から理解し、子どもとその家族を包括的に捉える事ができる。
- ・子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題、子どもの精神保健とその課題について理解する事ができる。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定·学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身に着けていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身に着けていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

定期試験(60%) 課題提出(40%) 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

予習:テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う。(30分) 復習:配布プリントなどにより、授業内容について確認する。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は、添削のうえ返却する。試験は解答を公表し、解説する。

【使用テキスト】

「子ども家庭支援の心理学」 白川佳子・福丸由佳 編集 中央法規出版

【参考図書】

「保護者のための子育て支援ガイドブック 専門性を活かした保護者へのサポート」 竹田信子著 中央法規出版

【学生へのメッセージ】

授業中は受動的に話を聞くだけでなく、能動的に自分の中で考えながら受講して下さい。

回	授 業 概 要
1	オリエンテーション
2	乳幼児期から学童期にかけての発達
3	学童期後期から青年期にかけての発達
4	成人期・老年期における発達
5	家族・家庭の意義と機能
6	親子関係・家族関係の理解
7	子育ての経験と親としての育ち
8	子育てを取り巻く社会的状況
9	ライフコースと仕事、子育て
10	多様な家庭とその理解
11	特別な配慮をする家庭
12	子どもの生活・生育環境とその影響
13	子どもの心の健康に関わる問題
14	子ども家庭支援のための社会構造と子どもの理解
15	まとめ

科目区分	専門教育科	月日 科目:	分類	專門科目(基礎) 科目番·		号	ВС	0210B1			
授業科目		子どもの	理解と援助	ħ		担当教	担当教員		担当教員		水 一毅
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	즉	产業要件	幺	加2種免	保育士		
1年	後期	1	30	演習		必修		必修	必修		

一般の保育・教育と障害児保育・教育との連続性から、様々な障害についての理解を促し、一人一人発達上の課題に対して特別な保育ニーズと支援を学び、保護者を中心とした支援の内容に関して理解を深める。

(授業の概要)

幼児理解の理論、考え方及び基礎的態度について理解し、幼児理解の方法について具体的に理解する。

(授業の到達目標)

・幼稚園や保育所における幼児の生活や遊びの実態に即して、幼児の発達や学びとその過程において生じるつまずき、その要因を把握するための原理や対応の方法を考えることができることを目標とする。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身に着けていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身に着けていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

定期試験(60%) 課題提出(40%) 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

予習:テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う。(30分) 復習:配布プリントなどにより、授業内容について確認する。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は、添削のうえ返却する。試験は、解答を公表し、解説する。

【使用テキスト】

「幼稚園教育要領解説 平成30年3月」フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 平成30年3月」フレーベル館

【参考図書】

授業中に適宜配布する。

【学生へのメッセージ】

授業中は受動的に話を聞くだけでなく、能動的に自分の中で考えながら受講して下さい。

	授 業 概 要								
1	幼児理解の意義について								
2	切児理解から発達や学びを連続的に捉える原理について								
3	幼児理解を深めるための教師の基礎的態度について								
4	前回の理解を踏まえて、具体的な事例を基に幼児とのかかわり方を考える。								
5	観察と記録の意義や目的について								
6	目的に応じた観察法などの基礎について								
7	実際の映像資料を見ながら、幼児の様子を観察し記録を取る経験を通して、その意義を学ぶ。								
8	個と集団の関係を捉える意義や方法について								
9	幼児のつまずきを周りの園児との関係やそのほかの背景から理解する。-事例討論-								
10	幼児のつまずきを多面的な方向から考える。								
11	幼児の発達の指標を理解するための発達検査について(発達質問紙)								
12	保護者の心情理解について一事例検討一								
13	保護者へのかかわり方における基礎的な対応方法について								
14	保護者同士のつながりへのきっかけ作りなど幼稚園や保育所でできる子育て支援の具体的な方法について								
15	幼児の発達を促す態度や声掛けなど教師の役割について話し合い発表する。								

科目区分	専門教育科	教育科目 科目分類 専門科目(基礎)		科目番号		NT	'211A2		
授業科目		子どもの保健 担当教員		担当教員		コ 千絵			
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	4	产業要件	業要件 4		保育士
1年	前期	2	30	講義		選択		_	必修

子どもの保健の意義と目的、重要性を理解する。子どもの心身の発育・発達について、個人生活と集団生活の両面から の理解を深め、今日的な健康問題への対応を認識し、これらを子どもの発育・発達を促す教育実践・保育実践に活かそ うとする態度を身に着ける。

(授業の概要)

子どもの生命の保持、健康の増進を図ることの意味を認識させ、教育実践・保育実践における保健活動の重要性につ いての認識を深められる内容とする。総論的な視点から、子どもの発育・発達について解説し、疾病や事故を予防する 環境整備とともに、疾病や事故が見られた場合の対応について解説する。(本講義は、看護師の実務家活動を基に行わ れる。)

(授業の到達目標)

- 1. 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。
- 2. 子どもの身体の発育・発達と保健について理解する。
- 3. 子どもの心身の健康状態とその把握の方法について理解する。 4. 子どもの疾病とその予防法及び多職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解する。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身に着けていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身に着けていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

定期試験(80%) 学習マナー(20%) 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

事前:テキストを利用した予習を行い、授業中に質問や発言ができるようにすること。(30分)

事後:配布資料を利用した復習を行い、知識を確実にすること。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題に対して、授業内で解説を行う。

【使用テキスト】

松田博雄、金森三枝編集 『子どもの保健』(中央法規)

【参考図書】

鈴木美枝子編著 『子どもの保健 I 』 (創成社)

【学生へのメッセージ】

この授業は子どもの安全と健康を守るための大切な科目です。欠かさず学び、有能な保育者、教育者を目指してくだ さい。

回	授 業 概 要
1	オリエンテーション(講義計画) 子どもの健康と保健活動の意義と目的
2	健康の概念と健康指標 現代社会における子どもの健康に関する現状と課題
3	地域における保健活動と子ども虐待防止
4	身体発育および運動機能の発達と保健
5	生理機能の発達と保健
6	健康状態の観察
7	発育・発達の把握と健康診断
8	保護者との情報共有
9	主な疾病の特徴① 新生児の病気、先天性の病気
10	主な疾病の特徴② 循環器、呼吸器、血液、消火器の病気
11	主な疾病の特徴③ アレルギー、免疫の病気、腎泌尿器、内分泌の病気
12	主な疾病の特徴④ 脳の病気、その他の疾患
13	主な疾病の特徴⑤ 感染症
14	子どもの疾病の予防と適切な対応
15	まとめ

科目区分	専門教育科	専門教育科目 科目分類 専門科目(基礎)		科目番	号	NT	`212B2				
授業科目		子ども	の食と栄養			担当教	担当教員		担当教員		けめぐみ
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	즉	業要件		力2種免	保育士		
2年	前期	2	30	演習		選択		_	必修		

子どもの食事と栄養について理解を深め、一人一人の心身の状態や発達過程を踏まえた食育実践を行う能力を身につ

栄養と食事に関する基本的理解に基づき子どもや家庭への栄養指導や専門機関との連携について理解する。

(授業の概要)

子どもの健康と食生活の意義を中心に、栄養に関する基礎知識、子どもの発育・発達と食生活の関係、食育の重要性 とその内容、家庭や児童福祉施設における食事と栄養、特別な配慮を要する子どもの食と栄養に関する基礎的知識の 習得と実践について学ぶ。

(授業の到達目標)

- ・食生活の意義や栄養に関する基本的知識について説明できる。 ・子ども発育・発達と食生活の関連について関係づけて理解することが出来る。
- ・食育の重要性を踏まえ、保育における指導計画の立案および教材の作成が出来る。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

試験 50%, 学習への積極的な参加(事前事後の演習課題への取り組み)等 50% 総合的に評価する。

【準備学習(予習・復習)】

事前学習:指定された教科書の項目および提示内容について、概要整理を行い授業時に持参する。(30分) 事後学習:授業内容から提示する。提出期限のあるものは期限内に提出。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は、添削のうえ返却する。

【使用テキスト】

「子どもの食と栄養」公益財団法人児童育成会監修 堤ちはる 藤沢由美子 編集 中央法規出版

【参考図書】

「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」(厚生労働省) 保育所保育指針解説 厚生労働省編 平成30年 フレーベル館 その他 授業の中で紹介します。

【学生へのメッセージ】

子どもと食をめぐる課題に関する文献・新聞記事を読んで課題意識をもって授業に臨んでください。 ボランティア等の食育実践活動に積極的に参加し、具体的な実践を通して理解を深めましょう。 調理実習に関して(費用・衛生面他)はオリエンテーションで詳細を説明いたします。

回		授 業 概 要							
1	事前学習	習 シラバスの確認・子どもの食生活の現状と課題について調べてくる。							
	学習内容	「子どもの食と栄養」の学びについて 子どもの食生活の現状と課題							
	事後学習	演習1 朝食欠食についての課題をまとめる。							
2	事前学習	教科書 STEP1(14p~17p)までを読み、概要を整理する。							
	学習内容	栄養の基本							
	事後学習	教科書 STEP3を読む。							
3	事前学習	教科書 STEP1(26p~31p)までを読み、概要を整理する。							
	学習内容	栄養素の種類とはたらき							
	事後学習	演習1(32p)、演習2(33p)をまとめる。							
	事前学習	日本人の食事摂取基準について事前に調べ理解する。							
4	学習内容	日本人の食生活の目標							
	事後学習	演習 自分の食生活を見直してみよう」							
	事前学習	食品群について事前に調べ整理をする。							
5	学習内容	献立作成・調理の基本							
	事後学習	演習 1日分の献立を作る。							
	事前学習	乳児期の栄養・食生活の特徴について整理する。							
6	学習内容	乳児期の授乳の意義と食生活							
	事後学習	母乳育児の留意点についてまとめる。							
_	事前学習	厚生労働省「授乳・離乳の支援ガイド」について概要を整理する。							
7	学習内容	乳児期の離乳の意義と食生活							
	事後学習	演習 手づかみ食べの重要性について							
	事前学習 学習内容	幼児期の身体の発達について事前に調べ理解する。 幼児期の心身の発達と食生活							
8	子百內吞 事後学習	演習 おやつの役割について							
\vdash	事例于日	学童期・思春期の成長と発達について事前に調べ理解する。							
9		学童期・思春期の心身の発達と食生活・生涯発達と食生活							
	事後学習	演習 ライフイベントと食について							
	事前学習	保育所における食育に関する指針について読んでくる。							
10		保育における食育の意義・目的と基本的考え方							
		演習 食育活動と「教育」との関連について考える。							
	事前学習	保育所における食育に関する指針:年齢区分別「ねらい」と「内容」の概要整理。							
11	学習内容	食育の内容と計画および評価							
	事後学習	食育の指導計画の立案							
	事前学習	食育実践のための地域の資源について調べる。(143p)							
12	学習内容	地域や家庭と連携した食育の展開							
	事後学習	「食育だより」の作成							
	事前学習	家庭における食生活上の問題点、家庭における食事の役割についての概要整理。							
13	学習内容	家庭や児童福祉施設における食事と栄養							
	事後学習	演習 行事食を伝えるポスター							
	事前学習	子どもの疾病および体調不良の特徴について教科書を読む。							
14	学習内容	特別な配慮を要する子どもの食と栄養							
	事後学習	演習 アレルギー疾患管理指導表・経過記録表の記入を通してその対応を考える。							
	事前学習	授業全体を振り返り、子どもの食と栄養に関する知識・実践の確認・整理を行う							
15	学習内容	まとめ							
	事後学習	振り返りシートの記入							

科目区分	専門教育科	科目 科目:	分類	専門科目(基礎)		科目番号		BO213A2			
授業科目		保育原理Ⅱ				担当教員		清水健			
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	격	卒業要件		力2種免	保育士		
2年	集中	2	30	講義		選択		選択		【択必修	選択必修

保育所と家庭、地域との連携、保育所における相談援助活動の基本原理と実践、保育サービスの評価と苦情解決の方法などについて学び、保育士の資質と任務についての理解を深める。

(授業の概要)

保育に関する基礎的事項をふまえ、より専門的な保育方法について学ぶ。

(授業の到達目標)

・グループ討議を通して、相談援助活動を含め、保育士の資質と任務について考え、自分の意見を発表する。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定·学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

課題レポート30% 実習(討論含)10% 学習マナー60% 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

事前:配布プリントより授業内容について確認する。(30分)

事後:授業内容を振り返り整理する。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は、添削のうえ返却する。試験は、解答を公表する。

【使用テキスト】

必要に応じて資料を提示、配付。

【参考図書】

「PriPriブックス 新保育所保育指針サポートブック ~保育家庭から指導計画作成まで~」保育総合研究会監修 世界文化社

【学生へのメッセージ】

集中講義となります。就職を踏まえ、保育士の資質と任務について自分の意見を発表できることを目指します。

回	授 業 概 要
1	オリエンテーション
2	保育の現状
3	保育の課題
4	相談援助活動(1)心構え
5	相談援助活動(2)個別
6	相談援助活動(3)集団
7	相談援助活動(4)地域
8	保育サービスとは(1)個別
9	保育サービスとは(2)集団
10	保育における連携(1)ー家庭との連携―
11	保育における連携(2)ー他機関との連携―
12	保育士の資質と任務(1)子ども
13	保育士の資質と任務(2)保護者
14	保育士の資質と任務(3)地域
15	まとめ

科目区分	専門教育科	月 科目:	科目分類 専門科目(基礎)			科目番号		NT214A2				
授業科目	発達心理学Ⅱ					担当教員		清/	k 一毅			
履修年次	開講時期	単位数	時間	罰	授業形態	즉	卒業要件		業要件 幼2種幼		加2種免	保育士
2年	後期	1	15		講義		選択		選択 一		-	選択必修

青年期の発達や課題についての理解を深める。カウンセリングや関連する心理学の理論方法について学習し、教育・福祉・保育などの実際場面で人とかかわるために必要な力を身につける。

(授業の概要)

"Peer"は「仲間」、"Helper"は「助ける人」であり、ピアヘルパーは直訳すれば仲間を助ける人という意味となる。つまり、職場やボランティア活動の現場において、様々な問題に直面している仲間の手助けをすることがピアヘルパーの活動許容範囲となる。そのようなピアヘルパーの資格取得に向けて、ピアヘルパーの役割や活動内容、意義について学習する。また、さまざまな演習を通してカウンセリングの技法を学ぶことで、より的確な手助けができるよう学習を深めていく

(授業の到達目標)

・ピアサポートをする上で、知っておくべき基本事項を学習し、さらに応用的な内容についても学習する。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定·学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身に着けていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身に着けていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	

【評価方法】

定期試験(70%) 学習マナー(30%) 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

予習:テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う。(30分) 復習:配布プリントなどにより、授業内容について確認する。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は、添削のうえ返却する。

【使用テキスト】

特になし

【参考図書】

「ピアヘルパー・ハンドブック」 日本教育カウンセラー協会編 図書文化社刊 「ピアヘルパー・ワークブック」 日本教育カウンセラー協会編 図書文化社刊

【学生へのメッセージ】

ピアヘルパー資格取得のために頑張りましょう。

▣	授 業 概 要
1	オリエンテーションと導入、ピアヘルパーの活動と役割
2	カウンセリング概論①(グループエンカウンター)
3	カウンセリング概論②(カウンセリングの理論)
4	カウンセリングスキル①(カウンセリングの技法)
5	カウンセリングスキル②(ロールプレイ)
6	青年期の課題とピアヘルパ―の留意点①
7	青年期の課題とピアヘルパ―の留意点②
8	まとめ

科目区分	専門教育科	科目	科目分類 専門科目(基礎)			科目番号		KT	`215A2			
授業科目	教育の方法と技術						担当教員		川村 めぐみ			
履修年次	開講時期	単位数	B	寺間	授業形態	쟉	△業要件	幺	加2種免	保育士		
1年	後期	2		30	講義		選択		選択		必修	選択

これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育(保育)の方法や技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技術を身につける。

(授業の概要)

- (1)教育(保育)の方法:これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解する。
- (2)教育(保育)の技術:教育の目的に適した指導技術を理解し、身に付ける。
- (3)情報機器を活用した効果的な保育や情報活用能力の育成を視野に入れた教材の作成活用に関する基礎的な能力を 身に付ける。

(授業の到達目標)

- (1)教育(保育)の方法に関する基礎的な内容を理解している。
- (2)保育を行う上での基礎的な技術および学習理論を踏まえた指導計画の立案が出来る。
- (3)子どもたちの学びの振り返りや体験との関連を考慮しながら、情報機器を活用し教材の作成・提示ができる。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

試験(50%) 指導計画の立案・教材作成(50%) 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

事前学習:教科書や指定された課題について概要の整理を行う。(30分)

事後学習:授業内容から提示する。期限を守って提出してください。(30分)

*課題の提示・提出にはICTを活用します。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

事前・事後等の授業課題については、授業内で解説及びフィードバックを行います。

【使用テキスト】

保育方法論 神長美津子·津金美智子·五十嵐市郎 編著 光生館

【参考図書】

幼稚園教育要領解説(平成30年 3月) 文部科学省

幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(平成30年 3月) 内閣府・文部科学省・厚生労働省

幼児理解に基づいた評価 平成31年3月 文部科学省

【学生へのメッセージ】

事前・事後の学習も含め、積極的な態度で受講してください。

回	授 業 概 要
1	ガイダンス/保育の方法と技術とは何か
2	保育の基本と保育方法 ―「幼稚園教育要領」が示す保育の基本
3	幼児期の発達特性の理解――人一人の発達の特性に応じた指導
4	環境を通して行う保育
5	遊びを通しての総合的な指導
6	保育の形態の種類と活用方法
7	保育の質と評価
8	生活活動の指導方法と援助
9	「主体的・対話的で深い学び」と教材研究
10	教材研究の実際
11	園内外の環境を活かした保育
12	小学校生活を見通した保育の構想
13	情報機器の活用と課題—幼児教育(保育)と情報機器のかかわり
14	視聴覚教材の活用法
15	まとめ

科目区分	専門教育科	育科目 科目分類 専門科目(基礎)			科目番号		KT216A2			
授業科目		教	教育相談			担当教員		清水 一毅		
履修年次	開講時期	単位数	B	寺間	授業形態	쟉	△業要件	幺	力2種免	保育士
2年	後期	2		30	30 講義		選択		必修	選択

幼児教育・保育に有用なカウンセリングの技法を習得する。特にコミュニケーションの特質や問題点について理解し、上 手なコミュニケーションのあり方について学ぶ。

(授業の概要)

本来カウンセリングは「心の専門家」と呼ばれる人が行うが、その基本や技法には保育者にとっても有用なものが含まれている。こうした知識や技術を学び、その習得を目指す。

また、カウンセリングの基礎的な理論および方法の学習を通して、幼児期の子どもの心と保護者の心を理解し、地域との繋がりの中での子育てを支援するための教育相談の方法を実践的に学ぶ。

(授業の到達目標)

- ・主にグループワークの演習を通して、コミュニケーションの難しさを知る。
- ・日常における自分のコミュニケーションの特徴・欠点を理解し修正する。
- 演習を通して学んだことを日常生活や保育現場において実践し、活用する能力を身につける。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身に着けていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身に着けていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	

【評価方法】

定期試験(40%) 課題提出(30%) ロールプレイ・討論(30%) 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

予習:テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う。(30分) 復習:配布プリントなどにより、授業内容について確認する。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は、添削のうえ返却する。

【使用テキスト】

「子育て支援カウンセリング」 石川洋子著 図書文化

【参考図書】

「教師・保育者のための教育相談」 大野精一著 萌文書林

【学生へのメッセージ】

授業を通して、受動的に話を聞くだけでなく、能動的に自分で考えながら受講して下さい。また、グループワークやロールプレイを行う場面が多くあるので積極的に参加しましょう。

回	授 業 概 要 と 準 備 学 習 (予習・復習等)
1	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の意義と課題
2	教育相談(カウンセリングを含む。)の実際。
3	保育と教育相談(カウンセリングを含む。)の共通点 検討
4	「聞く」と「聴く」の体験的理解
5	聴く姿勢・態度:自分の「癖」を知ろう
6	「話す」ことについて
7	子育て支援(教育相談)に生かすカウンセリング理論1:クライエント中心理論(来談者中心理論)
8	子育て支援(教育相談)に生かすカウンセリング理論2:精神分析療法 意識・無意識について
9	子育て支援(教育相談)に生かすカウンセリング理論3:認知行動療法 スキーマとリフレーミング
10	子育て支援(教育相談)に生かすカウンセリング理論4:交流分析 エゴグラムから見る私
11	子育て支援(教育相談)に生かすカウンセリング理論5:ブリーフセラピー
12	保護者との関わり方を考えよう
13	保護者への支援
14	保育者の行う教育相談の進め方
15	まとめ

科目区分	専門教育科	専門教育科目 科目分類 専門科目		斗目(内容·方法	(,	科目番号		ВС	9301A1	
授業科目	į	教育課程・保育の計画と評価					担当教員		清	水健
履修年次	開講時期	単位数	時	間	授業形態	쭈	<u>∽</u> 業要件	幺	力2種免	保育士
1年	後期	2	30 講義			必修		必修	必修	

教育・保育課程の意義及び編成の方法を理解するとともに、環境をとおしておこなう教育・保育を基本とする幼児教育における教育・保育課程の役割を明らかにし、幼児の心身の健やかな発達が促される教育・保育課程の編成について学ぶ。

(授業の概要)

学校教育において教育課程が有する役割・機能・意義を理解する。教育課程編成の基本原理及び学校の教育実践に 即した教育課程編成の方法を理解する教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解する。

(授業の到達目標)

・学習指導要領を基に編成される教育課程について、その意義や編成の方法を理解するとともに、各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

定期試験50% 課題レポート30% 討論・プレゼンテーション20% 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

事前:予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする。(30分)

事後:ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は、添削のうえ返却しフィードバックを行う。試験は、解答を公表する。

【使用テキスト】

「就学前教育の計画を学ぶ 教育課程・全体的な計画(保育課程)から指導計画へ」村松和子・近藤幹生・椛島香代著ななみ書房

「平成30年度施行 新要領・新指針サポートブック 全体的な計画の作成から実践まで」 保育総合研究会監修 PsiDsiTiv.4.7

【参考図書】

「保育課程論 保育の基盤の理解と実習への活用」 加藤敏子・岡田耕一編著 萌文書林

【学生へのメッセージ】

幼稚園や保育所、認定こども園での保育・教育の基礎や、幼稚園教育要領、保育所保育指針の変遷などの原理を 学ぶため、毎回の授業終了後、学び得たことをまとめたレポートを提出してもらう予定である。

	授 業 概 要
1	学習指導要領・幼稚園教育要領の性格及び位置付け並びに教育課程編成の目的理解
2	学習指導要領・幼稚園教育要領の改訂の変遷及び主な改訂内容の社会的背景理解
3	教育課程が社会において果たしている役割や機能を理解
4	教育課程編成の基本原理を理解 教育目標・教育理念
5	教育課程編成の基本原理を理解 学習計画・月案、週案、日案、細案
6	教育課程編成の基本原理を理解 日案、細案の立案
7	教科・領域を横断して教育内容を選択・配列する方法を例示 保育者養成課程 観点
8	教科・領域を横断して教育内容を選択・配列する方法を例示 保育者養成課程カルテ
9	教科・領域を横断して教育内容を選択・配列する方法を例示 保育者養成課程カルテ
10	長期的・現場実態から、教育課程や指導計画を検討 アンケート調査
11	長期的・現場実態から、教育課程や指導計画を検討 観点の整理
12	長期的・現場の実態から、教育課程や指導計画を検討 PDCAサイクル
13	第三者評価の視点 本学第三者評価内容例示
14	第三者評価の視点 幼稚園、保育所、施設 第三者評価 教育課程の見直し
15	まとめ 学習成果・新学習指導要領

	科目区分	専門教育科	専門教育科目 科目分類 専門科目		斗目(内容·方法	容·方法) 科目番号		} BO		302B1		
	授業科目		保育内容総論					担当教員		三扌	三井 正人	
Ī	履修年次	開講時期	単位	数	時間	授業形態	卒	三業要件	業要件 幼		保育士	
	1年	前期	1		30	演習		必修		必修	必修	

- 1. 保育所や幼稚園の保育に関する基本的理解をすすめる。
- 2. 保育所保育指針・幼稚園教育要領等の基本を学ぶ。
- 3. 保育課程・教育課程、保育・幼児教育の実践活動について学び、保育が地域と連携した総合性をもつことを知る。

(授業の概要)

保育所や幼稚園、認定こども園などに関する基礎的な理解。保育所指針、教育要領等の理解。保育課程、教育課程の理解と実践。保育課題と地域との連携について学習する。

(授業の到達目標)

・幼稚園教育要領・保育所指針の5領域のねらい、内容、留意事項の理解を基に、児童福祉施設をはじめとするさまざまな施設に対する理解を深め、保育内容に関するさまざまな技術を指導計画として立てる。また保育が直面する課題について総合的に学ぶ。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

グループ発表(50%) レポート提出(50%) 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

予習:保育環境における問題意識を持つため、インターネットを通じてすでに学んだ保育環境について再度見直す。また発表に際して時間外にグループで調べた内容をパワーポイントでまとめる。(30分)

復習:発表後意見交換や教員のアドバイス踏まえ再度発表を見直す。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題発表の後、質疑応答時間を設け、意見交換、教員のアドバイスを行う。そののちに再度課題を見直して、提出。

【使用テキスト】

新・保育実践を支える 保育内容総論 中村恵 水田聖一 生田貞子 編著 福村出版

【参考図書】

「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」その他設置基準など関係法令をインターネットより検索

【学生へのメッセージ】

保育内容のまとめです。5領域をはじめ、関係法令、子どもをめぐる少子化などの様々な問題をインターネットで検索して調べ、パワーポイントでまとめて発表します。自ら子育ての専門家になるための様々な疑問を話し合える科目にしたいと思います。

	授 業 概 要
1	ガイダンス 授業のねらい計画
2	幼稚園・保育園の保育内容 教育要領と保育指針 5領域
3	さまざまな保育の形態 幼稚園 認定子ども園 保育所 児童福祉施設 グループ研究 ①
4	さまざまな保育の形態 幼稚園 認定子ども園 保育所 児童福祉施設 グループ研究 ②
5	さまざまな保育の形態 幼稚園 認定子ども園 保育所 児童福祉施設 グループ研究 ③
6	グループ研究発表 質問・意見交換①
7	グループ研究発表 質問・意見交換②
8	保育技術の理解
9	保育技術の実践
10	保育計画の理解
11	保育の指導法理解
12	保育課題について 少子化高齢化 ① グループ研究・発表
13	保育課題について 家族・子育て ② グループ研究・発表
14	地域との連携
15	まとめ

科目区分	専門教育科	数育科目 科目分類 専門科目(内容・方法)		科目番号		ВС	303B1			
授業科目	保育内容演習(環境)						担当教員		員 吉田 百加利	
履修年次	開講時期	単位数	時	間	授業形態	쟉	产業要件		加2種免	保育士
1年	後期	1 30 演習			必修		必修	必修		

保育者として、発達過程に即して子どもを理解することと、総合的に指導・援助が行えるような保育方法の実践的な修得を目指す。

(授業の概要)

領域「環境」のねらいと内容を踏まえ、幼児が様々な環境と関わりながら成長を遂げるためにどのような援助を行えばよいのか、子どもの現況を把握し、また、子どもの体験との関連を考慮した情報機器及び教材を活用した指導方法を身につけることを目指す。

(授業の到達目標)

- ・領域「環境」と他の領域との関連性を理解する。
- ・身近な事物や自然と子どものかかわりを援助する指導案を書くことが出来る。
- ・教育保育の全体構造の理解に基づいて総合的に指導援助が行えるよう実践的な方法(子どもの体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用を含む。)の習得を目指す。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定·学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

定期試験(60%) 模擬授業の発表内容(20%) レポート(20%) 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

事前:予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする。(30分)

事後:ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は、添削のうえ返却する。試験は、解答を公表する。

【使用テキスト】

保育内容 環境 一基礎的事項の理解と指導法一 (岡 健著 建帛社)

【参考図書】

授業中に適宜資料を配布する。

「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」

【学生へのメッセージ】

意欲的に学ぶ姿勢を期待します。

0	授 業 概 要
1	「環境」のねらい、内容、内容の取扱いへの理解
2	幼児に対する環境教育の指導方法 物を扱う
3	園の実践事例から学ぶ シャボン玉、風車、紙飛行機、虫眼鏡、コマ、磁石、光・影
4	幼児に対する環境教育の指導方法 生物を知る
5	園の実践事例から学ぶ 飼育と栽培、ビオトープ
6	幼児に対する環境教育の指導方法 大きな自然を感じる
7	園の実践事例から学ぶ 野外活動、園外保育
8	幼児に対する環境教育の指導方法 文字や標識
9	幼児に対する環境教育の指導方法 数量や図形
10	園の実践事例から学ぶ 保育室内環境構成
11	安全対策 自然への配慮
12	指導案の書き方、作成
13	指導案にもとづく模擬保育の実践
14	自己評価の作成と評価の生かし方
15	小学校との連携

科目区分	専門教育科	科目 科目分類 専門科目(内容・方法)		科目番号		BO304B1			
授業科目		保育内容	F演習(健康)		担当教員		井_	上 聖子
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	쟉	产業要件	幺	加2種免	保育士
1年	後期	1	30	演習		必修		必修	必修

乳幼児期は、生涯にわたる心身の健康の基礎を培う重要な時期である。このことを理解するとともに、乳幼児期の心身の発達や発育について学び、健康で安全に過ごせるための援助の仕方について学ぶ事を目的とする。

(授業の概要)

幼稚園教育要領の中での領域「健康」のねらいや内容について理解した上、幼児が主体的に心身の健康と安全な生活を送るための指導の在り方について考察する。また、子どもの体験との関連を考慮した情報機器及び教材を活用した模擬授業を通じて、具体的な指導場面における教師のかかわり方や評価の仕方を身に付ける。

(授業の到達目標)

- ・領域「健康」のねらいと内容について理解するとともに、その背景にある専門領域との関連性について理解を深める。
- ・幼児自ら健康で安全な生活を作り出す力を養うべき子どもの体験との関連を考慮した情報機器及び教材を活用した 指導方法や保育を構想する力を身に付ける。
- ・指導場面における教師のかかわり方の評価について理解する。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

定期試験(70%) 発表(30%) 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

予習:事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること。(30分)

復習:授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は、添削のうえ返却する。試験は、解答を公表する。

【使用テキスト】

「演習 保育内容 健康」 編著者 河邉貴子 発行所 建帛社

【参考図書】

「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」「保育所保育指針」

「保育保健の基礎知識」監修 巷野悟郎 編集 日本保育園保健協議会 日本小児医事出版社

「運動遊び」 編著者 井上 勝子 発行所 建帛社

【学生へのメッセージ】

生涯の健康の基礎となる乳幼児期の健康について学ぶことは、保育者として養育者として、とても重要なことです。現代の子どもたちの健康に関心をもつとともに、自分自身の健康にも関心を持ち、意欲的に授業に臨んで下さい。

	授 業 概 要
1	幼稚園教育要領の基本の理解と領域「健康」のねらいについて
2	領域「健康」の内容について
3	領域「健康」の内容に即した幼児の活動と具体的な指導について -基本的生活習慣(食事・排泄・睡眠)
4	領域「健康」の内容に即した幼児の活動と具体的な指導について -基本的生活習慣(清潔・衣服の着脱)
5	領域「健康」の内容に即した幼児の活動と指導上の留意点について ー運動遊び
6	領域「健康」の内容に即した幼児の活動における評価について 一運動遊び
7	領域「健康」における内容と小学校の教科等の関連性について
8	幼児の心情、認識、思考及び動き等を視野に入れた保育構成の重要性について
9	保育を想定した指導案の作成方法につて
10	模擬授業とその振り返り 一保育構想と改善する視点を身に付ける一 学生発表グループ(1)
11	模擬授業とその振り返り 一保育構想と改善する視点を身に付ける一 学生発表グループ(2)
12	模擬授業とその振り返り 一保育構想と改善する視点を身に付ける一 学生発表グループ(3)
13	模擬授業とその振り返り 一保育構想と改善する視点を身に付ける一 学生発表グループ(4)
14	領域「健康」の特性に応じた現代の課題と保育実践について
15	領域「健康」のまとめー幼児教育における領域「健康」の在り方

科目区分	専門教育科目 科目分類 専門科目(内容·方法)		科目番	号	BO305B1					
授業科目	保育内容演習(言葉)						担当教員		員 三石 美鶴	
履修年次	開講時期	単位数	時	間	授業形態	쭈	<u>∽</u> 業要件	幺	力2種免	保育士
1年	後期	1	3	30 演習		必修		必修	必修	

「子どもと言葉」の学修と関連させ、乳幼児期の言葉の発達過程と保育者の役割について理解し、各発達段階に応じて 児童文化財を有効に活用し、創造的な保育を主体的に実践する力を育成することを目指す。

(授業の概要)

幼稚園教育要領の領域「言葉」のねらいや内容を理解し、それらを達成するための保育者の役割や関わり方について理解する。また、乳幼児の言葉の発達過程を理解し、各発達段階に応じた言葉を育む保育の在り方や保育者の役割を考える。その際、児童文化財の種類や特性を理解し、演習を通してそれらを有効に活用する実践力を育成する。また、グループ活動や交流活動を通して協調性やコミュニケーションカ、言葉を介した表現力等を身に付ける。乳幼児の最大の言語環境が保育者であることを自覚し、言葉を育む保育者としての資質能力を育成する。

(授業の到達目標)

- ・領域「言葉」のねらいや内容と保育者の役割について理解し、乳幼児の発達段階に応じ、言葉を育む保育の実践力 を育成する。
- ・児童文化財それぞれの特性や効用の理解及び操作や演じ方等の技能を習得し、乳幼児の発達段階に応じた保育において適切に児童文化財を活用する技能を習得する。
- ・発表や交流活動を通して表現力・コミュニケーション力を身に付け、言葉を育む保育者としての資質能力を育成する。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

定期試験(40%) 授業態度(30%) 提出物(30%) 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

- ・授業外学修として、毎時間終了前に予告された授業内容の準備、予習を行うと共に 授業後には復習を行う。
- 常に幼稚園実習、保育実習を意識し、予習・復習を行う。
- ・図書館等で保育教材の教材研究、演習の構想や準備等を行う。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

授業ごとに作成したワークシートや小レポート等が返却されるので、指導者のコメントや助言を参照し、毎回振り返りを 行う。自らの学修のよかった点や改善点等を確認し、次の授業に活かす。

【使用テキスト】

「保育所保育指針解説」(厚生労働省編 フレーベル館)

【参考図書】

授業内にて、適宜資料を配布する。

「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領」

【学生へのメッセージ】

- ・子どもたちの言葉を育む保育士としての資質能力を育成する学修です。自身が言葉の担い手としてのモデルとなることを意識して学修に臨んでください。、
- ・子どもたちの言葉を育む上で、児童文化財を活用する演習を行います。実際に保育実習や幼稚園実習等で実践することを意識し て学修しましょう。

回	授 業 概 要
1	オリエンテーション:学修内容を理解し、見通しをもつ。スピーチの仕方を理解し、相手に応じた自己紹介を行う。
2	幼稚園教育要領領域「言葉」の目的・内容について理解する
3	言葉を育む保育者の役割について考える
4	児童文化財についてそれぞれの特性や効能を理解する
5	絵本の読み聞かせの仕方を理解する
6	幼児に読み聞かせたい絵本を選び、読み聞かせを実践し、交流する
7	ストーリーテリングの仕方を理解する
8	ストーリーテリングを実践し、交流する
9	紙芝居の作成方法や演じ方を理解する
10	グループでオリジナル紙芝居作成に向け、構想を練る。
11	グループでオリジナル紙芝居を作成する
12	オリジナル紙芝居の発表を行い、交流する
13	言葉遊び、文字遊びについて理解する
14	年長児が遊べるオリジナルかるたを作成し、実践する
15	本学修の振り返りと学修のまとめ

1	科目区分	専門教育科目		科目分類 専門科		斗目(内容·方法)		科目番号		BO306B1		
ŧ	受業科目	保育内容演習(人間関係)							担当教員 清水			k 一毅
F	覆修年次	開講時期	単位	边数	時	間	授業形態	卒	空業要件	幺	加2種免	保育士
	1年	後期	1		3	30	演習		必修		必修	必修

養護と教育に関わる保育の内容が、それぞれに関連性を持ち、総合的に保育を展開していくための知識、技術、判断力を習得する。特に、子どもの発達と子どもを取り巻く人間関係との関連性について具体的に学ぶ。

(授業の概要)

5領域のそれぞれの意義やねらい、内容と領域「人間関係」の関連性について理解する。また子どもの発達と人間関係の知識に基づいて情報機器及び教材を活用した指導や援助が行えるよう実践的な力を習得する。

(授業の到達目標)

- ・子どもの発達と人間関係の基礎を理解する。
- ・子どもの発達に応じた情報機器及び教材を活用した指導援助の力を身につける。
- ・グループワークを通して、新たな視点に気付く。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定·学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

定期試験(70%) 課題提出(30%) 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

予習:テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う。(30分) 復習:配布プリントなどにより、授業内容について確認する。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は、添削のうえ返却する。試験は、解答を公表し、解説する。

【使用テキスト】

「演習 保育内容 人間関係」田代和美・村松正幸 編著 建帛社

【参考図書】

「体験する・調べる・考える 領域人間関係」田宮緑 萌文書林

「事例で学ぶ保育内容 領域 人間関係」無藤隆 監修 萌文書林

「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」

【学生へのメッセージ】

授業中は受動的に話を聞くだけでなく、能動的に自分の中で考えながら受講して下さい。

	授 業 概 要
1	オリエンテーション 保育内容とは 領域「人間関係」の意味
2	領域「人間関係」について 人間関係とは何か
3	子どもの人間関係の基礎 愛着関係について
4	乳幼児の発達と人間関係 乳幼児を取り巻く環境
5	幼児の発達と人間関係①(0歳~2歳児) 身近な人との関わりと発達
6	幼児の発達と人間関係②(3歳~4歳児) 仲間との関わりと発達
7	幼児の発達と人間関係③(5歳~就学まで)遊びと教科教育との繋がり
8	遊びの発達と人間関係① 子どもとの遊びについてインターネットを使い、検索しよう
9	遊びの発達と人間関係② 各年齢に応じた子どもの遊び道具を考えてみよう
10	子どもの育ちを支える保育者同士、保育者と保護者の人間関係
11	特別な支援を必要とする子どもへの援助の工夫
12	指導計画の意義・作成と実践①(0歳~2歳児)指導計画作成のポイント
13	指導計画の意義・作成と実践②(3歳~4歳児)指導計画作成のポイント
14	指導計画の意義・作成と実践③(5歳~6歳児)指導計画作成のポイント
15	幼児教育の現代的課題と領域「人間関係」 現代社会と人との関わり、今日的課題

科目区分	専門教育科	専門教育科目 科目分類 専門科目(内容·方法)		科目番号		BO307B2					
授業科目	保育内容演習(表現 I) 担当教員					田ノ	川 智美				
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	즉	工業要件		力2種免	保育士		
1年	後期	1	30	演習		選択		選択		必修	選択必修

表現領域の音楽について、意義やねらい、また内容や留意事項について理解させる。保育実践に向けた、子どもの表 現の仕方、活動展開、指導方法を学び、子どもの表現についての認識と理解を深める。

(授業の概要)

領域「表現」の音楽について意義やねらい、また内容や指導上の留意点について理解する。保育実践に向けて、子ど もの表現の仕方、活動展開、体験との関連を考慮し、情報機器及び教材を活用した指導法を学び、子どもの表現につい ての認識と理解を深める。

(授業の到達目標)

・領域「表現」を理解し様々な表現活動を通して子どもの発達に応じた指導援助と実践力(子どもの体験との関連を考 慮した情報機器及び教材の活用を含む。)を取得する。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定·学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

授業への取り組み(60パーセント) 発表(40%) 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

事前:各回毎に課題を設定し予習する。(30分) 事後:各回ごとの授業について復習する。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は、添削のうえ返却する。

【使用テキスト】

「あそびうた大全集200」永岡書店 「こどものうたベストテン」ドレミ楽譜

【参考図書】

「保育のうた・こどものうた120」シンコーミュージック

「ダルクローズシステムによる」リトミック指導1,2,3」全音楽譜出版社「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」

【学生へのメッセージ】

責任実習に役立つ実践的な学習に取り組みます。音楽で表現する楽しさとその指導法をしっかり学び、積極的に取り 組んで下さい。

回	授 業 概 要
1	子どもの表現の仕方(映像を用いる)の特徴と領域「表現」の特徴について
2	年齢にあった音楽表現について
3	リトミックについての基礎知識 理論と実践 ・・・①
4	リトミックについての基礎知識 理論と実践 ・・・②
5	幼児曲の歌唱 楽しく表現しながら歌う歌唱法について・・・①
6	幼児曲の歌唱 楽しく表現しながら歌う指導法について・・・②
7	幼児曲の歌唱 楽しく表現しながら歌う指導法について・・・③
8	音楽あそび(リズム) 年齢別の音楽あそび
9	手遊び 年齢ごとの指導法について・・・①
10	手遊び 年齢ごとの指導法について・・・②
11	手遊び 年齢ごとの指導法について・・・③
12	リトミック、歌唱、音楽あそび、手遊びを用いた指導案の作成(グループ研究)
13	作成した指導案の発表と改善点について
14	作成した指導案の発表と改善点について
15	完成させた指導案の提出と領域「表現」のまとめ

科目区分	専門教育科	l 🛮	科目分	類専門	科目(内容・方法	法)科目番号		科目番号		号 BO		308B2
授業科目	保育内容演習(表現Ⅱ) 担当教員					三井 正人						
履修年次	開講時期	単位	数	時間	授業形態	卒	業要件 :		加2種免	保育士		
1年	後期	1		30	演習	選択		選択		選択必修		

表現領域の造形について、意義やねらい、また内容や留意事項について理解させる。保育実践に向けた、子どもの表現の仕方、活動展開、指導方法を学び、子どもの表現についての認識と理解を深める。

(授業の概要)

領域「表現」の造形について意義やねらい、また内容や指導上の留意点について理解する。保育実践に向けて、子どもの表現の仕方、活動展開、体験との関連を考慮し、情報機器及び教材を活用した指導法を学び、子どもの表現についての認識と理解を深める。

(授業の到達目標)

・領域「表現」を理解し様々な表現活動を通して子どもの発達に応じた指導援助と実践力(子どもの体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用を含む。)を取得する。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定·学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

課題提出(70%) 発表(30%) 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

事前:各回毎に課題を設定し予習する。(30分) 事後:各回ごとの授業について復習する。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は、添削のうえ返却する。

【使用テキスト】

コンパス 保育内容 表現 建帛社

【参考図書】

「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」

【学生へのメッセージ】

責任実習に役立つ実践的な学習に取り組みます。造形で表現する楽しさとその指導法をしっかり学び、積極的に取り組んで下さい。

	授 業 概 要
1	子どもの表現の仕方(映像を用いる)の特徴と領域「表現」の特徴について
2	年齢にあった造形表現について
3	子どもの造形についての基礎知識 理論と実践 3、4歳児・・・①
4	子どもの造形についての基礎知識 理論と実践 5歳児・・・・・②
5	楽しく表現するための指導法について(子どもの姿、ねらい)・・・①
6	楽しく表現するための指導法について(導入、環境構成)・・・②
7	楽しく表現するための指導法について(展開)・・・③
8	楽しく表現するための指導法について(まとめ)・・・④
9	手遊び 年齢ごとの手遊びの指導法について 指導計画の立案(グループごと)
10	手遊び 年齢ごとの手遊びの指導法について グループごとに模擬授業発表…① 反省、振り返り
11	手遊び 年齢ごとの手遊びの指導法について グループごとに模擬授業発表…② 反省、振り返り
12	手遊び 年齢ごとの手遊びの指導法について グループごとに模擬授業発表…③ 反省、振り返り
13	手遊び 年齢ごとの手遊びの指導法について グループごとに模擬授業発表…④ 反省、振り返り
14	手遊び 年齢ごとの手遊びの指導法について グループごとに模擬授業発表…⑤ 反省、振り返り
15	完成させた指導案の提出と領域「表現」のまとめ

科目区分	専門教育科目 科目分類 専門科目(内容·方法)		科目番号		ВС)309B1			
授業科目	子どもと環境					担当教員		吉田 百加利	
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	즉	产業要件	幺	力2種免	保育士
1年	前期	1	30	演習		必修		必修	必修

領域「環境」の指導に関連する幼児を取り巻く環境や、幼児と環境との関わりについての専門的事項における感性を養い、知識・技能を身に付ける。

(授業の概要)

子どもたちの学びや育ちを支える専門家となるために、映像等の視覚的教材を活用し、多くの具体的な事例から環境による教育に関する学習を深めることを目指す。

(授業の到達目標)

- ・幼児を取り巻く環境と、幼児の発達にとっての意義を理解する。
- ・幼児期の思考・科学的概念の発達を理解する。
- ・幼児期の標識・文字等、情報・施設との関りの発達を理解する。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

定期試験(60%) レポート(20%) 授業マナー(20%) 計(100%)

【準備学習(予習・復習等)】

事前:予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする。(30分)

事後:ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は、添削のうえ返却する。試験は、解答を公表する。

【使用テキスト】

保育内容 環境 一基礎的事項の理解と指導法一 (岡 健著 建帛社)

【参考図書】

授業中に適宜資料を配布する。

「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領」

【学生へのメッセージ】

意欲的に学ぶ姿勢を期待します。

回	授 業 概 要
1	「環境」を捉える
2	乳幼児の発達と環境
3	領域「環境」のねらい、内容および評価
4	身近な生き物や植物に親しみをもって関わる その1
5	身近な生き物や植物に親しみをもって関わる その2
6	季節による生活や自然の変化に気づく その1
7	季節による生活や自然の変化に気づく その2
8	様々な物や道具に触れその性質や仕組みに興味や関心をもつ
9	生活の中で数量や図形などに関心をもつ
10	生活の中で標識や文字などに関心をもつ
11	生活に関係の深い情報や施設などに興味・関心をもつ その1
12	生活に関係の深い情報や施設などに興味・関心をもつ その2
13	生活の中で文化や伝統、行事などに親しむ その1
14	生活の中で文化や伝統、行事などに親しむ その2
15	保育者の役割

科目区分	専門教育科	科目	分類	専門和	4目(内容・方法	(,	科目番	号	ВС	310B1
授業科目		子と	もと健力	康			担当教		井_	上 聖子
履修年次	開講時期	単位数	時	間	授業形態	쟉	工業要件	幺	加2種免	保育士
1年	前期	1	3	0	演習		必修		必修	必修

領域「健康」の指導に関する幼児の心身の発達、基本的な生活習慣、安全な生活、運動発達などの専門的事項についての知識を身に着ける。

(授業の概要)

幼児における心身の健康について専門的な知識を身に付ける。また幼児の健康に関するデーターを分析・検討を行い、課題を見つけ、幼児の健康についての理解を深める。

(授業の到達目標)

- ・幼児期の健康課題と健康の発達的意味を理解する。
- ・幼児期の体の諸機能の発達と生活習慣の形成を理解する。
- ・安全な生活と病気の予防を理解する。
- ・幼児期の運動発達の特徴と意義を理解する。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

定期試験(80%) 発表(20%) 合計100%

【準備学習(予習・復習等)】

予習:事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること。(30分)

復習:授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は、添削のうえ返却する。試験は、解答を公表する。

【使用テキスト】

「演習 保育内容 健康」編著者 河邉貴子 発行所 建帛社

【参考図書】

「運動遊び」 編著者 井上勝子 高原和子 発行所 建帛社

【学生へのメッセージ】

保育者は、子どもたちが楽しい園生活を送るため、子どもの健康や安全面への配慮を欠かすことはできません。そのため、子どもの健康を守るための視点を日頃から持つようにして下さい。

	授 業 概 要
1	乳幼児の健康とは
2	乳幼児の発達の理解(1)-身体的な発達
3	乳幼児の発達の理解(2)-心の発達
4	乳幼児の発達の理解(3)ー運動機能の発達
5	幼児の体力・運動能力に関する現代の問題
6	乳幼児期の発達と生活習慣の形成との関わり
7	乳幼児の事故の原因と特徴(1)
8	乳幼児の事故の原因と特徴(2)ーグループ討議
9	乳幼児期の安全教育とケガの予防(1)
10	乳幼児期の安全教育とケガの予防(2)ー安全教育・安全面での配慮にについて 学生発表
11	乳幼児期での病気の特徴とその予防について(1)
12	乳幼児期での病気の特徴とその予防について(2)
13	運動遊びの意義と多様な動きの獲得
14	運動遊びの環境構成と指導法
15	乳幼児の運動指針について

科目区分	専門教育科目 科目分類 専門科目(内容·方法		(科目番号		ВО	311B1			
授業科目	子どもと言葉						担当教員		三石 美鶴	
履修年次	開講時期	単位数	В	寺間	授業形態	쟉	工業要件	幺	加2種免	保育士
1年	前期	1		30	演習		必修		必修	必修

保育と言葉の関わりについて理解を深め、言語感覚や言語能力を身に付け、実践的な言葉に関する保育や援助の在り方を習得する。

(授業の概要)

言葉の意義や機能について理解し、言葉を育む保育者として豊かな言語感覚や言語能力の必要性を認識する。その上で、保育所保育指針領域「言葉」のねらいや内容を理解し、それらを達成するための保育者の役割や関わり方について考える。また、乳幼児の言葉の発達過程を理解し、発達段階に応じた言語活動や保育者の果たすべき役割を理解し、最終的には小学校との接続を見据え、総則に示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の主に(8)(9)の育成を目指すことを把握する。さらに、絵本や紙芝居等児童文化財の意義を理解し、それらを取り入れた保育指導案を作成して模擬保育を行う等、実践力を育成する。その際、特別な支援の必要な子ども等への配慮についても意識し、人権感覚を身に付ける。

(授業の到達目標)

- ・人間にとっての言葉の意義や機能について理解し、保育者として適切な言語感覚やコミュニケーション力等の言語能力を身に付ける。
- ・領域「言葉」のねらいや内容と、その達成に向けた保育者の役割を理解する。
- ・乳幼児期の言葉の発達過程を理解すると共に、それぞれの発達段階に適切に対応し、言葉を育む保育者の在り方を習得する。
- ・乳幼児にとっての児童文化財(絵本・紙芝居等)の意義を理解し、実践力を身に付ける。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定·学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

定期試験(40%) 授業態度(30%) 提出物(30%) 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

- ・授業外学修として、毎時間終了前に予告された授業内容の準備、予習を行うと共に 授業後には復習を行う。
- ・常に幼稚園実習、保育実習を意識し、予習・復習を行う。
- ・図書館等で資料を活用した調べ学修や保育教材の選定や教材研究を行う。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

授業ごとに作成したワークシートや小レポート等が返却されるので、指導者のコメントや助言を参照し、毎回振り返りを 行う。自らの学修のよかった点や改善点等を確認し、次の授業に活かす。

【使用テキスト】

「保育所保育指針解説」(厚生労働省編 フレーベル館)

【参考図書】

授業内にて、適宜資料を配布する。

「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領」

【学生へのメッセージ】

・子どもたちの言葉を育む保育士としての資質能力を育成する学修です。自身が言葉の担い手としてのモデルとなることを意識して

学修に臨んでください。

- ・幼稚園教諭、保育士の資格取得のための必修科目であるため、授業態度や提出物の評価を重視します。
- ・学修したことを実際の保育実習や幼稚園実習等ですぐに生かせるよう意識して学修しましょう。

回	授 業 概 要
1	オリエンテーション:学修内容を理解し、見通しをもち、「言葉」について考える
2	「言葉」を中心に幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定子ども園教育・保育要領の改定点とこれから の幼児教育・保育の方向性について理解する
3	領域「言葉」の目的・内容について理解する
4	言葉を育む乳児保育について理解する
5	言葉を育む1歳以上3歳未満児の保育について理解する
6	言葉を育む3歳以上児の保育について理解する
7	乳幼児を取り巻く言語環境について考える
8	乳幼児に言葉を育む場面指導について考える
9	言葉が育つ環境条件と言葉を育むための教師の援助について考える
10	言葉を育む保育教材「絵本」の教材研究をビブリオバトルの手法を用いて行う
11	保育指導案の作成の仕方を理解する
12	ビブリオバトルで選んだ絵本の読み聞かせと言葉遊びを盛り込んだ保育指導案を作成する
13	絵本の読み聞かせの仕方を理解し、保育指導案を基に模擬保育を行う
14	言葉を育む上で小幼の連携について考える
15	本学修の振り返りと学修のまとめ

;	科目区分	専門教育科	専門教育科目 科目分類 専門科目(内容·方法)		科目番号		BO312B1				
1	授業科目	子どもと人間関係						担当教員		清水 一毅	
J	履修年次	開講時期	単位数	E	時間	授業形態	쟉	工業要件		加2種免	保育士
	1年	前期	1		30	演習	必修			必修	必修

領域「人間関係」の指導の基盤となる、幼児の人と関わる力の育ちに関する専門的事項についての知識を身に付ける。

(授業の概要)

3法令改定の要点を抑えることで3法令の趣旨の理解、さらに「5領域」について知ることでそれぞれの意義やねらい、内容と領域「人間関係」の関連性についての理解を図る。

(授業の到達目標)

- ・幼児を取り巻く人間関係の現代的課題を理解する。
- ・幼児期の人間関係の発達について、幼稚園・保育所生活における関係発達論的視点から理解する。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定·学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

定期試験(70%) 課題提出(30%) 計100%

【準備学習(予習・復習等)】

予習:テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う。(30分) 復習:配布プリントなどにより、授業内容について確認する。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は、添削のうえ返却する。

【使用テキスト】

「演習 保育内容 人間関係-基礎的事項の理解と指導法-」田代和美・榎本眞実 建帛社

【参考図書】

「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領」「ここが変わった 3法令改訂(定)の要点とこれからの保育」無藤隆 チャイルド本社「マンガでわかる 保育所保育指針」浅井拓久也 中央法規

【学生へのメッセージ】

授業中は受動的に話を聞くだけでなく、能動的に自分の中で考えながら受講して下さい。

回	授 業 概 要
1	オリエンテーション 3法令とは
2	3法令について 改定の要点
3	保育内容とは 10の姿と3つの柱そして5領域
4	領域「人間関係」について 人間関係とは何か
5	子どもの人間関係の基礎 愛着関係について
6	乳幼児の発達と人間関係 乳児保育の人間関係
7	幼児の発達と人間関係 1歳~3歳未満児保育の人間関係①
8	幼児の発達と人間関係 1歳~3歳未満児保育の人間関係②
9	幼児の発達と人間関係 3歳以上児保育の人間関係①
10	幼児の発達と人間関係 3歳以上児保育の人間関係②
11	遊びの発達と人間関係①
12	遊びの発達と人間関係②
13	子どもの育ちを支える保育士同士、保育士と保護者の人間関係のポイント
14	幼児教育の現代的課題と領域「人間関係」
15	まとめ

	科目区分	専門教育科目 科目分類 専門科目(内容·方法)		科目番号		BO313B1					
	授業科目		子どもと表現					担当教員		田川 智	美 三井正人
Ī	履修年次	開講時期	単位数	В	寺間	授業形態	卒	三業要件	幺	加2種免	保育士
	1年	前期	1		30	演習		必修		必修	必修

領域「表現」の指導に関する、幼児の表現の姿やその発達及びそれを促す要因、幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などの専門的知識・技能、表現力を身に付ける。

(授業の概要)

領域「表現」について子どもの表現の特性、意義やねらい、留意点を理解し、保育実践に向けて活動展開や指導法を 学ぶ。

(授業の到達目標)

- ・幼児の表現の姿や、その発達を理解する。
- ・身体・造形・音楽表現などの様々な表現の基礎的な知識・技能を学ぶことを通し、幼児の表現を支えるための感性を豊かにする。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定·学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

定期試験(70%) 課題提出・発表(30%) 計(100%)

【準備学習(予習・復習等)】

「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領」をよく読んで、新教育要領の趣旨を理解しておくいてください。また指導計画案の立案などに関しては各自が授業時間外に作成することがあります。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

作成した指導案の提出。添削後再提出

【使用テキスト】

「こどもの歌ベストテン」ドレミ楽譜(田川)

「コンパス 保育内容 表現」建帛社 独自印刷資料(三井)

【参考図書】

「ダルクローズシステムによる リトミック指導1.2.3」全音楽譜出版社 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領」

【学生へのメッセージ】

子どもは日常の生活の中で出会う自然や季節、行事などを通して新鮮な驚きや感動を経験します。そしてその思いを 声に出して歌ってみたり、絵に描いたり、踊ったりして表現します。子どもたちの様々な思いを素直に表現するために はどんな環境や指導が必要か学ぶのが、この授業です。

回	授 業 概 要
1	子ども期の音楽表現の特性と領域「表現」について(田川)
2	子どもの遊びや生活に見られる音楽表現 わらべ歌(田川)
3	歌による音楽表現①(生活・季節のうた) リズム表現(田川)
4	歌による音楽表現②(生活・季節のうた) 音楽表現遊び(田川)
5	音楽表現に関する指導案の立案(田川)
6	子ども期の身体表現の特性と領域「表現」について(田川)
7	イメージと動き リズムに合わせた表現(歩く、走る、回る、振る、弾む)(田川)
8	音楽に合わせた表現(スキップ、ツーステップ等リズミカルな動作の習得)(田川)
9	身体表現遊び「〇〇〇になってみよう」(田川)
10	身体表現に関する指導案の立案(田川)
11	造形表現の特性 幼児の造形表現とは 発達過程と発達理論(三井)
12	幼児の造形表現とは 基礎的な造形教育理論と教育要領表現領域の理解(三井)
13	造形表現に関する指導案の立案(三井)
14	教材/指導案 デカルコマニー、スクラッチ グループごとに研究・模擬授業(三井)
15	教材/指導案 スライム、小麦粉粘土、紙コップを使った教材 グループごとに研究・模擬授業(三井)

科目区分	専門教育科	目 科目	科目分類 専門科目(内容·方法)		科目番号		NT314A2			
授業科目	乳児保育 [担当教員		教員 井上 聖子		
履修年次	開講時期	単位数	時	間	授業形態	쟉	△業要件	業要件		保育士
1年	後期	2	30	0	講義	講義			_	必修

3歳児未満の子どもの健やかな成長を支える保育者のかかわりは、0歳児からの長時間保育において重要である。そのため乳児がおかれている現状と課題を把握し、乳児保育の役割や機能、3歳児未満の子どもの発育、発達を理解し、乳児保育の基本的な知識や技術を身に付けることを目的とする。

(授業の概要)

乳児保育の意義・目的と役割、歴史的変遷を理解した上で、現状での課題について検討する。また3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育について、事例やグループワークなどを行い理解を深める。

(授業の到達目標)

- •「乳児保育」の意義と役割、そして課題等について理解する
- ・3歳未満児の発育・発達を踏まえ、健やかに成長するための生活と遊びについ理解する。
- •「乳児保育」における保護者や関係期間との連携について理解する。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定·学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

発表 30% 定期試験 70%

【準備学習(予習・復習等)】

予習:事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること。(30分)

復習:授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること。(30分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は、添削のうえ返却する。試験は、解答を公表する。

【使用テキスト】

講義で学ぶ 乳児保育 小山朝子 編 わかば社

【参考図書】

発達のサインが見えるともっと楽しい 0.1.2さい児の遊びとくらし 鈴木八朗 編著 汐見稔幸 監修 メイト 40のサインでわかる乳幼児の発達—0.1.2歳児が生活面で自立する保育の進め方ー くらき永田保育園監修 鈴木八朗 著 黎明書房

【学生へのメッセージ】

授業以外にも、周りの乳児に目を向け、理解を深めて下さい。

回	授 業 概 要
1	乳児保育の意義・目的・歴史的変遷委ついて
2	乳児保育の役割と機能について
3	乳児保育の現状と課題 (1)保育所における乳児保育 (2)乳児院における乳児保育
4	乳児保育の現状と課題 (3)家庭的保育等における乳児保育 (4)乳児や家庭を取り巻く環境と子育て支援
5	3歳児未満の発達と保育内容 (1)乳児保育における基本的な援助やかかわり
6	3歳児未満の発達と保育内容 (2)6か月未満児の発達と保育内容
7	3歳児未満の発達と保育内容 (3)6か月から1歳3か月未満児の発達と保育内容
8	3歳児未満の発達と保育内容 (4)1歳3か月から2歳未満児の発達と保育内容
9	3歳児未満の発達と保育内容 (5)2歳児の発達と保育内容
10	乳児保育於計画と記録と評価について
11	乳児保育の環境構成について
12	乳児保育における保育者の役割について
13	乳児保育における連携 (1)保護者との連携
14	乳児保育における連携 (2)保健・医療機関、家庭的保育、地域子育て支援等との連携
15	乳児保育の総合理解

科目区分	専門教育科	目 科目	分類	専門科目(内容·方法)		科目番号		NT315B2				
授業科目		担当教	川	川村	けめぐみ							
履修年次	開講時期	単位数	時間	亅	授業形態	卒	工業要件		加2種免	保育士		
2年	前期	1	30)	演習		選択		選択		_	必修

近年の国内外の実践や研究の結果、子どもの人生の出発点である乳児期における経験の質の重要性が見直さている。

乳児保育 I での学びを踏まえ、保育の方法や環境について具体的に理解する。

(授業の概要)

①乳児保育の基本 ②乳児保育における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びについて ③乳児保育における配慮の実際 ④乳児保育における計画の実際 を理解し具体的な指導計画を立案する。

(授業の到達目標)

- 「乳児保育」の養護と教育の一体性を踏まえた保育の方法や環境について具体的に理解する。
- ・3歳未満児の発育・発達を踏まえた援助やかかわりについて理解する。
- •「乳児保育」における計画の作成について具体的に理解する。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

【評価方法】

授業の取り組み・レポート 50% 定期試験 50%

【準備学習(予習・復習等)】

事前:指定された教科書の項目および提示内容について、概要整理を行い授業時に持参する。(30~60分)

事後:提示された内容について確認・課題を提出。(30分~60分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

授業中の課題レポートについては、添削し、返却する。課題、レポート、定期試験の結果を総合的に評価する。

【使用テキスト】

新時代の保育双書 乳児保育「第3版] 大橋喜美子 編 みらい 保育所保育指針解説 厚生労働省編 平成30年 フレーベル館

【参考図書】

発達のサインが見えるともっと楽しい 0.1.2さい児の遊びとくらし 鈴木八朗 編著 汐見稔幸 監修 メイト 40のサインでわかる乳幼児の発達—0.1.2歳児が生活面で自立する保育の進め方 くらき永田保育園監修 鈴木八朗 著 黎明書房

【学生へのメッセージ】

保育実習での観察・体験を授業にいかし、具体的な指導計画が立案できる力をつけましょう。

回		授 業 概 要
	事前学習	シラバス・1年次の学びの復習
1	学習内容	乳児保育の基本:子どもと保育士などとの関係の重要性
F	事後学習	授業内容から提示する。(次回提出)
Ì	事前学習	保育所保育指針、乳児と1歳以上3歳未満児の保育内容の確認
2	学習内容	個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的な関わり
	事後学習	授業内容から提示する。(次回提出)
	事前学習	配布テキストの事前課題の概要確認
3	学習内容	子どもの主体性の尊重と自己の育ち
	事後学習	授業内容から提示する。(次回提出)
	事前学習	配布テキストの事前課題の概要確認
4	学習内容	子どもの体験と学びの芽生え
	事後学習	授業内容から提示する。(次回提出)
L	事前学習	配布テキストの事前課題の概要確認
5	学習内容	子どもの1日の生活の流れと保育の環境
	事後学習	授業内容から提示する。(次回提出)
L	事前学習	配布テキストの事前課題の概要確認
6	学習内容	子どもの生活や遊びを支える環境の構成
	事後学習	授業内容から提示する。(次回提出)
_	事前学習	配布テキストの事前課題の概要確認
⁷	学習内容	3歳未満児の発育・発達を踏まえた生活と援助の実際
	事後学習	授業内容から提示する。(次回提出)
<u>,</u> -	事前学習	配布テキストの事前課題の概要確認
8	学習内容	3歳未満児の発育・発達を踏まえた遊びと援助の実際
<u> </u>	事後学習	授業内容から提示する。(次回提出) 配布テキストの事前課題の概要確認
9	事前学習 学習内容	正布ナキストの争削 味趣の 概要 唯総 子ども同士の関わりとその援助の実際
* -	 事後学習	ザとも向上の関わりとその援助の美術 授業内容から提示する。(次回提出)
+	事例学習	配布テキストの事前課題の概要確認
10		子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮
```	事後学習	授業内容から提示する。(次回提出)
	事前学習	配布テキストの事前課題の概要確認
11		集団での生活における配慮
F	事後学習	授業内容から提示する。(次回提出)
	事前学習	配布テキストの事前課題の概要確認
12	学習内容	環境の変化や移行に対する配慮
	事後学習	授業内容から提示する。(次回提出)
	事前学習	配布テキストの事前課題の概要確認
13	学習内容	長期的な指導計画と短期的な指導計画
	事後学習	授業内容から提示する。(次回提出)
	事前学習	配布テキストの事前課題の概要確認
14	学習内容	個別的な指導計画と集団の指導計画
	事後学習	授業内容から提示する。(次回提出)
	事前学習	ここまでの学びと自己課題を整理し、授業時に持参する。
15	学習内容	学習の整理とまとめ
	事後学習	授業内容から提示する。(指定日に提出)

科目区分	専門教育科目		科目分	類 専門	専門科目(内容·方法)		科目番号		NT316B2			
授業科目		担当教員		出口	コ 千絵							
履修年次	開講時期	単位	数	時間	授業形態	쟉	S業要件 4		加2種免	保育士		
2年	後期	1		30	演習		選択		選択 -			必修

子どもの保健管理、保健指導の基本と実際について理解し、さらに技術を習得して、教育・保育現場において子どもの保健管理・指導が担えるような能力を培う。また保健活動を体験的に学び、地域と連携しながら教育実践・保育実践に活かそうとする態度を身につける。

#### (授業の概要)

教育・保育現場における子どもの保健管理、保健指導について、子どもの保健の学習内容を踏まえながら、より深く具体的に理解させる授業内容とする。子どもの健康と安全に関する計画、活動の実際を体験的に学習したうえで、子どもの保健管理、保健指導の技術を身につけさせる。(本演習は、看護師の実務家活動を基に行われる。)

#### (授業の到達目標)

- 1. 保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する
- 2. 保育における衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策について具体的に理解する
- 3. 子どもの体調不良等に対する適切な対応について、具体的に理解する
- 4. 関連するガイドラインや近年のデータ等を踏まえ、保育における感染症対策について具体的に理解する
- 5. 保育における保健的対応の基本的な考え方を踏まえ、子どもの発達や状態等に即した適切な対応について、具体的に理解する6. 子どもの健康及び安全の管理の関わる、組織的取り組みや保健活動の計画及び評価等について、 具体的に理解する

### (卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身に着けていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身に着けていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

## 【評価方法】

定期テスト(50%) 学習マナー(50%) 計100%

### 【準備学習(予習・復習等)】

事前:テキストを利用した予習を行い、授業中に質問や発言ができるようにすること。(30分)

事後:配布資料を利用した復習を行い、知識を確実にすること。(30分)

## 【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題に対して、授業内で解説を行う。

# 【使用テキスト】

鈴木美枝子編者『子どもの保健Ⅱ』(創成社)

### 【参考図書】

松田博雄、金森美恵編集『子どもの健康と安全』(中央法規) 榊原洋一監修 小林美由紀執筆 『子どもの保健演習ノート』(診断と治療社)

## 【学生へのメッセージ】

保健活動の実際を体験的に学びます。実際の保育ですぐに活用できる技術を身につけることを目指して積極的に取り組みましょう。

▣	授 業 概 要
1	オリエンテーション(授業計画) 子どもの健康と保育の環境・保育における保健的対応の基本的な考え方
2	子どもの発達援助と養護技術(1)乳児の抱き方背負い方
3	子どもの発達援助と養護技術(2)排泄のさせ方
4	子どもの発達援助と養護技術(3)沐浴と衣服の着脱
5	子どもの健康と保育の環境(1)子どもの健康増進と環境
6	子どもの健康と保育の環境(2)子どもの生活習慣と環境
7	子どもの健康と保育の環境(3)子どもの発達援助と環境
8	保育における健康および安全の管理 ①衛生管理②事故防止および安全対策③危機管理④災害への備え
9	子どもの体調不良等に対する適切な対応(1)体調不良や傷害が発生した場合の対応
10	子どもの体調不良等に対する適切な対応(2)応急処置・救急蘇生法
11	感染症対策(1)感染症の集団発生の予防
12	感染症対策(2)感染症発生時と罹患後の対応
13	個別的な配慮を要する子どもへの対応(慢性疾患・アレルギー性疾患等)
14	障害のある子どもへの対応
15	保育における保健活動の計画・評価 家庭・専門機関・地域の関係機関等との連携

科目区分	専門教育科目 科目分類 専門科目(内容·方法)		(,	科目番号		BO317B1				
授業科目	特別支援教育				<b>5</b> 論			員 清水 健		水健
履修年次	開講時期	単位数	Б	時間	授業形態	쟉	△業要件	幺	加2種免	保育士
2年	後期	2		30	演習		必修		必修	必修

一般の保育・教育と障害児保育・教育との連続性から、様々な障害についての理解を促し、一人一人発達上の課題に対して特別な保育ニーズと支援を学び、保護者を中心とした支援の内容に関して理解を深める。

# (授業の概要)

特別な支援を必要とする幼児への保育について、理念や歴史的変遷について学び、特別な支援を必要とする幼児及びその保育について理解する。また、様々な障害や教育的ニーズについて理解し、子どもの理解や援助の方法、環境構成、障害のある子どもや特別な教育的ニーズのある子どもの保育の計画等についての学びを通して個別支援及び他の子どもとのかかわりのなかで育ち合う保育実践について理解を深める。

## (授業の到達目標)

- 特別な支援を必要とする幼児への保育についての理念や歴史的変遷、様々な障害について理解する。
- 特別な支援を必要とする幼児の理解や援助の方法、保育の計画等、個別支援について理解する。

# (卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

# 【評価方法】

レポート試験(30%) 演習課題(30%) 演習発表(40%) 計100%

# 【準備学習(予習・復習等)】

事前:予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする。(30分)

事後:ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る。(30分)

# 【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

演習課題については、演習発表時に解説を通してフィードバックする。試験については、解説を公表する。

### 【使用テキスト】

「実践に生かす障害児保育・特別支援教育」前田康弘編著 萌文書林

### 【参考図書】

「保育者のための障害児保育-理解と実践」尾野明美編著 萌文書林「キーワードで学ぶ障害児保育入門」七木田敦編著 保育出版社

# 【学生へのメッセージ】

演習課題・演習発表での取り組みが重要であることを理解し、必要な準備を怠らないよう留意すること。

回	授 業 概 要
1	障害の捉え方 – ノーマライゼーションとICF・障害の捉え方と支援 –
2	障害児保育・教育の歴史的視点-障害観と処遇の歴史・障害児保育の歴史-
3	障害児の発達とアセスメントー心身の発達と障害児の発達特徴・アセスメントの理解ー
4	保育・療育機関などにおける障害児保育の展開ー就学前の保育の場・障害児保育の形態と実践ー
5	個別の教育支援計画等、保育の計画作成と実施ー「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」の理解ー
6	障害の理解と保育における発達の援助①ー視覚障害の理解ー
7	障害の理解と保育における発達の援助②一聴覚障害の理解一
8	障害の理解と保育における発達の援助③一肢体不自由の理解一
9	障害の理解と保育における発達の援助④一知的障害の理解一
10	障害の理解と保育における発達の援助⑤ー自閉症スペクトラム障害の理解ー
11	障害の理解と保育における発達の援助⑥一注意欠陥・多動性障害の理解-
12	障害の理解と保育における発達の援助⑦ー学習障害の理解ー
13	さまざまな障害の理解と個別的配慮ーその他特別な支援を必要とする幼児の理解ー
14	家庭への支援-家庭との協力、支援の場の広がりとつながり-
15	まとめ一授業の到達目標を踏まえた演習の振り返り一

科目区分	専門教育科目		専門教育科目		科目分類専門		専門和	専門科目(内容·方法)		科目番号		NT318B2	
授業科目		社会的養護Ⅱ						担当教	į	清	水 健		
履修年次	開講時期	単位	立数	時	間	授業形態	卒	<b>空業要件</b>	幺	加2種免	保育士		
2年	後期	1	1	3	30	演習		選択			必修		

- 1. 社会的養護における児童の権利擁護や支援者としての倫理を理解する。
- 2. 施設ごとの支援の内容を検討する中で、支援内容を具体的に学ぶ。
- 3. 社会的養護にかかわる支援の技法について理解する。

# (授業の概要)

社会的擁護を通して社会福祉や家庭支援などについての見識を深めるとともに、児童の権利や職員としての倫理を学ぶ。また、一人ひとりの児童に応じた個別支援計画や実際の支援内容についても学ぶ。さらに、社会的養護にかかわるソーシャルワークの技法について理解する。

# (授業の到達目標)

- ・1年次の「社会的養護 I」で学んだ知識をさらに深める。
- ・社会的養護の現状について理解する。
- ・家庭養護の現状について理解する。

#### (卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

# 【評価方法】

定期試験(80%)、学習マナー(20%) 計100%

## 【準備学習(予習・復習等)】

事前:テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う。(30分) 事後:配布プリントなどにより、授業内容について確認する。(30分)

# 【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

定期試験について、試験後解説を行う。

# 【使用テキスト】

授業内で指定する。

# 【参考図書】

『社会的養護 I·Ⅱ』 谷口純世·加藤洋子·志濃原阿美 編著 光生館

# 【学生へのメッセージ】

授業時には必ず、教科書と既に配布したプリントを持参すること。

回	授 業 概 要
1	社会的養護における子どもの理解
2	日常生活支援とは何か
3	治療的支援とは何か
4	自立支援とは何か
5	社会的養護の実際 I (児童養護施設・乳児院)
6	社会的養護の実際Ⅱ(児童自立支援施設・児童心理治療施設)
7	社会的養護の実際Ⅲ(母子生活支援施設・障害児施設)
8	社会的養護の実際Ⅳ(家庭養護)
9	アセスメントと自立支援計画の作成
10	社会的養護における記録
11	社会的養護における自己評価
12	保育の専門性にかかわる知識・技術とその実践
13	社会的養護にかかわる相談援助の知識・技術とその実践
14	社会的養護における家庭支援
15	まとめ

科目区分	専門教育科目 科目分類 専門科		分類 専門科目(内容·方法) 科目番号   ]		科目番号		NT	`319B2	
授業科目	子育て支援					担当教員		吉田	百加利
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	Z	产業要件	幺	加2種免	保育士
2年	後期	1	30	演習		選択		_	必修

現代社会において地域の子育て支援が必要とされる背景を理解し、子育てを支援するための政策・制度及び具体的な地域活動の現状と問題点について学ぶ。

# (授業の概要)

保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援について、その特性と展開を具体的に理解する。また、保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解する。

#### (授業の到達目標)

- ・現代社会における子育ての現状と課題、子育て支援の意義と必要性を理解する。
- ・支援者の役割を理解し、支援に求められる知識と技術を修得する。

# (卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定·学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

# 【評価方法】

課題・発表(反省点や展開の工夫、実践発表)50% 学習マナー(練習)50% 計100%

### 【準備学習(予習・復習等)】

事前:日頃から子育てに関するニュースや新聞記事などに留意し、情報収集や資料整理に努める。(30分) 事後:授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図ること。(30分)

# 【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は、添削のうえ返却する。試験は、解答を公表する。

# 【使用テキスト】

子育て支援 (中山書店)

#### 【参考図書】

「・・・育つ・つながる・・・子育て支援 具体的な技術・態度を身につける32のリスト」 子育て支援コンピテンシー研究会/編著 チャイルド本社

## 【学生へのメッセージ】

自分の住んでいる地域の子育て支援に興味を持ちましょう。また、子育て支援現場のボランティアに参加して、保護者との交流等を通して様々な視点から子育てについて考える機会を持ちましょう。

回	授 業 概 要
1	オリエンテーション(授業内容の説明)
2	子育て支援とは
3	妊娠・出産・乳幼児期・小学生期の支援①
4	妊娠・出産・乳幼児期・小学生期の支援②
5	幼稚園による子育て支援
6	保育園による子育て支援
7	児童館・保健センターによる子育て支援
8	NPO の取り組み
9	地域の子育て支援の現状①—育児不安の原因と対応
10	地域の子育て支援の現状②—母親以外の育児参加
11	保育相談支援の意義
12	保育相談支援の基本
13	保育相談支援の実践
14	世界の子育て支援を知る
15	まとめ

科目区分	専門教育科目 科目分類 専門科目(内容·方法)		科目番号		NT	`320B2				
授業科目	美術表現						担当教員		員 三井 正人	
履修年次	開講時期	単位数	時間	1	授業形態	즉	工業要件	幺	加2種免	保育士
2年	後期	1	30		演習		選択		_	選択必修

1年時基礎造形で学習した教材研究や指導案、模擬授業の学習を基礎に、より実践的、専門的なスキルアップを目指す。また美術の楽しさを知り、造形教育指導の視野を広げるため、教育・保育・ボランティアなどの現場で実際に子どもたちに指導を行い、問題点を洗い出し、本番の教育・保育実習での実践につなげられるようにする。

#### (授業の概要)

幼児が楽しみながらおこなえる造形遊びを研究しながら、基礎造形で学習した幼児の発達状況、基礎的な教育理論を 再確認する。また指導案を作成するとともに、実践的な模擬授業を通して造形遊びの具体的な環境構成や教材研究を 学習する。また美術館等での校外授業を行い、美術表現を広い視野で捉える。

#### (授業の到達目標)

・1年時基礎造形で学習した教材研究や指導案、模擬授業の学習を基礎に、より実践的、専門的なスキルアップを目指す。また美術の楽しさを知り、造形教育指導の視野を広げるため、教育・保育・ボランティアなどの現場で実際に子どもたちに指導を行い、問題点を洗い出し、本番の教育・保育実習での実践につなげられるようにする。

# (卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

#### 【評価方法】

指導計画案作成•提出(50%)実践発表(50%) 計100%

# 【準備学習(予習・復習等)】

予習:子どもとの製作・発表に備え、準備を行う。(30分)

復習:実践後反省し計画を見直す。(30分)

# 【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題発表後は、意見交換し、教員のアドバイスを参考に発表を見直す。

# 【使用テキスト】

コンパス 保育内容 表現 建帛社

# 【参考図書】

「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」その他インターネットによる検索

# 【学生へのメッセージ】

1年時の保育の表現技術(造形)をもとに、講義科目ではありますが、実践的な授業になります。 学外発表、学外授業については、現地までの移動や美術館入館料などの実費がかかる場合があります。

# 授業計画

- 1 オリエンテーション ①授業の目的と内容の説明 ②課題説明
- 2 幼児の造形活動A 幼児に造形遊びを教授するにあたって
- 2 ①身体発達と造形遊び ②言語発達と造形遊び
- 3 ③導入・展開 ④実習における指導案でのポイント
- 4 ⑤言葉かけ・指導 ⑥展開・まとめ
- 5 幼児の造形活動B 5~6名のグループにわかれて立体教材の指導研究及び指導案作成・模擬授業の実施、反省 ①教材研究 魚釣りゲーム、ルール・発展
- 6 ②教材研究 グループごとに計画 展示・発展 ゲーム
- 7 3教材研究 グループごとに展示・発展
- 8 4教材研究 グループごとに 展示・発展
- 9 5 教材研究 グループごとを使って遊ぶ 集団、遊び、ルール・展開
- 11 ②子どもと造形活動 製作
- 12 ③子どもと造形活動 発表
- 13 ④子どもと造形活動 反省
- 14 幼児の造形遊び・指導のまとめ 幼稚園にて発表した指導研究及び指導案作成・模擬授業の反省
- 15 まとめ

科目区分	専門教育科	目   科目	専門科目(内容·方法)			科目番	号	BO321B1		
授業科目		保育	究 I		担当教員			三井正人		
履修年次	開講時期	単位数	B	寺間	授業形態	쭈	卒業要件		力2種免	保育士
1年	通年	2		60	演習		必修		必修	必修

保育所指針、教育要領、発達の様子を踏まえて保育実践のための特に表現領域の造形製作(平面・立体造形)における 教材開発の能力と技術を身につける。

# (授業の概要)

子どものあそびには、子どもの成長や発達にとって大きな役割を果たす体験が多く含まれている。保育者には、子どもの成長や発達段階を捉え、具体的な計画のもとにその更なる成長・発達を促す保育活動を展開する「保育技術」が求められる。「保育技術研究」では、保育に関する自発的、科目横断的な学習能力を習得させ、これまでに学んだ知識を基にして保育実践のための計画、教材研究、実践的活動を行い、これを通して保育活動を展開するために必要な知識・技術を習得させる。

# (授業の到達目標)

人形劇(15分程度の)マリオネットの人形製作、舞台製作、発表

#### (卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身に着けていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身に着けていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

# 【評価方法】

製作状況の評価。発表時の積極性。(100%)

#### 【準備学習(予習・復習等)】

予習:人形作り、舞台づくりは授業では作り方の検討。授業外で製作。発表の際の準備。(30分) 復習:発表して演じたのちにビデオで撮影し、より良くするためにはどうすべきか話し合う。(30分)

# 【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

発表後の意見交換を通して改善点を見出しアドバイスする。

#### 【使用テキスト】

インターネットでの物語検索、決定。人形作り、舞台づくりについて先輩他の人形劇の映像を参考に学習。

#### 【参考図書】

人形や舞台づくりの実際を近隣のマリオネットを公演している絵本村に見学に行く。

# 【学生へのメッセージ】

人形作りでは1つ1つ課題を、乗り越えて造形活動から効果的な表現にいたる流れを学習します。また子どもたちに発表し子どもたちに見てもらう喜びを体験しよう。

回	授 業 概 要
1	ガイダンス 課題(劇づくり)の決定
2	内容の検討 昔話、絵本などからストーリーを選ぶ
3	内容の決定 ストーリーと劇内容の決定決
4	役割分担(舞台づくり、背景製作、人形製作、小道具)、台本作り 演じる場所の決定
5	製作①原案検討 子どもの招待(保育園、幼稚園、施設)
6	製作②原案決定
7	製作③材料購入
8	製作④製材・加工
9	製作⑤製材・加工
10	製作④製材・加工
11	製作⑤製材・加工
12	製作⑥加工・着色
13	製作⑦加工·着色
14	製作⑧組立・完成
15	製作終了 完成品提出
16	役者、音響、ライトを交互に担当
17	役割に分かれて練習 人形、場面設定 声だし 音楽の検討①
18	役割に分かれて練習 人形、場面設定 声だし 音楽の検討②
19	役割に分かれて練習 人形、場面設定 声だし 音楽の検討③
20	役割に分かれて練習 人形、場面設定 声だし 音楽の検討④
21	全体練習① 導入の検討 手遊び 司会進行
22	全体練習② 導入手遊び決定
23	全体練習③ 効果的なライト 効果音
24	全体練習④
25	全体練習⑤
26	発表準備⑥
27	発表
28	片づけ
29	ビデオ撮影 意見交換
30	まとめ

科目区分	専門教育科	]教育科目 科目分類			専門科目(内容・方法)			号	BO321B1		
授業科目		保育	究 I			担当教	員	吉田 百加利			
履修年次	開講時期	単位数	田	寺間	授業形態	주	卒業要件		力2種免	保育士	
1年	通年	2		60	演習		必修		必修	必修	

子どものあそびには、子どもの成長や発達にとって大きな役割を果たす体験が多く含まれている。保育者には、子どもの成長や発達段階を捉え、具体的な計画のもとにその更なる成長・発達を促す保育活動を展開する「保育技術」が求められる。「保育技術研究」では、保育に関する自発的、科目横断的な学習能力を習得させ、これまでに学んだ知識を基にして保育実践のための計画、教材研究、実践的活動を行い、これを通して保育活動を展開するために必要な知識・技術を習得させる。

#### (授業の概要)

子どもの発達を踏まえ、パネル型シアターの製作や演示、子どもとの遊び、年中行事への理解を通して保育実践のための技術の修得を目指す。

## (授業の到達目標)

- ・保育技術に関して理解を深める。
- ・子どもの発達に応じた遊びとその工夫を身につける。
- ・年中行事と環境設定への理解を深める。

# (卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定·学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

# 【評価方法】

発表40% 学習マナー60% 計100%

# 【準備学習(予習・復習等)】

事前:次回のテーマに向けて工夫点を考え、授業時に理解を深められるようにする。(30分)

事後:授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること。(30分)

# 【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は添削のうえ返却する。発表作品は映像等を活用し、相互に評価したあと担当が総括する。

# 【使用テキスト】

必要に応じて提示、配布

# 【参考図書】

「実習に役立つパネルシアターハンドブック」 古宇田亮順 萌文書林

# 【学生へのメッセージ】

自ら学ぶ姿勢を期待します。

1 オリエンテーション 2 パネル型シアター随材選び① 3 パネル型シアター観材選び② 4 パネル型シアター製作② 6 パネル型シアター製作③ 7 パネル型シアター製作⑤ 9 パネル型シアター製作⑥ 10 パネル型シアター製作⑥ 11 パネル型シアター製作⑥ 12 パネル型シアター製作⑥ 12 パネル型シアター製作⑥ 13 パネル型シアター製作⑥ 14 シナリオ作成② 5 ナリオ作成② 7 子どもとの遊び② 7 子どもとの遊び② 7 子どもとの遊び③ 20 パネル型シアター演示練習③ 21 パネル型シアター演示練習③ 22 パネル型シアター演示練習③ 23 パネル型シアター演示練習④ 24 発表 25 発表の反省、課題 年中行事 寮 年中行事 寮 年中行事 教 29 年中行事 冬		授 業 概 要
3 パネル型シアター題材選び② 4 パネル型シアター製作① 5 パネル型シアター製作② 6 パネル型シアター製作③ 7 パネル型シアター製作⑤ 9 パネル型シアター製作⑥ 10 パネル型シアター製作⑥ 11 パネル型シアター製作⑥ 11 パネル型シアター製作⑥ 12 パネル型シアター製作⑥ 13 パネル型シアター製作⑥ 14 シナリオ作成① 15 シナリオ作成② 16 シナリオ作成② 17 子どもとの遊び② 19 子どもとの遊び② 19 子どもとの遊び③ 20 パネル型シアター演示練習① 21 パネル型シアター演示練習② 22 パネル型シアター演示練習③ 23 パネル型シアター演示練習③ 24 発表 25 発表の反省、課題 26 年中行事 春 27 年中行事 夏 28 年中行事 教 29 年中行事 冬	1	オリエンテーション
4 パネル型シアター製作① 5 パネル型シアター製作② 6 パネル型シアター製作③ 7 パネル型シアター製作⑤ 9 パネル型シアター製作⑥ 10 パネル型シアター製作⑥ 11 パネル型シアター製作⑥ 12 パネル型シアター製作⑥ 13 パネル型シアター製作⑥ 14 シナリオ作成② 15 シナリオ作成② 17 子どもとの遊び① 18 子どもとの遊び① 19 子どもとの遊び③ 20 パネル型シアター演示練習① 21 パネル型シアター演示練習② 22 パネル型シアター演示練習② 23 パネル型シアター演示練習③ 24 発表 25 発表の反省、課題 年中行事 奏 29 年中行事 奏	2	パネル型シアター題材選び①
5 パネル型シアター製作② 6 パネル型シアター製作③ 7 パネル型シアター製作③ 8 パネル型シアター製作⑤ 9 パネル型シアター製作⑥ 10 パネル型シアター製作⑥ 11 パネル型シアター製作⑥ 12 パネル型シアター製作⑥ 13 パネル型シアター製作⑥ 14 シナリオ作成① 15 シナリオ作成② 16 シナリオ作成③ 17 子どもとの遊び① 18 子どもとの遊び② 19 子どもとの遊び③ 20 パネル型シアター演示練習① 21 パネル型シアター演示練習② 22 パネル型シアター演示練習③ 23 パネル型シアター演示練習③ 24 発表 25 発表の反省、課題 26 年中行事 春 27 年中行事 夏 28 年中行事 教	3	パネル型シアター題材選び②
6 バネル型シアター製作④ 8 バネル型シアター製作⑤ 9 バネル型シアター製作⑥ 10 バネル型シアター製作⑥ 11 パネル型シアター製作⑥ 12 バネル型シアター製作⑥ 13 バネル型シアター製作⑩ 14 シナリオ作成⑦ 15 シナリオ作成② 16 シナリオ作成② 17 子どもとの遊び⑦ 18 子どもとの遊び② 19 子どもとの遊び③ 20 バネル型シアター演示練習① 21 バネル型シアター演示練習② 22 バネル型シアター演示練習② 23 バネル型シアター演示練習④ 24 発表 25 発表の反省、課題 26 年中行事 春 27 年中行事 夏 28 年中行事 冬	4	パネル型シアター製作①
7 パネル型シアター製作④ 8 パネル型シアター製作⑥ 9 パネル型シアター製作⑥ 10 パネル型シアター製作⑦ 11 パネル型シアター製作③ 12 パネル型シアター製作③ 13 パネル型シアター製作⑪ 14 シナリオ作成① 15 シナリオ作成② 16 シナリオ作成③ 17 子どもとの遊び① 18 子どもとの遊び② 19 子どもとの遊び③ 20 パネル型シアター演示練習① 21 パネル型シアター演示練習② 22 パネル型シアター演示練習③ 23 パネル型シアター演示練習③ 24 発表 25 発表の反省、課題 26 年中行事 夏 27 年中行事 夏 28 年中行事 教	5	パネル型シアター製作②
8 パネル型シアター製作⑤ 9 パネル型シアター製作⑥ 10 パネル型シアター製作⑥ 11 パネル型シアター製作⑥ 11 パネル型シアター製作⑥ 12 パネル型シアター製作⑥ 13 パネル型シアター製作⑥ 14 シナリオ作成⑦ 15 シナリオ作成② 16 シナリオ作成③ 7 子どもとの遊び① 17 子どもとの遊び② 19 子どもとの遊び② 19 子どもとの遊び③ 20 パネル型シアター演示練習① 21 パネル型シアター演示練習② 22 パネル型シアター演示練習③ 23 パネル型シアター演示練習③ 24 発表 25 発表の反省、課題 26 年中行事 春 27 年中行事 夏 28 年中行事 教 29 年中行事 冬	6	パネル型シアター製作③
9 パネル型シアター製作⑥ 10 パネル型シアター製作⑦ 11 パネル型シアター製作® 12 パネル型シアター製作® 13 パネル型シアター製作⑩ 14 シナリオ作成② 15 シナリオ作成② 16 シナリオ作成③ 17 子どもとの遊び① 18 子どもとの遊び③ 20 パネル型シアター演示練習① 21 パネル型シアター演示練習② 22 パネル型シアター演示練習② 22 パネル型シアター演示練習② 24 発表 25 発表の反省、課題 26 年中行事 春 27 年中行事 夏 28 年中行事 移	7	パネル型シアター製作④
10 パネル型シアター製作① 11 パネル型シアター製作③ 12 パネル型シアター製作④ 13 パネル型シアター製作⑩ 14 シナリオ作成① 15 シナリオ作成② 16 シナリオ作成③ 17 子どもとの遊び① 18 子どもとの遊び② 19 子どもとの遊び② 20 パネル型シアター演示練習① 21 パネル型シアター演示練習② 22 パネル型シアター演示練習② 23 パネル型シアター演示練習② 24 発表 25 発表の反省、課題 26 年中行事 春 27 年中行事 夏 28 年中行事 移	8	パネル型シアター製作⑤
11 パネル型シアター製作® 12 パネル型シアター製作® 13 パネル型シアター製作® 14 シナリオ作成② 15 シナリオ作成② 16 シナリオ作成③ 17 子どもとの遊び① 18 子どもとの遊び② 19 子どもとの遊び③ 20 パネル型シアター演示練習① 21 パネル型シアター演示練習② 22 パネル型シアター演示練習③ 23 パネル型シアター演示練習④ 24 発表 25 発表の反省、課題 26 年中行事 春 27 年中行事 夏 28 年中行事 教 29 年中行事 冬	9	パネル型シアター製作⑥
12 パネル型シアター製作® 13 パネル型シアター製作® 14 シナリオ作成® 15 シナリオ作成® 16 シナリオ作成® 17 子どもとの遊び® 18 子どもとの遊び® 19 子どもとの遊び® 20 パネル型シアター演示練習® 21 パネル型シアター演示練習® 22 パネル型シアター演示練習® 23 パネル型シアター演示練習® 24 発表 25 発表の反省、課題 26 年中行事 春 27 年中行事 夏 28 年中行事 移	10	パネル型シアター製作⑦
13 パネル型シアター製作® 14 シナリオ作成② 15 シナリオ作成② 16 シナリオ作成③ 17 子どもとの遊び① 18 子どもとの遊び② 19 子どもとの遊び③ 20 パネル型シアター演示練習① 21 パネル型シアター演示練習② 22 パネル型シアター演示練習③ 23 パネル型シアター演示練習④ 24 発表 25 発表の反省、課題 26 年中行事 春 27 年中行事 夏 28 年中行事 秋 29 年中行事 冬	11	パネル型シアター製作⑧
14 シナリオ作成① 15 シナリオ作成② 16 シナリオ作成③ 17 子どもとの遊び① 18 子どもとの遊び② 19 子どもとの遊び③ 20 パネル型シアター演示練習① 21 パネル型シアター演示練習② 22 パネル型シアター演示練習③ 23 パネル型シアター演示練習④ 24 発表 25 発表の反省、課題 26 年中行事 春 27 年中行事 夏 28 年中行事 秋 29 年中行事 冬	12	パネル型シアター製作⑨
15 シナリオ作成② 16 シナリオ作成③ 17 子どもとの遊び① 18 子どもとの遊び② 19 子どもとの遊び③ 20 パネル型シアター演示練習① 21 パネル型シアター演示練習② 22 パネル型シアター演示練習③ 23 パネル型シアター演示練習④ 24 発表 25 発表の反省、課題 26 年中行事 春 27 年中行事 夏 28 年中行事 秋 29 年中行事 冬	13	パネル型シアター製作⑩
16 シナリオ作成③ 17 子どもとの遊び① 18 子どもとの遊び② 20 パネル型シアター演示練習① 21 パネル型シアター演示練習② 22 パネル型シアター演示練習③ 23 パネル型シアター演示練習④ 24 発表 25 発表の反省、課題 26 年中行事 春 27 年中行事 夏 28 年中行事 秋 29 年中行事 冬	14	シナリオ作成①
17 子どもとの遊び① 18 子どもとの遊び② 19 子どもとの遊び③ 20 パネル型シアター演示練習① 21 パネル型シアター演示練習② 22 パネル型シアター演示練習③ 23 パネル型シアター演示練習④ 24 発表 25 発表の反省、課題 26 年中行事 春 27 年中行事 夏 28 年中行事 秋 29 年中行事 冬	15	シナリオ作成②
18 子どもとの遊び② 19 子どもとの遊び③ 20 パネル型シアター演示練習① 21 パネル型シアター演示練習② 22 パネル型シアター演示練習③ 23 パネル型シアター演示練習④ 24 発表 25 発表の反省、課題 26 年中行事 春 27 年中行事 夏 28 年中行事 秋 29 年中行事 冬	16	シナリオ作成③
19 子どもとの遊び③ 20 パネル型シアター演示練習① 21 パネル型シアター演示練習② 22 パネル型シアター演示練習③ 23 パネル型シアター演示練習④ 24 発表 25 発表の反省、課題 26 年中行事 春 27 年中行事 夏 28 年中行事 秋 29 年中行事 冬	17	子どもとの遊び①
20 パネル型シアター演示練習①   21 パネル型シアター演示練習②   22 パネル型シアター演示練習③   23 パネル型シアター演示練習④   24 発表   25 発表の反省、課題   26 年中行事 春   27 年中行事 夏   28 年中行事 秋   29 年中行事 冬	18	子どもとの遊び②
21 パネル型シアター演示練習② 22 パネル型シアター演示練習③ 23 パネル型シアター演示練習④ 24 発表 25 発表の反省、課題 26 年中行事 春 27 年中行事 夏 28 年中行事 秋 29 年中行事 冬	19	子どもとの遊び③
22 パネル型シアター演示練習③         23 パネル型シアター演示練習④         24 発表         25 発表の反省、課題         26 年中行事 春         27 年中行事 夏         28 年中行事 秋         29 年中行事 冬	20	パネル型シアター演示練習①
23 パネル型シアター演示練習④         24 発表         25 発表の反省、課題         26 年中行事 春         27 年中行事 夏         28 年中行事 秋         29 年中行事 冬	21	パネル型シアター演示練習②
24       発表         25       発表の反省、課題         26       年中行事 春         27       年中行事 夏         28       年中行事 秋         29       年中行事 冬	22	パネル型シアター演示練習③
25 発表の反省、課題         26 年中行事 春         27 年中行事 夏         28 年中行事 秋         29 年中行事 冬	23	パネル型シアター演示練習④
26       年中行事 春         27       年中行事 夏         28       年中行事 秋         29       年中行事 冬	24	発表
27     年中行事 夏       28     年中行事 秋       29     年中行事 冬	25	発表の反省、課題
28 年中行事 秋       29 年中行事 冬	26	年中行事 春
29 年中行事 冬	27	年中行事 夏
	28	年中行事 秋
	29	年中行事 冬
30 まとめ	30	まとめ

科目区分	専門教育科	専門教育科目  科目分類			専門科目(内容・方法)			号	BO321B1			
授業科目		保育	技術研	究 I	担当教			Ä	水 健			
履修年次	開講時期	単位数	時	持間	授業形態	쟉	卒業要件		加2種免	保育士		
1年	通年	2		60	演習		必修		必修		必修	選択必修

子どものあそびには、子どもの成長や発達にとって大きな役割を果たす体験が多く含まれている。保育者には、子どもの成長や発達段階を捉え、具体的な計画のもとにその更なる成長・発達を促す保育活動を展開する「保育技術」が求められる。「保育技術研究」では、保育に関する自発的、科目横断的な学習能力を習得させ、これまでに学んだ知識を基にして保育実践のための計画、教材研究、実践的活動を行い、これを通して保育活動を展開するために必要な知識・技術を習得させる。

# (授業の概要)

子どもの発達や絵本の基礎を踏まえ、手作り絵本の製作・発表に取り組む。子どもとの遊び、年中行事への理解を通し て保育実践のための技術の修得を目指す。

#### (授業の到達目標)

- •手作り絵本を製作する
- 絵本製作活動を通して絵本に関する基本的な知識をもつ。
- ・対象者の姿(子どもの発達等)に応じた遊びとその工夫・配慮を身につける。

# (卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

# 【評価方法】

活動への取り組み60% 発表40%

### 【準備学習(予習・復習等)】

予習:授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと。(30分)

事後:授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること。(30分)

#### 【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題はその都度確認し、返却する。発表作品は映像等を活用し、相互に評価したあと担当が総括する。

# 【使用テキスト】

必要に応じて提示、配布

#### 【参考図書】

『絵本のひみつ 絵本の知と読み聞かせの心』 余郷 裕次 南日本新聞社

# 【学生へのメッセージ】

学生の主体性、自主性を重視します。責任感を持って取り組んでください。クラスメイトや2年生への協力を求めます。

回		授 業 相	既	要
1	オリエンテー	-ション		
2	絵本の理解	紙面の構成		
3	絵本の理解	色彩		
4	絵本の理解	絵本モンタージュ		
5	絵本製作	シナリオ作り①		
6	絵本製作	シナリオ作り②		
7	絵本製作	シナリオ作り③		
8	絵本製作	シナリオ作り④		
9	絵本製作	シナリオ作り⑤		
10	絵本製作	キャラクター作り①		
11	絵本製作	キャラクター作り②		
12	絵本製作	キャラクター作り③		
13	絵本製作	場面構成①		
14	絵本製作	場面構成②		
15	絵本製作	場面ごとの作画①		
16	絵本製作	場面ごとの作画②		
17	絵本製作	場面ごとの作画③		
18	絵本製作	場面ごとの作画④		
19	絵本製作	文章作成①		
20	絵本製作	文章作成②		
21	絵本製作	文章作成③		
22	絵本製作	文章作成④		
23	絵本製作	製本①		
24	絵本製作	製本②		
25	絵本製作	製本③		
26	絵本製作	製本④		
27	発表練習			
28	発表練習			
29	発表			
30	発表の反省	·課題		

科目区分	専門教育科	目	科目分	}類	専門科目(内容・方法)			科目番号	号	BO321B1		
授業科目		保育技術研究 I							Ä	田	川智美	
履修年次	開講時期	単位	立数	民	間	授業形態	卒	<b>三業要件</b>	幺	加2種免	保育士	
1年	通年	:	2	(	60	演習		必修		必修 必修		必修

子どもの音楽活動である歌うこと、合奏すること、、リズムに合わせて活動することを主に、実践的な能力と技術、表現力を身につける。

#### (授業の概要)

子どものあそびには子供の成長や発達にとって大きな役割を果たす体験が多く含まれている。保育者には、子どもの成長や発達段階を捉え、具体的な計画のもとにその更なる成長・発達を促す保育活動を展開する「保育技術」が求められる。「保育技術研究」では、保育に関する自発的、科目横断的な学習能力を習得させ、これまでに学んだ知識を基にして保育実践のための計画、教材研究、実践的活動を行い、これを通して保育活動を展開するために必要な知識・技術を習得させる。

#### (授業の到達目標)

- 子どもの年齢や状況を考え、題材を選択しアレンジすることができる。
- ・本質を理解し、表現活動ができる。
- ・実践活動を通して音楽の楽しさを知り、技術力を高める。

## (卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定·学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

#### 【評価方法】

授業への取り組み50% 発表40% 計100%

#### 【準備学習(予習・復習等)】

事前:次回のテーマに向けて工夫点を考え、授業時に理解を深められるようにする。(30分)

事後:授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること。(30分)

# 【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

発表作品は映像等を活用し、相互に批評したあと担当が総括する。

# 【使用テキスト】

授業内で配布。

# 【参考図書】

なし

# 【学生へのメッセージ】

音楽を通して、表現することの楽しさを知り、実践・発表を通して、保育現場で役立つような力をつけていきます。

回	授 業 概 要
1	オリエンテーション 題材を考える
2	子どものための音楽表現について研究 題材について
3	子どものための音楽表現研究 役割について
4	子どものための音楽表現研究 ①ストーリー編成
5	子どものための音楽表現研究 ②ストーリー編成
6	子どものための音楽表現研究 ③ストーリー編成
7	子どものための音楽表現研究 ①実践練習 パート毎の練習
8	子どものための音楽表現研究 ②実践練習 パート毎の練習
9	子どものための音楽表現研究 ③実践練習 パート毎の練習
10	子どものための音楽表現研究 ④実践練習 パート毎の練習
11	子どものための音楽表現研究 ⑤実践練習 パート毎の練習
12	子どものための音楽表現研究 ⑥実践練習 パート毎の練習
13	子どものための音楽表現研究 ⑦実践練習 パート毎の練習
14	子どものための音楽表現研究 ①実践練習 全体練習
15	子どものための音楽表現研究 ②実践練習 全体練習
16	子どものための音楽表現研究 ③実践練習 全体練習
17	子どものための音楽表現研究 ④実践練習 全体練習
18	子どものための音楽表現研究 ⑤実践練習 全体練習
19	子どものための音楽表現研究 ⑥実践練習 全体練習
20	子どものための音楽表現研究 ⑦実践練習 全体練習
21	子どものための音楽表現研究 ⑧実践練習 全体練習
22	子どものための音楽表現研究 ⑨実践練習 全体練習
23	子どものための音楽表現研究 ⑩実践練習 全体練習
24	公演練習①
25	公演練習②
26	公演練習③
27	公演練習④
28	公演練習⑤
29	技術の実践発表
30	まとめ

科目区分	専門教育科	月 科目	専門科目(内容·方法)			科目番	号	BO321B1		
授業科目		保育技術研究 I					担当教	Ä	津野 武嗣	
履修年次	開講時期	単位数	田	寺間	授業形態	쟉	卒業要件		加2種免	保育士
1年	通年	2		60	演習	必修			必修	必修

2年次前期に県内の幼稚園保育園を招いた発表会の上演に向けた準備を通して、演技を中心に表現技術を身に着けることで、保育現場で劇あそびを展開し、その補助をできるようにする。

# (授業の概要)

子どものあそびには、子どもの成長や発達にとって大きな役割を果たす体験が多く含まれている。保育者には、子どもの成長や発達段階を捉え、具体的な計画のもとにその更なる成長・発達を促す保育活動を展開する「保育技術」が求められる。「保育技術研究」では、保育に関する自発的、科目横断的な学習能力を習得させ、これまでに学んだ知識を基にして保育実践のための計画、教材研究、実践的活動を行い、これを通して保育活動を展開するために必要な知識・技術を習得させる。

#### (授業の到達目標)

- ・協力して課題に取り組むことができる。
- ・自ら課題を見つけ、率先して解決に向けて行動することができる。
- ・意思疎通を図るための努力を惜しまない。

#### (卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身に着けていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身に着けていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

# 【評価方法】

平常点50% 課題に取り組む姿勢50% 計100%

# 【準備学習(予習・復習等)】

事前:次回のテーマに向けて工夫点を考え、授業時に理解を深められるようにする。(30分)

事後:授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること。(30分)

# 【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は添削のうえ返却する。発表作品は映像等を活用し、相互に批評したあと担当が総括する。

# 【使用テキスト】

毎回の授業で資料配布

# 【参考図書】

なし

# 【学生へのメッセージ】

- ・すべてワークショップの形成の授業とする。
- ・挨拶・自己紹介…具体的に繰り返し訓練する。
- ・授業の前に発声練習。身に着けることが大事。

	授業概要
1	自己紹介 立つ・歩く 重心と重心移動と呼吸の仕組
2	子供たちと向き合う、コミュニケイションの多様な回路を作る
3	詩の朗読 金子みすずの詩の朗読
4	呼吸・発声・発音の基本と問題点 言葉の豊かな立体化のための素読
5	詩の朗読 長田弘の詩の朗読
6	聞こえる声と届く声についての違いを考える。 喉声と身体の声の違い。 言葉の立体化を模索する
7	昔話を聞かせる 具体的な作品をテキストに
8	興味を持たせる語り方・話し方、その呼吸と間について
9	紙芝居 興味を持たせる・ストーリーの展開と表現
10	絵の展開と文との関係 楽しく・面白く・見せる・聞かせるポイント
11	童謡・唱歌を題材に 日本語の発音の基本とメロディ
12	歌う・表情・身振り手振り・動きの表現を探るワークショップ
13	個人、グループでの作品発表のための稽古①
14	個人、グループでの作品発表のための稽古②
15	成果発表会
16	自己紹介と子どもたちへの声かけ。姿勢・立ち方・歩き方・発声・呼吸の基本レッスン。授業15分間は基本レッスンを 行う。
17	昔話1・2。絵本の読み聞かせの基本
18	子どもたちへの話しかけ・問いかけ。一緒に遊び、歌い、躍り、演ずる。
19	子どもたちへの話しかけ・問いかけ。一緒に遊び、歌い、躍り、演ずる。
20	絵本の立体化。歌い手・躍り手・役者・ナレーターに分かれ楽しい舞台作品に仕上げる。
21	絵本の立体化。歌い手・躍り手・役者・ナレーターに分かれ楽しい舞台作品に仕上げる。
22	発表に向けての稽古①
23	発表に向けての稽古②
24	発表に向けての稽古③
25	発表に向けての稽古④
26	発表に向けての稽古⑤
27	発表に向けての稽古⑥
28	発表に向けての稽古⑦
29	リハーサル
30	成果発表

科目区分	専門教育科目 科目分類			分類	専門科目(内容·方法)			科目番号		NT322B2			
授業科目	保育技術研究Ⅱ							担当教	Ę	Ξ	井正人		
履修年次	開講時期	単 [·]	位数	田	詩間	授業形態	쟉	卒業要件		加2種免	保育士		
2年	通年		2		60	演習		選択		選択    -		1	選択必修

保育所指針、教育要領、発達の様子を踏まえて保育実践のための特に表現領域の造形製作(平面・立体造形)における 教材開発の能力と技術を身につける。また実際に表現する力を学ぶ。

# (授業の概要)

子どものあそびには、子どもの成長や発達にとって大きな役割を果たす体験が多く含まれている。保育者には、子どもの成長や発達段階を捉え、具体的な計画のもとにその更なる成長・発達を促す保育活動を展開する「保育技術」が求められる。「保育技術研究」では、保育に関する自発的、科目横断的な学習能力を習得させ、これまでに学んだ知識を基にして保育実践のための計画、教材研究、実践的活動を行い、これを通して保育活動を展開するために必要な知識・技術を習得させる。

### (授業の到達目標)

人形劇(15分程度の)マリオネットの人形製作、舞台製作、発表 特に保育技術表現 I にて製作した人形劇に手遊びなどの導入を加え、地域の実際に子どもたちの前で演じる表現力を養う。その際仲間と協働し、課題を見出し、解決する方法を探る。

#### (卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定·学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身に着けていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身に着けていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

# 【評価方法】

製作状況の評価。発表時の積極性。(100%)

#### 【準備学習(予習・復習等)】

予習:人形作り、舞台づくりは授業では作り方の検討。授業外で製作。発表の際の準備。(30分) 復習:発表して演じたのちにビデオで撮影し、より良くするためにはどうすべきか話し合う。(30分)

# 【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

発表後のアンケートなどを参考に意見交換を通して改善点を見出しアドバイスする。

#### 【使用テキスト】

インターネットでの物語検索、決定。人形作り、舞台づくりについて他の人形劇の映像を参考に学習。

#### 【参考図書】

人形や舞台づくりの実際を近隣のマリオネットを公演している絵本村などに見学に行く。

# 【学生へのメッセージ】

人形作りでは1つ1つ課題を、乗り越えて造形活動から効果的な表現にいたる流れを学習します。また子どもたちに発表し子どもたちに見てもらう喜びを体験しよう。

回	授 業 概 要
1	ガイダンス 課題(劇づくり)の決定
2	内容の検討 昔話、絵本などからストーリーを選ぶ
3	内容の決定 ストーリーと劇内容の決定決
4	役割分担(舞台づくり、背景製作、人形製作、小道具)、台本作り 演じる場所の決定
5	製作①原案検討 子どもの招待(保育園、幼稚園、施設)
6	製作②原案決定
7	製作③材料購入
8	製作④製材・加工
9	製作⑤製材・加工
10	製作④製材・加工
11	製作⑤製材・加工
12	製作⑥加工・着色
13	製作⑦加工・着色
14	製作⑧組立·完成
15	製作終了 完成品提出
16	役者、音響、ライトを交互に担当
17	役割に分かれて練習 人形、場面設定 声だし 音楽の検討①
18	役割に分かれて練習 人形、場面設定 声だし 音楽の検討②
19	役割に分かれて練習 人形、場面設定 声だし 音楽の検討③
20	役割に分かれて練習 人形、場面設定 声だし 音楽の検討④
21	全体練習① 導入の検討 手遊び 司会進行
22	全体練習② 導入手遊び決定
23	全体練習③ 効果的なライト 効果音
24	全体練習④
25	全体練習⑤
26	発表準備⑥
27	発表
28	片づけ
29	ビデオ撮影 意見交換
30	まとめ

科目区分	専門教育科目 科目分類			分類	専門科目(内容·方法)			科目番号		NT322B2	
授業科目	保育技術研究Ⅱ							担当教	<u></u>	吉田	百加利
履修年次	開講時期	単位	位数	田	詩間	授業形態	卒	卒業要件		力2種免	保育士
2年	通年		2		60 演習			選択		ı	選択必修

子どものあそびには、子どもの成長や発達にとって大きな役割を果たす体験が多く含まれている。保育者には、子どもの成長や発達段階を捉え、具体的な計画のもとにその更なる成長・発達を促す保育活動を展開する「保育技術」が求められる。「保育技術研究」では、保育に関する自発的、科目横断的な学習能力を習得させ、これまでに学んだ知識を基にして保育実践のための計画、教材研究、実践的活動を行い、これを通して保育活動を展開するために必要な知識・技術を習得させる。

# (授業の概要)

子どもの発達を踏まえ、パネル型シアターの製作や演示、子どもとの遊び、年中行事への理解を通して保育実践のための技術の修得を目指す。

## (授業の到達目標)

- ・保育技術に関して理解を深める。
- ・子どもの発達に応じた遊びとその工夫を身につける。
- ・年中行事と環境設定への理解を深める。

# (卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定·学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

# 【評価方法】

発表40% 学習マナー60% 計100%

# 【準備学習(予習・復習等)】

事前:次回のテーマに向けて工夫点を考え、授業時に理解を深められるようにする。(30分) 事後:授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること。(30分)

# 【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は添削のうえ返却する。発表作品は映像等を活用し、相互に評価したあと担当が総括する。

# 【使用テキスト】

必要に応じて提示、配布

# 【参考図書】

「実習に役立つパネルシアターハンドブック」 古宇田亮順 萌文書林

# 【学生へのメッセージ】

自ら学ぶ姿勢を期待します。

回	授 業 概 要
1	オリエンテーション
2	パネル型シアター題材選び①
3	パネル型シアター題材選び②
4	パネル型シアター製作①
5	パネル型シアター製作②
6	パネル型シアター製作③
7	パネル型シアター製作④
8	パネル型シアター製作⑤
9	パネル型シアター製作⑥
10	パネル型シアター製作⑦
11	パネル型シアター製作⑧
12	パネル型シアター製作⑨
13	パネル型シアター製作⑪
14	シナリオ作成①
15	シナリオ作成②
16	シナリオ作成③
17	子どもとの遊び①
18	子どもとの遊び②
19	子どもとの遊び③
20	パネル型シアター演示練習①
21	パネル型シアター演示練習②
22	パネル型シアター演示練習③
23	パネル型シアター演示練習④
24	<b>発表</b>
25	発表の反省、課題
26	年中行事 春
27	年中行事 夏
28	年中行事 秋
	年中行事 冬
30	まとめ

科目区分	専門教育科	目   科目	専門科目(内容·方法)			科目番	号	NT322B2		
授業科目		保育技術研究Ⅱ					担当教	員	清	水 健
履修年次	開講時期	単位数	B	寺間	授業形態	쟉	卒業要件		加2種免	保育士
2年	通年	2		60	演習		選択		_	選択必修

子どものあそびには、子どもの成長や発達にとって大きな役割を果たす体験が多く含まれている。保育者には、子どもの成長や発達段階を捉え、具体的な計画のもとにその更なる成長・発達を促す保育活動を展開する「保育技術」が求められる。「保育技術研究」では、保育に関する自発的、科目横断的な学習能力を習得させ、これまでに学んだ知識を基にして保育実践のための計画、教材研究、実践的活動を行い、これを通して保育活動を展開するために必要な知識・技術を習得させる。

#### (授業の概要)

子どもの発達や絵本の基礎を踏まえ、手作り絵本の製作・発表に取り組む。子どもとの遊び、年中行事への理解を通して保育実践のための技術の修得を目指す。

#### (授業の到達目標)

- 手作り絵本を製作する
- 絵本製作活動を通して絵本に関する基本的な知識をもつ。
- ・対象者の姿(子どもの発達等)に応じた遊びとその工夫・配慮を身につける。

# (卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

### 【評価方法】

活動への取り組み60% 発表40%

### 【準備学習(予習・復習等)】

予習:授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと。(30分)

事後:授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること。(30分)

#### 【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題はその都度確認し、返却する。発表作品は映像等を活用し、相互に評価したあと担当が総括する。

# 【使用テキスト】

必要に応じて提示、配布

#### 【参考図書】

『絵本のひみつ 絵本の知と読み聞かせの心』 余郷 裕次 南日本新聞社

# 【学生へのメッセージ】

学生の主体性、自主性を重視します。責任感を持って取り組んでください。1年生への指導や協力、協働する姿勢を求めます。

回	授 業 概 要
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	

科目区分	専門教育科	月 科目:	分類 専門	專門科目(内容·方法)			号	NT322B2			
授業科目		保育技術研究Ⅱ				担当教員		田	川智美		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	격	卒業要件		力2種免	保育士		
2年	通年	2	60	演習		選択		選択		_	選択必修

子どもの音楽活動である歌うこと、合奏すること、、リズムに合わせて活動することを主に、実践的な能力と技術、表現力を身につける。

# (授業の概要)

子どものあそびには子供の成長や発達にとって大きな役割を果たす体験が多く含まれている。保育者には、子どもの成長や発達段階を捉え、具体的な計画のもとにその更なる成長・発達を促す保育活動を展開する「保育技術」が求められる。「保育技術研究」では、保育に関する自発的、科目横断的な学習能力を習得させ、これまでに学んだ知識を基にして保育実践のための計画、教材研究、実践的活動を行い、これを通して保育活動を展開するために必要な知識・技術を習得させる。

#### (授業の到達目標)

- 子どもの年齢や状況を考え、題材を選択しアレンジすることができる。
- ・本質を理解し、表現活動ができる。
- 実践活動を通して音楽の楽しさを知り、技術力を高める。

## (卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

#### 【評価方法】

授業への取り組み50% 発表40% 計100%

#### 【準備学習(予習・復習等)】

事前:次回のテーマに向けて工夫点を考え、授業時に理解を深められるようにする。(30分)

事後:授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること。(30分)

# 【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

発表作品は映像等を活用し、相互に批評したあと担当が総括する。

# 【使用テキスト】

授業内で配布。

# 【参考図書】

なし

# 【学生へのメッセージ】

音楽を通して、表現することの楽しさを知り、実践・発表を通して、保育現場で役立つような力をつけていきます。

	授 業 概 要
1	オリエンテーション 題材を考える
2	子どものための音楽表現について研究 題材について
3	子どものための音楽表現研究 役割について
4	子どものための音楽表現研究 ①ストーリー編成
5	子どものための音楽表現研究 ②ストーリー編成
6	子どものための音楽表現研究 ③ストーリー編成
7	子どものための音楽表現研究 ①実践練習 パート毎の練習
8	子どものための音楽表現研究 ②実践練習 パート毎の練習
9	子どものための音楽表現研究 ③実践練習 パート毎の練習
10	子どものための音楽表現研究 ④実践練習 パート毎の練習
11	子どものための音楽表現研究 ⑤実践練習 パート毎の練習
12	子どものための音楽表現研究 ⑥実践練習 パート毎の練習
13	子どものための音楽表現研究 ⑦実践練習 パート毎の練習
14	子どものための音楽表現研究 ①実践練習 全体練習
15	子どものための音楽表現研究 ②実践練習 全体練習
16	子どものための音楽表現研究 ③実践練習 全体練習
17	子どものための音楽表現研究 ④実践練習 全体練習
18	子どものための音楽表現研究 ⑤実践練習 全体練習
19	子どものための音楽表現研究 ⑥実践練習 全体練習
20	子どものための音楽表現研究 ⑦実践練習 全体練習
21	子どものための音楽表現研究 ⑧実践練習 全体練習
22	子どものための音楽表現研究 ⑨実践練習 全体練習
23	子どものための音楽表現研究 ⑪実践練習 全体練習
24	公演練習①
25	公演練習②
26	公演練習③
27	公演練習④
28	公演練習⑤
29	技術の実践発表
30	まとめ

科目区分	専門教育科	目	科目分	科目分類 専門科目(内容·方法)		科目番号		NT322B2			
授業科目	保育技術研				研究 Ⅱ			担当教員		津里	野 武嗣
履修年次	開講時期	単位	立数	時	間	授業形態	卒	業要件		力2種免	保育士
2年	通年	2	2	6	60	演習		選択			選択必修

2年次前期に県内の幼稚園保育園を招いた発表会の上演に向けた準備を通して、演技を中心に表現技術を身に着けることで、保育現場で劇あそびを展開し、その補助をできるようにする。

# (授業の概要)

子どものあそびには、子どもの成長や発達にとって大きな役割を果たす体験が多く含まれている。保育者には、子どもの成長や発達段階を捉え、具体的な計画のもとにその更なる成長・発達を促す保育活動を展開する「保育技術」が求められる。「保育技術研究」では、保育に関する自発的、科目横断的な学習能力を習得させ、これまでに学んだ知識を基にして保育実践のための計画、教材研究、実践的活動を行い、これを通して保育活動を展開するために必要な知識・技術を習得させる。

#### (授業の到達目標)

- ・協力して課題に取り組むことができる。
- ・自ら課題を見つけ、率先して解決に向けて行動することができる。
- ・意思疎通を図るための努力を惜しまない。

#### (卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身に着けていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身に着けていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

# 【評価方法】

平常点50% 課題に取り組む姿勢50% 計100%

# 【準備学習(予習・復習等)】

事前:次回のテーマに向けて工夫点を考え、授業時に理解を深められるようにする。(30分)

事後:授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること。(30分)

# 【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は添削のうえ返却する。発表作品は映像等を活用し、相互に批評したあと担当が総括する。

# 【使用テキスト】

毎回の授業で資料配布

### 【参考図書】

なし

# 【学生へのメッセージ】

- ・すべてワークショップの形成の授業とする。
- ・挨拶・自己紹介…具体的に繰り返し訓練する。
- ・授業の前に発声練習。身に着けることが大事。

	授 業 概 要
1	自己紹介 立つ・歩く 重心と重心移動と呼吸の仕組
2	子供たちと向き合う、コミュニケイションの多様な回路を作る
3	詩の朗読 金子みすずの詩の朗読
4	呼吸・発声・発音の基本と問題点 言葉の豊かな立体化のための素読
5	詩の朗読 長田弘の詩の朗読
6	聞こえる声と届く声についての違いを考える。 喉声と身体の声の違い。 言葉の立体化を模索する
7	昔話を聞かせる 具体的な作品をテキストに
8	興味を持たせる語り方・話し方、その呼吸と間について
9	紙芝居 興味を持たせる・ストーリーの展開と表現
10	絵の展開と文との関係 楽しく・面白く・見せる・聞かせるポイント
11	童謡・唱歌を題材に 日本語の発音の基本とメロディ
12	歌う・表情・身振り手振り・動きの表現を探るワークショップ
13	個人、グループでの作品発表のための稽古①
14	個人、グループでの作品発表のための稽古②
15	成果発表会
16	自己紹介と子どもたちへの声かけ。姿勢・立ち方・歩き方・発声・呼吸の基本レッスン。授業15分間は基本レッスンを 行う。
17	昔話1・2。絵本の読み聞かせの基本
18	子どもたちへの話しかけ・問いかけ。一緒に遊び、歌い、躍り、演ずる。
19	子どもたちへの話しかけ・問いかけ。一緒に遊び、歌い、躍り、演ずる。
20	絵本の立体化。歌い手・躍り手・役者・ナレーターに分かれ楽しい舞台作品に仕上げる。
21	絵本の立体化。歌い手・躍り手・役者・ナレーターに分かれ楽しい舞台作品に仕上げる。
22	発表に向けての稽古①
23	発表に向けての稽古②
24	発表に向けての稽古③
25	発表に向けての稽古④
26	発表に向けての稽古⑤
27	発表に向けての稽古⑥
28	発表に向けての稽古⑦
29	リハーサル
30	成果発表

科目区分	専門教育科	目	科目分	}類	専門和	専門科目(内容·方法)		科目番	号	NT323B2·NT324B2 NT325B2·NT326B2		
授業科目		基礎	<b>陸技能</b> (	(器楽	) I ~[	V		担当教員		田川 智 青木 陽	美·関口 和子 香	
履修年次	開講時期	単位	立数 時間 授業形態 卒業要件		幺	加2種免	保育士					
1年•2年	前期・後期	各	·1	名	<del>-</del> 30	演習		選択		-	選択必修	

保育実践において必要なピアノ演奏の基礎的・基本的な技能を習得させ、自らが演奏する喜びや楽しさを体験するとともに、幼児のリトミックや伴奏などの音楽活動を活発に展開するための技能を身に付ける。

# (授業の概要)

バイエル教則本から演習を始めることにより、ピアノ演奏の基礎的・基本的な演奏技能を習得させる。この演習を通して、音楽に関する基礎的知識を理解することは勿論、音楽的感性を高め、将来保育者として最も必要な幼児の豊かな音楽活動を活発にするための楽器演奏の基礎的技能を身につけさせる。演習は、それぞれの学習者の進度に合わせて展開する。

# (授業の到達目標)

- ・読譜力や演奏技術を習得する。
- 保育実践に必要な伴奏をマスターすることを目標とする。
- ・より高度の技術を身につけさせるため個々にあう教材で展開する。

#### (卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定·学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

# 【評価方法】

授業への取り組み60% 実技試験40% 計100%

## 【準備学習(予習·復習等)】

次回課題曲の練習(60分)

# 【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

個々のレッスン時に指導、コメントする

#### 【使用テキスト】

「バイエル教則本」全音、「こどもの歌ベストテン」ドレミ楽譜、その他(進度に応じて担当教員より指示)

# 【参考図書】

個々の進度に応じ担当教員より紹介

# 【学生へのメッセージ】

上達するために練習を欠かさないこと。繰り返しの練習により、より高度の技術をつけること。

	授 業 概 要(1・2年同様)
1	音楽歴調査によるクラス分け 担当教員によるオリエンテーション
2	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について①
3	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について②
4	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について③
5	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について④
6	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑤
7	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑥
8	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑦
9	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑧
10	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑨
11	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑩
12	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑪
13	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑩
14	試験曲の個人指導まとめ①
15	試験曲の個人指導まとめ②

科目区分	専門教育科	目 科目:	分類 専門	専門科目(内容·方法)			号	OT327B2					
授業科目		子育て支援実践演習 担当教					担当教員 里見		也・福田光弘				
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	쭈	<u>∽</u> 業要件	業要件 4		保育士				
2年	集中	1	30	演習		選択		選択		選択		_	_

子育て支援に関する現代的な課題について、プロジェクトを組みながら保育現場の運営という視点から考察することを通して、子育て支援について学びを深める。

# (授業の概要)

保育現場において、子育て支援の運営面での心構えや効果的な方法について、プロジェクトを組んで、実際の地域の子ども課や子育て支援施設を見学・参加しながら、そのシーズとニーズを整理し、自分たちで考えられる改善策を探る。

## (授業の到達目標)

- ・保育現場でのさまざまな課題について考察する。
- ・各施設のこれからの役割や運営方法について話し合う。

# (卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

# 【評価方法】

課題・発表(反省点や展開の工夫、実践発表)50% 学習マナー(練習)50% 計100%

### 【準備学習(予習・復習等)】

見学先の施設について、インターネット等で事前に調べておくとともに、毎時間後に授業の成果についてミニレポートを提出すること。(60分)

# 【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

確認後、各自に返却する予定である。

# 【使用テキスト】

必要に応じて資料を提示、配布

#### 【参考図書】

「・・・育つ・つながる・・・子育て支援 具体的な技術・態度を身につける32のリスト」 子育て支援コンピテンシー研究会/編著 チャイルド本社

## 【学生へのメッセージ】

子育て支援の運営に関心があり、積極的にかかわろうとする姿勢を求めます。なお、子育て支援施設の見学を実施する予定ですので、参加できる学生を求めます。

回	授 業 概 要
1	オリエンテーション
2	子育て支援施設の現状と役割
3	園組織論•園経営論
4	行政サービスの現状と課題
5	プロジェクト1 (実態把握①:地域の子ども課)
6	プロジェクト1 (実態把握②:子育て支援センター他)
7	プロジェクト1(ニーズ調査:子育て支援者と保護者)
8	グループディスカッション①
9	プロジェクト2(実態把握①:地域の子ども課)
10	プロジェクト2(実態把握②:子育て支援センター他)
11	プロジェクト2(ニーズ調査:子育て支援者と保護者)
12	グループディスカッション②
13	グループディスカッション③
14	発表準備
15	発表・まとめ

科目区分	専門教育科	月 科目:	科目分類 専門		門科目(実習•他)		科目番号		NT401D2	
授業科目	保育実習I(保育所)					担当教員		井上·三井·吉田 福田·清水·川村		
履修年次	開講時期	単位数	時	間	授業形態	쟉	卒業要件		加2種免	保育士
1年	集中	2	8	30	実習		選択 -			必修

- ・保育所の現場でその機能や生活、保育士の役割等について実際の体験を通して学習し、保育士とし学びを深めること を目的とする。
  - 1. 施設の概要を把握する。
- 2. 乳幼児と接して発達的特性を知る。
- 3. 子どもの遊びを観察する。
- 4. 担当保育士の指導を受け、デイリープログラムの一部に参加する・
- 5. 安全、疾病予防対策等に対する配慮、処置を学ぶ。

#### (授業の概要)

・保育所の現場でその機能や生活、保育士の役割について実際の体験を通して学習し、将来の保育士としての活動の源泉とする。(本実習は、実習現場の職員の指導に基づき行われる。)

## (到達目標)

保育実習 I においては以下の①~⑥についての目標を達成する。

- ①保育所保育指針や、施設の方針・特色を理解して実習に取り組む。
- ②施設での一日の流れを理解する。
- ③子どもの発達段階を理解して子どもに対応する。
- ④子どもの健康・安全に配慮する。
- ⑤保育技術(手遊び、読み聞かせ、ピアノ等)を積極的に披露する。
- ⑥実習日誌を適切に記述・提出する。

# (卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

### 【評価方法】

実習先からの評価票に基づき、合否にて判定を行う。

#### 【準備学習(予習・復習等)】

事前:具体的な実習課題を設定し、達成のために必要な知識・技術の修得に努める。(30分)

事後:日誌の記録等から実践を振り返る。(30分)

# 【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

各自実習到達目標を設定し、実習終了後、評価を教員とともに面談を通してフィードバックしていく。

# 【使用テキスト】

「学生ハンドブック」

## 【参考図書】

「幼稚園・保育所実習 実習日誌の書き方」相馬和子・中田カヨ子編

「保育所保育指針・幼稚園教育要領 解説とポイント」ミネルヴァ書房編集部

「施設実習の常識」教育・保育実習を考える会 編 蒼丘書林

# 【学生へのメッセージ】

実習での学びは、とても重要です。学内での学習をもとに、実習では、目的を持った積極的な行動を心がけましょう。

回	授 業 概 要								
1	学外実習 (1年次 10月の2日間・ 1年次 1月~2月の8日間)。								
	実習現場で、実務を行う職員から直接指導を受ける。								
S									
45									

科目区分	専門教育科	目   科目	分類	専門科目(実習・他)		)	科目番号		NT403B2	
授業科目		保育実習指導 I (保育所)					担当教員		井上 聖子・福田 光弘	
履修年次	開講時期	単位数	В	時間	授業形態	주	卒業要件		力2種免	保育士
1年	通年	1		30	演習		選択	選択 一		必修

- ①これまで学んだ講義の内容を活かして、実習の場において総合的な実践が行える力を養う。
- ②実習の心構えや実習を円滑に行うための事前指導により、実習に対する不安を軽減し、実習の目標を明確にする。
- ③実習での実践を通し、保育士として必要な資質、能力、技術、倫理観等を習得する。

# (授業の概要)

保育実習の意義・目的を理解したうえで、実習における自らの課題を明確にする。また、実習施設における職業倫理について学び、具体的な実習の計画、実践、観察、記録、評価の流れを理解する。さらに、事後指導を通して、実習を振り返り、新たな課題や目標を明確にする。

## (授業の到達目標)

・実習施設の役割、機能、保育士の職務、倫理観、子どもの理解、援助、保育指導計画と保育技術等について、理論と実践から習得する。

# (卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定·学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

# 【評価方法】

実習先からの評価票に基づき、合否にて判定を行う。

## 【準備学習(予習・復習等)】

予習:事前に課題を出すので、それについて調べてくること。(30分)

復習:授業内容をまとめ、実習に向けての課題を見つけ、解決していくこと。(30分)

# 【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は、添削のうえ返却をする。

#### 【使用テキスト】

特になし

# 【参考図書】

「幼稚園・保育所実習 実習日誌の書き方」相馬和子・中田カヨ子編

「施設実習の常識」教育・保育実習を考える会 編 蒼丘書林

「保育所保育指針・幼稚園教育要領 解説とポイント」ミネルヴァ書房編集部

#### 【学生へのメッセージ】

意欲・積極性に富み、向上心のある保育士を目指しましょう。

回	授 業 概 要
1	実習日程及び実習全体の説明 実習先の開拓について ①電話の掛け方 ②訪問時の注意事項
2	保育所の役割、機能、関連法規(1) ①保育所とは ②保育所保育指針の概略
3	実習先の把握 実習依頼文書の作成と発送
4	実習段階について 見学実習・観察実習・参加実習・責任実習
5	実習の心構えと目標の立て方について
6	実習日誌の書き方(1)
7	地元保育所への訪問、見学
8	保育所見学の振り返りと学びの発表 実習日誌の書き方(2)
9	オリエンテーションについて ①電話の掛け方 ②訪問時の注意事項
10	模擬授業の実施とそれに対する評価(自己紹介)
11	子どもの発育・発達の理解と援助について
12	10月実習に関する指導 実習中の諸注意と持参書類配布
13	10月実習の振り返りと学び
14	1月実習に関する指導 実習中の諸注意と持参書類配布 礼状の書き方とレポート指導
15	1月実習の振り返りと学び 実習アンケート パネルシアターの課題について 次年度保育実習開拓指導

科目区分	専門教育科	科目	科目分類 専門科目(実習·他)				科目番	号	NT402D2					
授業科目	保育実習 I (施設)						担当教	Ħ	三井·井上·吉田 清水·川村·福田					
履修年次	開講時期	単位数	B	寺間	授業形態	埣	卒業要件		力2種免	保育士				
1年•2年	集中	2	2 80		実習		) 実習		選択		選択			必修

施設の現場でその機能や生活、保育士の役割等について実際の体験を通して学習し、保育士とし学びを深めることを目的とする。

- ・実習施設の概要を把握する(施設、設備、環境等が利用児(者)の生活のためにどの様に工夫されているのか)
- ・実習施設の1日の流れ及び利用児(者)の生活の実際を理解する。
- ・実習施設の人的環境、物的環境を理解する(他の専門職職員との交流、保育や生活の準備、環境設定の手伝いを通して現場での配慮や工夫を理解する)。
- ・施設職員としての保育士の職務内容、役割を理解し、担当保育士の補助を行う。
- ・安全、疾病防止などに対する配慮、処置を学ぶ。
- ・家庭、地域社会・関係機関とのかかわりを理解する。

#### (授業の概要)

・施設の現場でその機能や生活、保育士の役割等について実際の体験を通して学習し、将来の保育士としての活動の源泉とする。(本実習は、実習現場の職員の指導に基づき行われる。)

## (到達目標)

保育実習 I (施設)においては以下の①~③について目標を達成する。

- ①施設の内容と機能を理解する。
- ②施設における入所・利用児(者)の姿や生活を観察し、実践的な接触を通して理解する。
- ③保育士の役割、職務内容や保育の方法を理解する。

### (卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

### 【評価方法】

実習先からの評価票に基づき、合否にて判定を行う。

## 【準備学習(予習・復習等)】

事前:具体的な実習課題を設定し、達成のために必要な知識・技術の修得に努める。(30分)

事後:日誌の記録等から実践を振り返る。(30分)

## 【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

各自実習到達目標を設定し、実習終了後、評価を教員とともに面談を通してフィードバックしていく。

## 【使用テキスト】

「学生生活ハンドブック」

「施設実習ガイド 保育者として成長するための事前事後学習」萌文書林

### 【参考図書】

「幼稚園・保育所実習 実習日誌の書き方」相馬和子・中田カヨ子編

「保育所保育指針・幼稚園教育要領 解説とポイント」ミネルヴァ書房編集部

「保育士を目指す人の福祉施設実習」 蒼丘書林

#### 【学生へのメッセージ】

実習での学びは、とても重要です。学内での学習をもとに、実習では、目的を持った積極的な行動を心がけましょう。

回	授 業 概 要
1	学外実習 (1年次 3月の10日間 もしくは 2年次 8月~12月の10日間)。
	実習現場で、実務を行う職員から直接指導を受ける。
S	
45	

科目区分	専門教育科目 科目分類 専門科目(実習·他) 科目番号					号	NT	'404B2	
授業科目		保育実習	育実習指導 I (施設)					三井 正	人•清水 健
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	즉	卒業要件		力2種免	保育士
1年・2年	後期~前期	1	30	演習	演習			_	必修

- ①これまで学んだ講義の内容を活かして、実習の場において総合的な実践が行える力を養う。
- ②実習の心構えや実習を円滑に行うための事前指導により、実習に対する不安を軽減し、実習の目標を明確にする。
- ③実習での実践を通し、保育士として必要な資質、能力、技術、倫理観等を習得する。

## (授業の概要)

保育実習の意義・目的を理解したうえで、実習における自らの課題を明確にする。また、実習施設における職業倫理について学び、具体的な実習の計画、実践、観察、記録、評価の流れを理解する。さらに、事後指導を通して、実習を振り返り、新たな課題や目標を明確にする。

#### (授業の到達目標)

・実習施設の役割、機能、保育士の職務、倫理観、子どもの理解、援助、保育指導計画と保育技術等について、理論と実践から習得する。

## (卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定·学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

## 【評価方法】

実習先からの評価票に基づき、合否にて判定を行う。

## 【準備学習(予習・復習等)】

事前:予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする。(30分)

事後:ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る。(30分)

## 【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

実習事前指導においては、指導内容について毎時フィードバックする。

実習事後指導においては、実習後面談を通して実習での学生個々の課題や成果をフィードバックする。

## 【使用テキスト】

「学生生活ハンドブック」

「施設実習ガイド 保育者として成長するための事前事後学習」萌文書林

「保育士をめざす人の福祉施設実習」愛知県保育実習連絡協議会 編 (株)みらい

### 【参考図書】

「施設実習ガイド 保育者として成長するための事前事後学習」駒井美智子編著 萌文書林

### 【学生へのメッセージ】

意欲・積極性に富み、向上心のある保育士を目指しましょう。

	授 業 概 要
1	児童福祉施設の役割、機能、関連法規(2) ③実習の意義と目的 ④実習の段階と内容
2	障害の理解と障害児(者)への対応 虐待の理解と被虐待児への対応
3	体験実習に関する指導(1)実習に向けての準備
4	体験実習に関する指導(2)実習中の諸注意と持参書類配布
5	10月実習の振り返りと学び(グループ討議)
6	保育実習のマナー(2)③掃除 ④食事 ⑤言葉づかい
7	配属先施設に関する学習会(1)概要と種別の把握
8	配属先施設に関する学習会(2)利用者支援の方法
9	配属先施設に関する学習会(3)事例検討
10	実習オリエンテーション実施に向けての指導
11	実習の直前指導(1)レポートの指導
12	実習の直前指導(2)当日持参書類の確認・実習終了後の提出物について
13	実習中の諸注意と実習に臨む姿勢
14	評価表に基づく個人面談―実習の総括・評価―
15	実習終了後の反省と今後の課題の明確化・実習に関するアンケート―実習の総括・評価―

科目区分	専門教育科目 科目分類			分類 専門科目(実習·他)			科目番	号	NT405D2		
授業科目		保育実習Ⅱ(保育所)					担当教	Ħ	吉田·井上·三井 川村·福田·清水		
履修年次	開講時期	単位数	H	寺間	授業形態	埣	卒業要件		力2種免	保育士	
2年	集中	2		80 実習		実習			-	選択必修	

- ・保育所の保育を実際に実践し. 家庭や地域の実態にも触れながら以下の目標を達成する。
  - 1. 施設の内容と機能を理解する。
- 2. 施設における乳幼児の姿や生活を観察し、実践的な接触を通して理解する。
- 3. 保育士の役割. 職務内容や保育の方法を理解する。
- 4. 保育計画及び週案. 日案の理解と実践を体験する。
- 5. デイリープログラムの理解と実践を体験する。
- 6. 保育士の指導下における乳幼児保育の担当を体験する。
- 7. 発達段階での個人差の大きい子どもへの配慮とかかわりを体験する。
- 8. 保育士と保護者の連携を把握する。
- 9. 保護者の保育ニーズに基づく特別保育対策を理解する。

### (授業の概要)

・保育所の現場でその機能や生活. 保育士の役割について実際の体験を通して学習し. 将来の保育士としての活動の源泉とする。(本実習は、実習現場の職員の指導に基づき行われる。)

### (到達目標)

保育実習Ⅱにおいては以下の①~⑥についての目標を達成する。

- ①保育計画及び週案. 日案を理解した実践が出来る。
- ②デイリープログラムを理解した実践が出来る。
- ③保育士の指導下において乳幼児保育の担当が出来る。
- ④発達段階での個人差の大きい子どもへ配慮したかかわりが出来る。
- ⑤保育士と保護者の連携を把握した実践が出来る。
- ⑥保護者の保育ニーズに基づく特別保育対策を理解出来る。

## (卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

### 【評価方法】

実習先からの評価票に基づき、合否にて判定を行う。

### 【準備学習(予習・復習等)】

事前:具体的な実習課題を設定し. 達成のために必要な知識・技術の修得に努める。(30分)

事後:日誌の記録から実践を振り返り考察する。(30分)

### 【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

各自実習到着目標を設定し、実習終了後、評価を教員とともに面談を通してフィードバックしていく。

### 【使用テキスト】

「学生ハンドブック」

#### 【参考図書】

「幼稚園・保育所実習 実習日誌の書き方」相馬和子・中田カヨ子編

「保育所保育指針・幼稚園教育要領 解説とポイント」ミネルヴァ書房編集部

## 【学生へのメッセージ】

実習での学びは、とても重要です。学内での学習をもとに、実習では、目的を持った積極的な行動を心がけましょう。

	業	概	要
学外実習 (2年次 9月の10日間)。			
主習現場で 宝務を行う職員から直接指道を受ける			
大自弘物で、大物で自力概長がう直接指導で文化で			
	授学外実習 (2年次 9月の10日間)。 民習現場で、実務を行う職員から直接指導を受ける。		

科目区分	専門教育科目 科目分類			専門科目(実習・他)			科目番号	号	NT406B2		
授業科目		保育実	習指導		担当教	Ę	井上聖子	·•吉田百加利			
履修年次	開講時期	単位	数	時間	持間 授業形態 四		卒業要件		加2種免	保育士	
2年	通年	1		30	演習	選択			-	選択必修	

- ・既習の教科や保育所実習 I での経験を基に課題を整理し、保育士としての総合的実践的能力を培う。
- 観察、記録、自己評価を踏まえた保育の改善について実践や事例を通して学ぶ。
- ・保育士の専門性と職業倫理について理解する。
- ・実習の事後指導を通して実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする

## (授業の概要)

- これまでの実習での学びを踏まえ、実習における課題と意義を明確にする。
- ・保育者の役割、保育士の職務、子どもについての理解をさらに深め、保育の意義について総合的に学ぶ。

## (授業の到達目標)

- ・子どもをより深く理解したうえでの責任実習指導計画を立案できる。
- ・実習の中で意欲的に学ぶ姿勢と保育実践力を身につける。
- ・実習先での学習を客観的に振り返り、今後につながる成果と課題を明らかにする。

### (卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

## 【評価方法】

実習先からの評価票に基づき、合否にて判定を行う。

## 【準備学習(予習・復習等)】

事前:テキストや資料を読み、乳幼児の発達、遊びや生活と指導計画への理解を深める。(30分)

事後:授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集に努め知識の定着を図る。(30分)

## 【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

第1回目に各自到着目標を設定し、講義終了後、その評価を教員とともに面談を通してフィードバックしていく。

### 【使用テキスト】

「学生ハンドブック」

*実習関連資料は、授業で配布します。

## 【参考図書】

「幼稚園・保育所実習 実習日誌の書き方」相馬和子・中田カヨ子編「保育所保育指針・幼稚園教育要領 解説とポイント」ミネルヴァ書房編集部

## 【学生へのメッセージ】

就職を視野に入れ、授業は休まず出席し、提出物は期限までに出しましょう。

	授 業 概 要
1	オリエンテーション
2	〈事前指導の内容〉 保育実習 II の目的とねらいについて
3	保育実習Iの振り返りと実習課題の確認
4	保育所の機能と役割、実習先の理解
5	子どもの理解と日誌の書き方(保育記録のとり方)
6	子どもの理解と指導計画について
7	指導計画の立案・作成のための留意点(部分実習)
8	指導計画の立案・作成のための留意点(責任実習)
9	実習直前ガイダンス①
10	実習直前ガイダンス②
11	〈事後指導の内容〉 実習の振り返りと自己評価①
12	実習の振り返りと自己評価②
13	実習報告会
14	自己課題の明確化と今後の目標
15	まとめ

科目区分	専門教育科	月 科目:	科目分類 専門科目(実習·他)		科目番号		NT407D2				
授業科目		保育実習	習Ⅲ(児童館	館) 担当教					井上·吉田 川村·清水		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	격	卒業要件		力2種免	保育士		
2年	集中	2	80	実習		選択		選択		-	選択必修

- ・児童の健全育成施策の中心としての児童館の実態を知り、そこでの日常業務を通して展開される援助技術を学ぶ。
- ・児童館の現場でその機能や生活、児童館職員の役割等について実際の体験を通して学習し、将来の児童厚生員としての活動の源泉とすることを目的とする。具体的には次のとおり。
- ①児童館の役割と機能を理解する。
- ②児童館を利用する児童について、生活や遊びの観察と実践的な接触を通して理解する。
- ③児童館職員の役割と指導方法、職務内容について体験的に学習する。

#### (授業の概要)

・児童館の現場でその機能や生活、児童館職員の役割について実際の体験を通して学習し、児童館での健全育成の意義について深く理解する。(本実習は、実習現場の職員の指導に基づき行われる。)

# (到達目標)

- ①児童の放課後の活動を支える地域の小型児童館・児童センターで、児童館職員と同じ仕事を体験する。
- ②児童の理解を深め、児童の生活を援助する専門職員としての関わりを学ぶ。
- ③実習施設の概要を把握する(施設、設備、環境等が利用児の生活のためにどの様に工夫されているのか)。
- ④実習施設の1日の流れ及び利用児の生活の実際を理解する。
- ⑤実習施設の人的環境、物的環境を理解する(他の専門職職員との交流、生活の準備、環境設定の手伝いを通して現場での配慮 や工夫を理解する)。
- ⑥施設職員としての児童館職員の職務内容、役割を理解し、担当職員の補助を行う。
- ⑦安全、疾病防止等に対する配慮、処置を学ぶ。
- ⑧家庭、地域社会、関係機関とのかかわりを理解する。
- ⑨コミュニティワーカーとしての児童館職員の姿を学ぶ。

# (卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

### 【評価方法】

実習先からの評価票に基づき、合否にて判定を行う。

### 【準備学習(予習・復習等)】

事前:具体的な実習課題を設定し、達成のために必要な知識・技術の修得に努める。(30分)

事後:日誌の記録等から実践を振り返る。(30分)

## 【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

各自実習到達目標を設定し、実習終了後、評価を教員とともに面談を通してフィードバックしていく。

### 【使用テキスト】

『児童館・放課後児童クラブテキストシリーズ② 児童館論』 一般財団法人 児童健全育成推進財団

#### 【参考図書】

『児童館・放課後児童クラブテキストシリーズ① 健全育成論』 一般財団法人 児童健全育成推進財団

## 【学生へのメッセージ】

実習では、積極的な行動や学びの態度を心がけると同時に、健全育成についての理解を深めましょう。

回	授 業 概 要
1	学外実習 (2年次 8~9月の10日間 もしくは 12月の10日間)。
	実習現場で、実務を行う職員から直接指導を受ける。
S	
,	
45	

科目区分	専門教育科	4目 科目	分類	専門科目(実習・他)		科目番号		NT408B2		
授業科目		保育実習拮	旨導Ⅲ(児	Ⅲ(児童館)			担当教員		福日	田 光弘
履修年次	開講時期	単位数	時間	j	授業形態	즉	卒業要件 幼2種免			保育士
2年	前期	1	30		演習		選択		_	選択必修

児童厚生施設の意義、目的を知り、児童とかかわる上で必要な資質・能力・技術の習得に向け実践的学習を行う。また、地域社会に対する理解を深め、連携の方法や保護者への子育て支援についても具体的に学習する。

## (授業の概要)

保育実習 I での経験を踏まえ、保育士としての専門性や現場での実践的知識をより高めるための事前準備・事後考察を行う。児童館の現状、児童、利用者の実態、施設の社会的ニーズ等多角的に保育をとらえる視点を養い、より良い実習につなげることを目指す。

# (授業の到達目標)

- ・児童の特性や、家庭と地域、児童厚生施設の実態を知る。
- ・子ども家庭福祉ニーズに対する理解力、判断力、子育て支援に必要な能力を身につける。

### (卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定·学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

## 【評価方法】

実習先からの評価票に基づき、合否にて判定を行う。

## 【準備学習(予習・復習等)】

事前:テキストや資料を読み、乳幼児の発達、遊びや生活と指導計画への理解を深める。(30分) 事後:授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集に努め知識の定着を図る。(30分)

## 【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

第1回目に各自到達目標を設定し、講義終了後、その評価を教員とともに面談を通してフィードバックしていく。

## 【使用テキスト】

なし

## 【参考図書】

なし

## 【学生へのメッセージ】

遅刻、欠席をしない。積極的にボランティアにも参加し、児童とかかわる機会を持とう。

回	授 業 概 要
1	オリエンテーション
2	保育実習Iの振り返りと自己課題の設定
3	保育実習皿(児童館実習)の意義と目的
4	児童館の役割と社会的ニーズ
5	個別援助活動—児童の特性と発達に応じたかかわりや遊び①
6	集団援助活動—児童の特性と発達に応じたかかわりや遊び②
7	記録の書き方と活用①
8	記録の書き方と活用②
9	実習目標について
10	実習指導案の書き方と活用①
11	実習指導案の書き方と活用②
12	実習中の心構え・諸注意 実習持参書類の確認
13	事後指導について
14	実習報告会と事後指導
15	総括

科目区分	専門教育科	専門教育科目 科目分類 専門科目(実習・他)		科目番号		KT409D2						
授業科目		実習(幼稚園)			担当教員		三石・三井・井上・吉 川村・清水・福田					
履修年次	開講時期	単位数	i	時間	授業形態	즉	業要件		力2種免	保育士		
2年	集中	4		120	実習		選択		選択		必修	_

- (1)幼稚園の役割と機能を理解する。
- (2)幼児期の子どもに対する理解(姿、生活、遊びなど)を深める。
- (3) 幼稚園教諭の職務内容や保育の方法、環境構成を理解する。
- (4) 幼稚園の教育内容の各領域を理解し、個々の指導技術を習得する。
- (5)デイリープログラムの理解と実践を体験する。
- (6)教育計画及び週案、日案の理解と立案の経験をする。
- (7)教師の指導下における幼児教育の担当を体験する。
- (8)子どもの発育、発達の個人差への配慮と援助の仕方を学ぶ。
- (9)教師と保護者との連携を把握する。

### (授業の概要)

幼稚園の現場で、その機能や教育、教諭の役割等について実勢の体験を通して学習し、将来の幼稚園教諭としての活動の源泉とする。(本実習は、実習現場の職員の指導に基づき行われる。)

### (授業の到達目標)

- (1)幼稚園の役割と機能が理解出来る。
- (2) 幼児期の子どもに対する理解が深まった。
- (3)幼稚園教諭の職務内容や保育の方法、環境構成を理解出来た。
- (4) 幼稚園の教育内容の各領域を理解し、個々の指導技術が習得出来た。
- (5)デイリープログラムの理解と実践が理解出来た。
- (6)教育計画及び週案、日案の理解と立案の経験をし、教師の指導下における幼児教育の担当が出来た。
- (7)子どもの発育、発達の個人差への配慮と援助の仕方が理解出来た。
- (8)教師と保護者との連携が把握出来た。

## (卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

### 【評価方法】

実習先からの評価票に基づき、合否にて判定を行う。

## 【準備学習(予習・復習等)】

事前:具体的な実習課題を設定し、達成のために必要な知識・技術の修得に努める。(30分)

事後:日誌の記録から実践を振り返り考察する。(30分)

# 【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

各自実習到着目標を設定し、実習終了後、評価を教員とともに面談を通してフィードバックしていく。

### 【使用テキスト】

「学生ハンドブック」

「幼稚園・保育所実習指導計画の考え方・立て方」久富陽子編 萌文書林

*実習関連資料は授業で配布します。

### 【参考図書】

「新指針・新要領 イラスト図解ガイド ~保育課程の参考例も解説~」 保育とカリキュラム編集部/編 ひかりのくに

### 【実習期間】

学外実習(2年次 6月)(3週間)

# 授業計画

# 授業概要 ○ 幼稚園の概要を把握する。 (実習園の沿革や教育の基本方針、ならびに立地条件、幼稚園内外の自然的環境等を把握する) 〇 幼稚園の1日の流れを理解する。 (時間と生活の流れ、およびその内容はどの様になっているのか) ○ 幼稚園の人的環境(対象幼児の構成、職員組織など)、物的環境(建物、遊具、教具等、幼児の生活、遊びのためにどのよう な配慮や工夫がなされているか)を理解する。 〇 子どもの遊びを観察する。(指導的態度ではなく、自由に遊んでいる子どもの中に参加し、子どもの遊びの方法や工夫、争い や協力の仕方等を観察する) ○ 各領域がどのように達成されているかを知る。 ○ 教師の補助を行なう。(遊具の活用、教材の準備、清掃の仕方等) ○ 指導担当教諭の指導を受け、助手的立場で、幼児や教育活動に直接働きかけ、教諭の教育活動を経験的に理解する。 ・観察、受け入れ、個別検査 ・歌の指導、お話、紙芝居、絵本の読み聞かせ、手遊び、ペープサート、 エプロンシアター、パネルシアター等 自由遊びでのかかわり 【遊びの様子を見ながら、鬼ごっこや童歌等の遊びを提案し、 加 遊びがより発展するよう助言する) 実 食事、排泄、着脱、清潔等の援助 ・その他 ○ 安全、疾病予防等に対する配慮、処置を学ぶ。 遊具の使い方、交通安全、避難訓練、食中毒等) ○ 家庭、地域社会との関わりを理解する。 (園の行事、地域の行事等に参加する) ○ 子どもの活動のある一部分を受け持ち、指導する。 部・生活指導、健康、人間関係、環境、言葉、表現等の活動の一部を受け持ち指導する。 分 ▶・一日の保育の流れを乱さないように、指導案(細案)を作成する。 実 (対象児、内容、方法、時間等十分に考慮する) ・指導案(細案)を作成する場合は、指導担当教諭に相談し、助言を得る。 漝 ○ 実習園の指導計画(月・週案)を理解した上で、一日の指導案(日案)を立てて、実際に指導をする。 ・指導案は前もって、指導担当教諭の助言を得ながら早めに立て、期限厳守で提出する。 日 ・時間、活動等の配分や子どもの状況判断に十分留意して行 実 漝

実習現場で、実務を行う職員から直接指導を受ける。

科目区分	専門教育科	·目 科目分類 専門科目(実習·他)		科目番号		KT	'410B2					
授業科目	教育実習指導			稚園	園) 担当教			担当教員 三		・川村めぐみ		
履修年次	開講時期	単位数	時間	冒	授業形態	쟉	工業要件	幺	加2種免	保育士		
1年•2年	後期~前期	1	30	)	演習		選択		選択		必修	_

実習の基本的理解と実践的理解を養うとともに、実習への意欲を高め、より充実した実習となるように展開していく。

#### (授業の概要)

今までの講義や演習で学習した理論や技術をより実践的・具体的・総合的に実習園で実践できるような展開方法を学 ぶ。

### (授業の到達目標)

- ・幼稚園教育の基礎理解から子どもとのかかわりについて考える。
- ・実習園の教育内容を知り、自分なりの視点を発表する。
- ・責任実習指導案が立案できる。

## (卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

### 【評価方法】

実習先からの評価票に基づき、合否にて判定を行う。

## 【準備学習(予習・復習等)】

全時間を通して、幼稚園教育の内容を予習し、指導案を繰り返し作成し、実習を行って得た学びを文章としてまとめること。(60分)

## 【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

各自のテーマごとに提出される課題につき、添削の上返却する。模擬授業はグループ内の相互評価を行う。(評価についてはルーブリック等の評価表を用いる)

# 【使用テキスト】

「学生ハンドブック」

「幼稚園・保育所実習指導計画の考え方・立て方」久富陽子編 萌文書林

「自分でつくるBOOK & NOTE—教育・保育実習でよりよい時間を過ごそう!」安部孝 編著 同文書院

# 【参考図書】

文部科学省「幼稚園教育要領解説」フレーベル館 平成30年

#### 【学生へのメッセージ】

実習はこれまでに学習した理論や技術の検証の場であると同時に社会人、職業人としての体験の場です。

- 日々の授業の中で特に以下の事を意識して過ごしましょう。
- 〇遅刻厳禁!(チャイムと同時に出席確認を行うので要注意)
- 〇課題及び提出物の期限厳守!(遅れ・未提出はいかなる場合であっても「一」評価となるので注意!)
- ○「実習の手引き」「テキスト」「実習日誌」は毎回持参する事。

	授 業 概 要
1	ガイダンスー教育実習の概要と事前事後指導の流れー
2	幼稚園の役割機能と関連法規(1)①実習の意義②幼稚園教育とは③幼稚園教育要領の理解
3	幼稚園の基礎知識ー実習園の結滞にあたってー(課題:実習園の特色について調べる)
4	実習生としてのマナーと心構え・実習先内諾訪問について(課題:実習園開拓・訪問・内諾書の提出)
5	実習課題の立て方・実習関連書類の作成(課題:実習目標・調査書の作成)
6	実習日誌について(課題:実習目標・教育目標・デイリープログラムの理解)
7	指導案の作成①指導計画作成のポイント整理
8	指導案の作成②部分指導案の書き方(実践)(課題:各自がねらいを設定し、部分指導案(細案)の作成)
9	模擬授業(1)(造形遊び)(課題:指導案の準備、教材研究、模擬授業の準備)
10	模擬授業(2)運動遊び)(課題:指導案の準備、教材研究、模擬授業の準備)
11	模擬授業(3)(自然・環境・音楽・言葉)(課題:指導案の準備、教材研究、模擬授業の準備)
12	模擬授業のまとめと振り返り
13	教育実習の課題と心構え(直前指導)
14	実習終了後のアンケート及び反省会・事後指導(2)(個別)
15	課題の整理と振り返り

科目区分	専門教育科	専門教育科目 科目			分類 専門科目(実習·他)			科目番号		BO411B2	
授業科目	保育・教職実践演習(幼稚園)						担当教員		三石美鶴・川村めぐみ 福田光弘		
履修年次	開講時期	単位数	В	寺間	授業形態	卒	<u>≍</u> 業要件	幺	加2種免	保育士	
2年	後期	2		30	演習		選択		必修	必修	

本授業では、卒業後に保育者として現場に立つ前に、今まで授業や実習などを通して学んできたことをまとめ、学生各自が今まで学んできたことを整理し、不足している学びについてはそれを補うことで、今後の保育者としての第一歩を確かなものとすることを図る。

## (授業の概要)

学生は各グループ担当教員に分かれ、グループワークを行う。ワークシートなどを利用することで、グループ内の学生同士の意見交換が可能となるようにする。そのことで、学生同士が互いの保育観を見つめ直させ、今までの学びをより深く 定着させる。

## (授業の到達目標)

- ・保育者として、今後とも研鑽していくべき課題を知る。
- ・積極的に他の学生との意見交換を行うことで、自らの保育観をより深める。

## (卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定•学位授与
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	0
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	0
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	0

### 【評価方法】

授業への取り組み50% 課題レポート30% 実習(討論含)20% 計100%

### 【準備学習(予習・復習等)】

事前:テキストを読み、次回授業で行うことを確認する。(30分) 事後:授業内で提出を要求された提出物を作成する。(30分)

## 【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

提出物について、互いに発表させて、意見交換を図る。

## 【使用テキスト】

小櫃智子·矢藤誠慈郎他著『保育教職実践演習 これまでの学びと保育者への歩み 幼稚園 保育所 編』わかば 社

### 【参考図書】

授業内で適宜配布する。

## 【学生へのメッセージ】

遅刻、欠席をしない。提出物の期限は絶対厳守。

回	授 業 概 要 と 準 備 学 習 (予習・復習等)
1	オリエンテーション(授業の進め方の説明・確認)
2	保育者への歩みと足跡
3	子ども理解の方法と実際
4	気になる子どもの行動の理解と対応
5	教育課程および全体的な計画を考える
6	保育内容と保育方法の研究 I
7	保育内容と保育方法の研究Ⅱ
8	協同的な学びと育ちへ
9	保育の振り返り
10	保護者および地域との関係づくり
11	幼保小の接続
12	園の安全管理
13	保育者の専門性
14	自分の保育者像を目指して
15	総括

# 2021年度 帝京学園短期大学 / シラバス

発行日 2021年4月1日

発行所 帝京学園短期大学

所在地 山梨県山梨市上神内川1150-1

TEL 0553 - 23 - 1240

FAX 0553-23-2101

編集者 帝京学園短期大学